369.12
Ty992t

00282580

라4K14

調査資料第二十三輯

朝鮮の犯罪と環境

朝鮮總督府

369-12 Y 1124

序

本書は執務上の參考に資する目的を以て、囑託善生永助をして編纂せしめたるものに係り、朝鮮に於ける最近の犯罪現象を統計的、地理的に調査研究したものであるが、特に犯罪と社會環境との關係を精密に叙述してあるから、これを繙くに於ては、朝鮮の人文と經濟の實情を觀察する上にも、亦多少裨益する所があると信ずる。

昭和三年三月

朝鮮總督府總督官房總務課

國立国會圖書館藏書

国立国会
27.11.25
図書館

282580

調査資料
第二十三輯

朝鮮の犯罪と環境

目次

總說……一頁
第一章　貧富と犯罪の關係……二三
第二章　文化と犯罪の關係……七七
第三章　犯罪の年次的消長……一二九
第四章　犯罪の地理的考察……二三一
結論……二五七

調査資料
第二十三輯

朝鮮の犯罪と環境

〔禁無斷轉載〕

朝鮮總督府囑託　善生永助著

總說

犯罪に對する觀察には、その原因を、犯罪者の人類學的、生理學的方面から研究した、伊太利學派のロンブローゾによりて初めて唱道せられ、フェリー、ガロファロ等によりて敷衍せられた、刑事人類學說と犯罪者の社會的環境を重視した、佛蘭西のデュルケーム、白義耳のケトレーを始め、多くの犯罪學者、社會學者等によりて主唱せられた、刑事社會學說とに、二大別されるのである。ロンブローゾの說に據ると、犯罪者の中には生來の犯罪者があるといふのである。即ちロ氏は、多數の犯罪者の頭蓋を檢査し、且つ多數の犯罪者に就いて、その容貌、骨格を量定し、また他の一面に於て多數の犯罪者の言語、筆蹟、體質、感覺、特に文身の有無を檢査し、その量定及び檢査の結果により、犯罪者は頭腦の發達不充分にして、腦の重量が普通人よりも輕く、耳の形も尋常でなく、眼は斜に釣り、且

つ痛苦を感ずること比較的鈍く、加ふるに、磁石力及び氣象の影響を受くること強く、概して文身を好み、尙ほその歩き方も常人と異り、また容貌も常人と同じからずと斷定して居る。ロ氏のこの「犯罪者定型說」には一面の眞理はあるが、また多少の誤謬が存して居る。即ち犯罪者と同一の外貌、體質を有するものにして犯罪者ならざるものあり、常人と同一若くはこれに優る外貌、體質を有するものにして犯罪者たることあり、例へば性的犯罪者や、一時の出來心に基く犯罪者中には、常人と異ならざるものが多いのである。さればロ氏自身も、その後右の「犯罪者定型說」を訂正して、犯罪は獨り犯罪者の體質にのみ基くにあらずして、諸種の原因に左右せらるゝことを主張し、一九〇二年版の『犯罪の原因及びその鎭滅』に於ては、犯罪の原因及び誘因は、氣象、人種、文化、人口の增殖、榮養の良否、酒精の可否、經濟的事情、宗教的關係、敎育、遺傳、年齡、地位、職業等に在りと論ずるに至つたのである。

犯罪に對する生物學的心理學的原因を重視する、右のロンブローゾ一派の刑事人類學說に對立して犯罪の社會的環境的原因を力說した、デュルケーム・ケトレー等の刑事社會學說の主張する所は、犯罪は犯罪者を圍繞する周圍の事情が、犯罪の主たる原因を爲すものであると說き、固より犯罪の原因は、犯罪者自身に存する個人的原因と、社會的原因の兩者によりて發生するものであるが、犯罪の原因を爲す最も有力なるものは、社會的原因に在りといふのである。而して犯罪の社會的原因の中で、その主要なるものは、（一）生活資料の窮乏に因るもの、例へば、扶養すべき家族多くまたは係累あつて、正業を以ては生計を支ふるに足らざるが如き、職業を得ずまたはこれを失ひ若くは勞働力充分ならざるが如き、水・火・震災、その他の災害によりて衣食に缺乏するが如き、或は刑餘の不信用の爲めに正業に就くを得ざる如きこと、（二）社會的關係の不適當に基くもの、例へば、浮浪無賴の徒の間に生長し交友悉く不良なるが如き、刑餘の不信用に基き前科者の外交際する者なき場合の如き等を擧げ、尙ほこの外に、敎育の如何、宗敎の良否等も、犯罪の社會的原因を爲すことが尠くないことを主張して居る。勿論犯罪には、刑事人類學說の主張するが如く、個人の先天的疾患を主因とするものも尠くないが、刑事社會學說の主張するが如く、後天的に社會環境に支配さるゝもの方が、遙か多いやうに思はれる。

私は朝鮮の犯罪を研究するに當りて、特にその社會環境との關係に重きを置いて、各種の方面より觀察し、就中、犯罪と經濟現象との關係、犯罪と文化現象との關係を、明かにせんことに努めたのである。朝鮮と內地とは種々の點に於て社會事情を異にし、從つて犯罪狀態も自ら異なつて居るので、犯罪の人類學的、生理學的研究も、頗る有益なことであると認むるが、本書に於ては、編纂者たる私

がこの方面の研究に門外漢たる關係と、調査の性質上、統計的、地理的に大量觀察を試みた結果、自然、個々の犯罪者に就いて、微細なる說明を爲す如きことの出來なかつたのは遺憾である。然しながら社會環境としての貧富及び文化に、支配さるゝこと大なる犯罪中には、犯罪者の民族性及び思想傾向を窺ふに足るやうな資料をも、多少提供して置いた積りである。本書は主として犯罪現象を敘述したのであるけれども、犯罪現象を透して觀たる朝鮮の社會狀態及び國民生活が、讀者の眼に如何に映ずるかは、執筆に際して私の最も注意した所である。而して朝鮮に於ける犯罪と環境の關係を考察する爲めには、先づ最近に於ける朝鮮の犯罪趨勢を一瞥して置く必要がある。

犯罪件數及檢擧件數人員罪名別

區分		年	犯罪件數	檢擧件數	檢擧人員			
					內地人	朝鮮人	支那人	其ノ他ノ外國人	計
大正元年			四三、二九七	一三、七八二	四二、九三	三二、八一一	五〇五	一	三七、六〇九
累比同年	同二年		五一、五四三	三九、三四五	五、〇九二	三七、八七二	四四〇	一	四三、四〇四
	同三年		五五、五六八	四三、四〇七	四、九二六	四一、六九〇	五七〇	五	四七、一九一
	同四年		五九、〇八〇	四七、八四九	四、八〇〇	四七、一〇七	五六三	七	五二、四七七
	同五年		七〇、一四七	五八、四〇七	五、九九九	五九、〇二五	六四〇	一一	六五、六七五
比較同	同六年		八三、〇五一	六九、二九八	五、九五三	七三、〇七八	五八六	三	七九、六二〇
	同七年		八四、七二五	七一、四八一	五、六八七	七六、五四一	六五九	一六	八二、九〇三
	同八年		七四、二八九	六〇、九〇六	四、二九八	七九、三四三	三一二	九	八三、九六一
	同九年		八〇、五六八	六六、四五八	四、七三四	八一、一八七	四二二	六七	八七、四〇九
	同十年		八二、九〇一	七三、九〇九	五、一〇〇	九〇、八〇六	五五三	三一	九六、四九〇
	同十一年		八九、七三五	七七、六七六	五、七九二	九〇、七八九	五九四	三	九七、一八七
	同十二年		一〇〇、六〇三	八八、〇五三	六、二六六	一〇一、〇二四	八一五	三〇	一〇八、一三五
	同十三年		一一〇、一〇六	一〇四、七八六	五、九五六	一一四、六八九	七六一	四	一一二、四一〇
	同十四年		一一三、三三〇	一一二、五五七	六、四八二	一二八、三六六	七九一	一〇	一三五、六四九
刑法犯	皇室ニ對スル罪		三	三	二	一	一	一	二
	公務ノ執行ヲ妨害スル罪		三三〇	三二六	一四	四〇一	一	一	四一六
	逃走		三一	三四	二	二一	一	一	二三
	犯人藏匿		九八	一〇〇	二	一五二	一	一	一五四
	證憑湮滅		一五	一六	二	一二	一	一	一五
	騷擾		一八	二一	一	四五二	一	一	四五二
	放火		四六六	四一八	九	三九三	二	一	四〇四
	失火		二一四四三	二一三五五	九一	二一三五五	一九	一	二一四六六

特別法犯罪總索引

特別法及犯罪總索引

毀棄隱匿 一二三八
贓物故買 一二三〇
横領 一二三二
恐喝 一二三三
詐欺 一二三四
竊盜 一二三五
強盜 一二三六
信用毀損及業務妨害 一二三七
詐欺取財及業務妨害 一二三八
略取誘拐 一二三九
逮捕監禁 一二四〇
脅迫 一二四一
遺棄 一二四二
傷害 一二四三
過失傷害 一二四四
往來妨害 一二四五
飲料水及水利ヲ妨害 一二四六
阿片煙ヲ吸食セシムル 一二四七
秘密侵害 一二四八
住居侵入 一二四九
建造物侵入 一二五〇
公務執行妨害 一二五一
職務強要 一二五二
逮捕監禁致死傷 一二五三
逃走 一二五四
藏匿人 一二五五
證憑湮滅 一二五六
犯人蔵匿及證憑湮滅 一二五七
偽證 一二五八
偽造印章印影 一二五九
偽造有價證書 一二六〇
偽造公文書 一二六一
偽造私文書 一二六二
偽造有價證券 一二六三
偽造公印 一二六四
偽造署名 一二六五
偽造署押 一二六六
賭博 一二六七
富籤 一二六八
賭博及富籤 一二六九
賭博及富籤ニ關スル件 一二七〇
禮拜所及墳墓ニ關スル件 一二七一

殺人 一二七二
嬰兒殺 一二七三
尊屬殺 一二七四
自殺幇助 一二七五
同意殺人 一二七六
墮胎 一二七七
業務上墮胎 一二七八
墮胎同意 一二七九
墮胎藥 一二八〇
墮胎器具 一二八一
墮胎場所 一二八二
墮胎周旋 一二八三
墮胎藥販賣 一二八四
墮胎器具販賣 一二八五
墮胎場所提供 一二八六
墮胎周旋 一二八七
墮胎藥販賣 一二八八
墮胎器具販賣 一二八九
墮胎場所提供 一二九〇
墮胎周旋 一二九一
墮胎藥販賣 一二九二
墮胎器具販賣 一二九三
墮胎場所提供 一二九四
墮胎周旋 一二九五
墮胎藥販賣 一二九六
墮胎器具販賣 一二九七
墮胎場所提供 一二九八
墮胎周旋 一二九九
墮胎藥販賣 一三〇〇
墮胎器具販賣 一三〇一
墮胎場所提供 一三〇二
墮胎周旋 一三〇三
墮胎藥販賣 一三〇四
墮胎器具販賣 一三〇五
墮胎場所提供 一三〇六
墮胎周旋 一三〇七
墮胎藥販賣 一三〇八
墮胎器具販賣 一三〇九
墮胎場所提供 一三一〇
墮胎周旋 一三一一
墮胎藥販賣 一三一二
墮胎器具販賣 一三一三
墮胎場所提供 一三一四
墮胎周旋 一三一五
墮胎藥販賣 一三一六
墮胎器具販賣 一三一七
墮胎場所提供 一三一八
墮胎周旋 一三一九
墮胎藥販賣 一三二〇
墮胎器具販賣 一三二一
墮胎場所提供 一三二二
墮胎周旋 一三二三
墮胎藥販賣 一三二四
墮胎器具販賣 一三二五
墮胎場所提供 一三二六
墮胎周旋 一三二七
墮胎藥販賣 一三二八
墮胎器具販賣 一三二九
墮胎場所提供 一三三〇
墮胎周旋 一三三一
墮胎藥販賣 一三三二
墮胎器具販賣 一三三三
墮胎場所提供 一三三四
墮胎周旋 一三三五
墮胎藥販賣 一三三六
墮胎器具販賣 一三三七
墮胎場所提供 一三三八
墮胎周旋 一三三九
墮胎藥販賣 一三四〇
墮胎器具販賣 一三四一
墮胎場所提供 一三四二
墮胎周旋 一三四三
墮胎藥販賣 一三四四
墮胎器具販賣 一三四五
墮胎場所提供 一三四六
墮胎周旋 一三四七
墮胎藥販賣 一三四八
墮胎器具販賣 一三四九
墮胎場所提供 一三五〇
墮胎周旋 一三五一
墮胎藥販賣 一三五二
墮胎器具販賣 一三五三
墮胎場所提供 一三五四
墮胎周旋 一三五五
墮胎藥販賣 一三五六
墮胎器具販賣 一三五七
墮胎場所提供 一三五八
墮胎周旋 一三五九
墮胎藥販賣 一三六〇
墮胎器具販賣 一三六一
墮胎場所提供 一三六二
墮胎周旋 一三六三
墮胎藥販賣 一三六四
墮胎器具販賣 一三六五
墮胎場所提供 一三六六
墮胎周旋 一三六七
墮胎藥販賣 一三六八
墮胎器具販賣 一三六九
墮胎場所提供 一三七〇
墮胎周旋 一三七一
墮胎藥販賣 一三七二
墮胎器具販賣 一三七三
墮胎場所提供 一三七四
墮胎周旋 一三七五
墮胎藥販賣 一三七六
墮胎器具販賣 一三七七
墮胎場所提供 一三七八
墮胎周旋 一三七九
墮胎藥販賣 一三八〇
墮胎器具販賣 一三八一
墮胎場所提供 一三八二
墮胎周旋 一三八三
墮胎藥販賣 一三八四
墮胎器具販賣 一三八五
墮胎場所提供 一三八六
墮胎周旋 一三八七
墮胎藥販賣 一三八八
墮胎器具販賣 一三八九
墮胎場所提供 一三九〇
墮胎周旋 一三九一
墮胎藥販賣 一三九二
墮胎器具販賣 一三九三
墮胎場所提供 一三九四
墮胎周旋 一三九五
墮胎藥販賣 一三九六
墮胎器具販賣 一三九七
墮胎場所提供 一三九八
墮胎周旋 一三九九
墮胎藥販賣 一四〇〇
墮胎器具販賣 一四〇一
墮胎場所提供 一四〇二
墮胎周旋 一四〇三
墮胎藥販賣 一四〇四
墮胎器具販賣 一四〇五
墮胎場所提供 一四〇六
墮胎周旋 一四〇七
墮胎藥販賣 一四〇八
墮胎器具販賣 一四〇九
墮胎場所提供 一四一〇
墮胎周旋 一四一一
墮胎藥販賣 一四一二
墮胎器具販賣 一四一三
墮胎場所提供 一四一四
墮胎周旋 一四一五
墮胎藥販賣 一四一六
墮胎器具販賣 一四一七
墮胎場所提供 一四一八
墮胎周旋 一四一九
墮胎藥販賣 一四二〇
墮胎器具販賣 一四二一
墮胎場所提供 一四二二
墮胎周旋 一四二三
墮胎藥販賣 一四二四
墮胎器具販賣 一四二五
墮胎場所提供 一四二六
墮胎周旋 一四二七
墮胎藥販賣 一四二八
墮胎器具販賣 一四二九
墮胎場所提供 一四三〇
墮胎周旋 一四三一
墮胎藥販賣 一四三二
墮胎器具販賣 一四三三
墮胎場所提供 一四三四
墮胎周旋 一四三五
墮胎藥販賣 一四三六
墮胎器具販賣 一四三七
墮胎場所提供 一四三八
墮胎周旋 一四三九
墮胎藥販賣 一四四〇
墮胎器具販賣 一四四一
墮胎場所提供 一四四二
墮胎周旋 一四四三
墮胎藥販賣 一四四四
墮胎器具販賣 一四四五
墮胎場所提供 一四四六
墮胎周旋 一四四七
墮胎藥販賣 一四四八
墮胎器具販賣 一四四九
墮胎場所提供 一四五〇
墮胎周旋 一四五一
墮胎藥販賣 一四五二
墮胎器具販賣 一四五三
墮胎場所提供 一四五四
墮胎周旋 一四五五
墮胎藥販賣 一四五六
墮胎器具販賣 一四五七
墮胎場所提供 一四五八
墮胎周旋 一四五九
墮胎藥販賣 一四六〇
墮胎器具販賣 一四六一
墮胎場所提供 一四六二
墮胎周旋 一四六三
墮胎藥販賣 一四六四
墮胎器具販賣 一四六五
墮胎場所提供 一四六六
墮胎周旋 一四六七
墮胎藥販賣 一四六八
墮胎器具販賣 一四六九
墮胎場所提供 一四七〇
墮胎周旋 一四七一
墮胎藥販賣 一四七二
墮胎器具販賣 一四七三
墮胎場所提供 一四七四
墮胎周旋 一四七五
墮胎藥販賣 一四七六
墮胎器具販賣 一四七七
墮胎場所提供 一四七八
墮胎周旋 一四七九
墮胎藥販賣 一四八〇
墮胎器具販賣 一四八一
墮胎場所提供 一四八二
墮胎周旋 一四八三
墮胎藥販賣 一四八四
墮胎器具販賣 一四八五
墮胎場所提供 一四八六
墮胎周旋 一四八七
墮胎藥販賣 一四八八
墮胎器具販賣 一四八九
墮胎場所提供 一四九〇
墮胎周旋 一四九一
墮胎藥販賣 一四九二
墮胎器具販賣 一四九三
墮胎場所提供 一四九四
墮胎周旋 一四九五
墮胎藥販賣 一四九六
墮胎器具販賣 一四九七
墮胎場所提供 一四九八
墮胎周旋 一四九九
墮胎藥販賣 一五〇〇
墮胎器具販賣 一五〇一
墮胎場所提供 一五〇二
墮胎周旋 一五〇三
墮胎藥販賣 一五〇四
墮胎器具販賣 一五〇五
墮胎場所提供 一五〇六
墮胎周旋 一五〇七
墮胎藥販賣 一五〇八
墮胎器具販賣 一五〇九
墮胎場所提供 一五一〇
墮胎周旋 一五一一
墮胎藥販賣 一五一二
墮胎器具販賣 一五一三
墮胎場所提供 一五一四
墮胎周旋 一五一五
墮胎藥販賣 一五一六
墮胎器具販賣 一五一七
墮胎場所提供 一五一八
墮胎周旋 一五一九
墮胎藥販賣 一五二〇
墮胎器具販賣 一五二一
墮胎場所提供 一五二二
墮胎周旋 一五二三
墮胎藥販賣 一五二四
墮胎器具販賣 一五二五
墮胎場所提供 一五二六
墮胎周旋 一五二七
墮胎藥販賣 一五二八
墮胎器具販賣 一五二九
墮胎場所提供 一五三〇
墮胎周旋 一五三一
墮胎藥販賣 一五三二
墮胎器具販賣 一五三三
墮胎場所提供 一五三四
墮胎周旋 一五三五
墮胎藥販賣 一五三六
墮胎器具販賣 一五三七
墮胎場所提供 一五三八
墮胎周旋 一五三九
墮胎藥販賣 一五四〇
墮胎器具販賣 一五四一
墮胎場所提供 一五四二
墮胎周旋 一五四三
墮胎藥販賣 一五四四
墮胎器具販賣 一五四五
墮胎場所提供 一五四六
墮胎周旋 一五四七
墮胎藥販賣 一五四八
墮胎器具販賣 一五四九
墮胎場所提供 一五五〇
墮胎周旋 一五五一
墮胎藥販賣 一五五二
墮胎器具販賣 一五五三
墮胎場所提供 一五五四
墮胎周旋 一五五五
墮胎藥販賣 一五五六
墮胎器具販賣 一五五七
墮胎場所提供 一五五八
墮胎周旋 一五五九
墮胎藥販賣 一五六〇
墮胎器具販賣 一五六一
墮胎場所提供 一五六二
墮胎周旋 一五六三
墮胎藥販賣 一五六四
墮胎器具販賣 一五六五
墮胎場所提供 一五六六
墮胎周旋 一五六七
墮胎藥販賣 一五六八
墮胎器具販賣 一五六九
墮胎場所提供 一五七〇
墮胎周旋 一五七一
墮胎藥販賣 一五七二
墮胎器具販賣 一五七三
墮胎場所提供 一五七四
墮胎周旋 一五七五
墮胎藥販賣 一五七六
墮胎器具販賣 一五七七
墮胎場所提供 一五七八
墮胎周旋 一五七九
墮胎藥販賣 一五八〇
墮胎器具販賣 一五八一
墮胎場所提供 一五八二
墮胎周旋 一五八三
墮胎藥販賣 一五八四
墮胎器具販賣 一五八五
墮胎場所提供 一五八六
墮胎周旋 一五八七
墮胎藥販賣 一五八八
墮胎器具販賣 一五八九
墮胎場所提供 一五九〇
墮胎周旋 一五九一
墮胎藥販賣 一五九二
墮胎器具販賣 一五九三
墮胎場所提供 一五九四
墮胎周旋 一五九五
墮胎藥販賣 一五九六
墮胎器具販賣 一五九七
墮胎場所提供 一五九八
墮胎周旋 一五九九
墮胎藥販賣 一六〇〇
墮胎器具販賣 一六〇一
墮胎場所提供 一六〇二
墮胎周旋 一六〇三
墮胎藥販賣 一六〇四
墮胎器具販賣 一六〇五
墮胎場所提供 一六〇六
墮胎周旋 一六〇七
墮胎藥販賣 一六〇八
墮胎器具販賣 一六〇九
墮胎場所提供 一六一〇
墮胎周旋 一六一一
墮胎藥販賣 一六一二
墮胎器具販賣 一六一三
墮胎場所提供 一六一四
墮胎周旋 一六一五
墮胎藥販賣 一六一六
墮胎器具販賣 一六一七
墮胎場所提供 一六一八
墮胎周旋 一六一九
墮胎藥販賣 一六二〇
墮胎器具販賣 一六二一
墮胎場所提供 一六二二
墮胎周旋 一六二三
墮胎藥販賣 一六二四
墮胎器具販賣 一六二五
墮胎場所提供 一六二六
墮胎周旋 一六二七
墮胎藥販賣 一六二八
墮胎器具販賣 一六二九
墮胎場所提供 一六三〇
墮胎周旋 一六三一
墮胎藥販賣 一六三二
墮胎器具販賣 一六三三
墮胎場所提供 一六三四
墮胎周旋 一六三五
墮胎藥販賣 一六三六
墮胎器具販賣 一六三七
墮胎場所提供 一六三八
墮胎周旋 一六三九
墮胎藥販賣 一六四〇
墮胎器具販賣 一六四一
墮胎場所提供 一六四二
墮胎周旋 一六四三
墮胎藥販賣 一六四四
墮胎器具販賣 一六四五
墮胎場所提供 一六四六
墮胎周旋 一六四七
墮胎藥販賣 一六四八
墮胎器具販賣 一六四九
墮胎場所提供 一六五〇
墮胎周旋 一六五一
墮胎藥販賣 一六五二
墮胎器具販賣 一六五三
墮胎場所提供 一六五四
墮胎周旋 一六五五
墮胎藥販賣 一六五六
墮胎器具販賣 一六五七
墮胎場所提供 一六五八
墮胎周旋 一六五九
墮胎藥販賣 一六六〇
墮胎器具販賣 一六六一
墮胎場所提供 一六六二
墮胎周旋 一六六三
墮胎藥販賣 一六六四
墮胎器具販賣 一六六五
墮胎場所提供 一六六六
墮胎周旋 一六六七
墮胎藥販賣 一六六八
墮胎器具販賣 一六六九
墮胎場所提供 一六七〇
墮胎周旋 一六七一
墮胎藥販賣 一六七二
墮胎器具販賣 一六七三
墮胎場所提供 一六七四
墮胎周旋 一六七五
墮胎藥販賣 一六七六
墮胎器具販賣 一六七七
墮胎場所提供 一六七八
墮胎周旋 一六七九
墮胎藥販賣 一六八〇
墮胎器具販賣 一六八一
墮胎場所提供 一六八二
墮胎周旋 一六八三
墮胎藥販賣 一六八四
墮胎器具販賣 一六八五
墮胎場所提供 一六八六
墮胎周旋 一六八七
墮胎藥販賣 一六八八
墮胎器具販賣 一六八九
墮胎場所提供 一六九〇
墮胎周旋 一六九一
墮胎藥販賣 一六九二
墮胎器具販賣 一六九三
墮胎場所提供 一六九四
墮胎周旋 一六九五
墮胎藥販賣 一六九六
墮胎器具販賣 一六九七
墮胎場所提供 一六九八
墮胎周旋 一六九九
墮胎藥販賣 一七〇〇
墮胎器具販賣 一七〇一
墮胎場所提供 一七〇二
墮胎周旋 一七〇三
墮胎藥販賣 一七〇四
墮胎器具販賣 一七〇五
墮胎場所提供 一七〇六
墮胎周旋 一七〇七
墮胎藥販賣 一七〇八
墮胎器具販賣 一七〇九
墮胎場所提供 一七一〇
墮胎周旋 一七一一
墮胎藥販賣 一七一二
墮胎器具販賣 一七一三
墮胎場所提供 一七一四
墮胎周旋 一七一五
墮胎藥販賣 一七一六
墮胎器具販賣 一七一七
墮胎場所提供 一七一八
墮胎周旋 一七一九
墮胎藥販賣 一七二〇
墮胎器具販賣 一七二一
墮胎場所提供 一七二二
墮胎周旋 一七二三
墮胎藥販賣 一七二四
墮胎器具販賣 一七二五
墮胎場所提供 一七二六
墮胎周旋 一七二七
墮胎藥販賣 一七二八
墮胎器具販賣 一七二九
墮胎場所提供 一七三〇
墮胎周旋 一七三一
墮胎藥販賣 一七三二
墮胎器具販賣 一七三三
墮胎場所提供 一七三四
墮胎周旋 一七三五
墮胎藥販賣 一七三六
墮胎器具販賣 一七三七
墮胎場所提供 一七三八
墮胎周旋 一七三九
墮胎藥販賣 一七四〇
墮胎器具販賣 一七四一
墮胎場所提供 一七四二
墮胎周旋 一七四三
墮胎藥販賣 一七四四
墮胎器具販賣 一七四五
墮胎場所提供 一七四六
墮胎周旋 一七四七
墮胎藥販賣 一七四八
墮胎器具販賣 一七四九
墮胎場所提供 一七五〇
墮胎周旋 一七五一
墮胎藥販賣 一七五二
墮胎器具販賣 一七五三
墮胎場所提供 一七五四
墮胎周旋 一七五五
墮胎藥販賣 一七五六
墮胎器具販賣 一七五七
墮胎場所提供 一七五八
墮胎周旋 一七五九
墮胎藥販賣 一七六〇
墮胎器具販賣 一七六一
墮胎場所提供 一七六二
墮胎周旋 一七六三
墮胎藥販賣 一七六四
墮胎器具販賣 一七六五
墮胎場所提供 一七六六
墮胎周旋 一七六七
墮胎藥販賣 一七六八
墮胎器具販賣 一七六九
墮胎場所提供 一七七〇
墮胎周旋 一七七一
墮胎藥販賣 一七七二
墮胎器具販賣 一七七三
墮胎場所提供 一七七四
墮胎周旋 一七七五
墮胎藥販賣 一七七六
墮胎器具販賣 一七七七
墮胎場所提供 一七七八
墮胎周旋 一七七九
墮胎藥販賣 一七八〇
墮胎器具販賣 一七八一
墮胎場所提供 一七八二
墮胎周旋 一七八三
墮胎藥販賣 一七八四
墮胎器具販賣 一七八五
墮胎場所提供 一七八六
墮胎周旋 一七八七
墮胎藥販賣 一七八八
墮胎器具販賣 一七八九
墮胎場所提供 一七九〇
墮胎周旋 一七九一
墮胎藥販賣 一七九二
墮胎器具販賣 一七九三
墮胎場所提供 一七九四
墮胎周旋 一七九五
墮胎藥販賣 一七九六
墮胎器具販賣 一七九七
墮胎場所提供 一七九八
墮胎周旋 一七九九
墮胎藥販賣 一八〇〇
墮胎器具販賣 一八〇一
墮胎場所提供 一八〇二
墮胎周旋 一八〇三
墮胎藥販賣 一八〇四
墮胎器具販賣 一八〇五
墮胎場所提供 一八〇六
墮胎周旋 一八〇七
墮胎藥販賣 一八〇八
墮胎器具販賣 一八〇九
墮胎場所提供 一八一〇
墮胎周旋 一八一一
墮胎藥販賣 一八一二
墮胎器具販賣 一八一三
墮胎場所提供 一八一四
墮胎周旋 一八一五
墮胎藥販賣 一八一六
墮胎器具販賣 一八一七
墮胎場所提供 一八一八
墮胎周旋 一八一九
墮胎藥販賣 一八二〇
墮胎器具販賣 一八二一
墮胎場所提供 一八二二
墮胎周旋 一八二三
墮胎藥販賣 一八二四
墮胎器具販賣 一八二五
墮胎場所提供 一八二六
墮胎周旋 一八二七
墮胎藥販賣 一八二八
墮胎器具販賣 一八二九
墮胎場所提供 一八三〇
墮胎周旋 一八三一
墮胎藥販賣 一八三二
墮胎器具販賣 一八三三
墮胎場所提供 一八三四
墮胎周旋 一八三五
墮胎藥販賣 一八三六
墮胎器具販賣 一八三七
墮胎場所提供 一八三八
墮胎周旋 一八三九
墮胎藥販賣 一八四〇
墮胎器具販賣 一八四一
墮胎場所提供 一八四二
墮胎周旋 一八四三
墮胎藥販賣 一八四四
墮胎器具販賣 一八四五
墮胎場所提供 一八四六
墮胎周旋 一八四七
墮胎藥販賣 一八四八
墮胎器具販賣 一八四九
墮胎場所提供 一八五〇
墮胎周旋 一八五一
墮胎藥販賣 一八五二
墮胎器具販賣 一八五三
墮胎場所提供 一八五四
墮胎周旋 一八五五
墮胎藥販賣 一八五六
墮胎器具販賣 一八五七
墮胎場所提供 一八五八
墮胎周旋 一八五九
墮胎藥販賣 一八六〇
墮胎器具販賣 一八六一
墮胎場所提供 一八六二
墮胎周旋 一八六三
墮胎藥販賣 一八六四
墮胎器具販賣 一八六五
墮胎場所提供 一八六六
墮胎周旋 一八六七
墮胎藥販賣 一八六八
墮胎器具販賣 一八六九
墮胎場所提供 一八七〇
墮胎周旋 一八七一
墮胎藥販賣 一八七二
墮胎器具販賣 一八七三
墮胎場所提供 一八七四
墮胎周旋 一八七五
墮胎藥販賣 一八七六
墮胎器具販賣 一八七七
墮胎場所提供 一八七八
墮胎周旋 一八七九
墮胎藥販賣 一八八〇
墮胎器具販賣 一八八一
墮胎場所提供 一八八二
墮胎周旋 一八八三
墮胎藥販賣 一八八四
墮胎器具販賣 一八八五
墮胎場所提供 一八八六
墮胎周旋 一八八七
墮胎藥販賣 一八八八
墮胎器具販賣 一八八九
墮胎場所提供 一八九〇
墮胎周旋 一八九一
墮胎藥販賣 一八九二
墮胎器具販賣 一八九三
墮胎場所提供 一八九四
墮胎周旋 一八九五
墮胎藥販賣 一八九六
墮胎器具販賣 一八九七
墮胎場所提供 一八九八
墮胎周旋 一八九九
墮胎藥販賣 一九〇〇
墮胎器具販賣 一九〇一
墮胎場所提供 一九〇二
墮胎周旋 一九〇三
墮胎藥販賣 一九〇四
墮胎器具販賣 一九〇五
墮胎場所提供 一九〇六
墮胎周旋 一九〇七
墮胎藥販賣 一九〇八
墮胎器具販賣 一九〇九
墮胎場所提供 一九一〇
墮胎周旋 一九一一
墮胎藥販賣 一九一二
墮胎器具販賣 一九一三
墮胎場所提供 一九一四
墮胎周旋 一九一五
墮胎藥販賣 一九一六
墮胎器具販賣 一九一七
墮胎場所提供 一九一八
墮胎周旋 一九一九
墮胎藥販賣 一九二〇
墮胎器具販賣 一九二一
墮胎場所提供 一九二二
墮胎周旋 一九二三
墮胎藥販賣 一九二四
墮胎器具販賣 一九二五
墮胎場所提供 一九二六
墮胎周旋 一九二七
墮胎藥販賣 一九二八
墮胎器具販賣 一九二九
墮胎場所提供 一九三〇
墮胎周旋 一九三一
墮胎藥販賣 一九三二
墮胎器具販賣 一九三三
墮胎場所提供 一九三四
墮胎周旋 一九三五
墮胎藥販賣 一九三六
墮胎器具販賣 一九三七
墮胎場所提供 一九三八
墮胎周旋 一九三九
墮胎藥販賣 一九四〇
墮胎器具販賣 一九四一
墮胎場所提供 一九四二
墮胎周旋 一九四三
墮胎藥販賣 一九四四
墮胎器具販賣 一九四五
墮胎場所提供 一九四六
墮胎周旋 一九四七
墮胎藥販賣 一九四八
墮胎器具販賣 一九四九
墮胎場所提供 一九五〇
墮胎周旋 一九五一
墮胎藥販賣 一九五二
墮胎器具販賣 一九五三
墮胎場所提供 一九五四
墮胎周旋 一九五五
墮胎藥販賣 一九五六
墮胎器具販賣 一九五七
墮胎場所提供 一九五八
墮胎周旋 一九五九
墮胎藥販賣 一九六〇
墮胎器具販賣 一九六一
墮胎場所提供 一九六二
墮胎周旋 一九六三
墮胎藥販賣 一九六四
墮胎器具販賣 一九六五
墮胎場所提供 一九六六
墮胎周旋 一九六七
墮胎藥販賣 一九六八
墮胎器具販賣 一九六九
墮胎場所提供 一九七〇
墮胎周旋 一九七一
墮胎藥販賣 一九七二
墮胎器具販賣 一九七三
墮胎場所提供 一九七四
墮胎周旋 一九七五
墮胎藥販賣 一九七六
墮胎器具販賣 一九七七
墮胎場所提供 一九七八
墮胎周旋 一九七九
墮胎藥販賣 一九八〇
墮胎器具販賣 一九八一
墮胎場所提供 一九八二
墮胎周旋 一九八三
墮胎藥販賣 一九八四
墮胎器具販賣 一九八五
墮胎場所提供 一九八六
墮胎周旋 一九八七
墮胎藥販賣 一九八八
墮胎器具販賣 一九八九
墮胎場所提供 一九九〇
墮胎周旋 一九九一
墮胎藥販賣 一九九二
墮胎器具販賣 一九九三
墮胎場所提供 一九九四
墮胎周旋 一九九五
墮胎藥販賣 一九九六
墮胎器具販賣 一九九七
墮胎場所提供 一九九八
墮胎周旋 一九九九
墮胎藥販賣 二〇〇〇
墮胎器具販賣 二〇〇一
墮胎場所提供 二〇〇二
墮胎周旋 二〇〇三
墮胎藥販賣 二〇〇四
墮胎器具販賣 二〇〇五
墮胎場所提供 二〇〇六
墮胎周旋 二〇〇七
墮胎藥販賣 二〇〇八
墮胎器具販賣 二〇〇九
墮胎場所提供 二〇一〇
墮胎周旋 二〇一一
墮胎藥販賣 二〇一二
墮胎器具販賣 二〇一三
墮胎場所提供 二〇一四
墮胎周旋 二〇一五
墮胎藥販賣 二〇一六
墮胎器具販賣 二〇一七
墮胎場所提供 二〇一八
墮胎周旋 二〇一九
墮胎藥販賣 二〇二〇
墮胎器具販賣 二〇二一
墮胎場所提供 二〇二二
墮胎周旋 二〇二三
墮胎藥販賣 二〇二四
墮胎器具販賣 二〇二五
墮胎場所提供 二〇二六
墮胎周旋 二〇二七
墮胎藥販賣 二〇二八
墮胎器具販賣 二〇二九
墮胎場所提供 二〇三〇
墮胎周旋 二〇三一
墮胎藥販賣 二〇三二
墮胎器具販賣 二〇三三
墮胎場所提供 二〇三四
墮胎周旋 二〇三五
墮胎藥販賣 二〇三六
墮胎器具販賣 二〇三七
墮胎場所提供 二〇三八
墮胎周旋 二〇三九
墮胎藥販賣 二〇四〇
墮胎器具販賣 二〇四一
墮胎場所提供 二〇四二
墮胎周旋 二〇四三
墮胎藥販賣 二〇四四
墮胎器具販賣 二〇四五
墮胎場所提供 二〇四六
墮胎周旋 二〇四七
墮胎藥販賣 二〇四八
墮胎器具販賣 二〇四九
墮胎場所提供 二〇五〇
墮胎周旋 二〇五一
墮胎藥販賣 二〇五二
墮胎器具販賣 二〇五三
墮胎場所提供 二〇五四
墮胎周旋 二〇五五
墮胎藥販賣 二〇五六
墮胎器具販賣 二〇五七
墮胎場所提供 二〇五八
墮胎周旋 二〇五九
墮胎藥販賣 二〇六〇
墮胎器具販賣 二〇六一
墮胎場所提供 二〇六二
墮胎周旋 二〇六三
墮胎藥販賣 二〇六四
墮胎器具販賣 二〇六五
墮胎場所提供 二〇六六
墮胎周旋 二〇六七
墮胎藥販賣 二〇六八
墮胎器具販賣 二〇六九
墮胎場所提供 二〇七〇
墮胎周旋 二〇七一
墮胎藥販賣 二〇七二
墮胎器具販賣 二〇七三
墮胎場所提供 二〇七四
墮胎周旋 二〇七五
墮胎藥販賣 二〇七六
墮胎器具販賣 二〇七七
墮胎場所提供 二〇七八
墮胎周旋 二〇七九
墮胎藥販賣 二〇八〇
墮胎器具販賣 二〇八一
墮胎場所提供 二〇八二
墮胎周旋 二〇八三
墮胎藥販賣 二〇八四
墮胎器具販賣 二〇八五
墮胎場所提供 二〇八六
墮胎周旋 二〇八七
墮胎藥販賣 二〇八八
墮胎器具販賣 二〇八九
墮胎場所提供 二〇九〇
墮胎周旋 二〇九一
墮胎藥販賣 二〇九二
墮胎器具販賣 二〇九三
墮胎場所提供 二〇九四
墮胎周旋 二〇九五
墮胎藥販賣 二〇九六
墮胎器具販賣 二〇九七
墮胎場所提供 二〇九八
墮胎周旋 二〇九九
墮胎藥販賣 二一〇〇
墮胎器具販賣 二一〇一
墮胎場所提供 二一〇二
墮胎周旋 二一〇三
墮胎藥販賣 二一〇四
墮胎器具販賣 二一〇五
墮胎場所提供 二一〇六
墮胎周旋 二一〇七
墮胎藥販賣 二一〇八
墮胎器具販賣 二一〇九
墮胎場所提供 二一一〇
墮胎周旋 二一一一
墮胎藥販賣 二一一二
墮胎器具販賣 二一一三
墮胎場所提供 二一一四
墮胎周旋 二一一五
墮胎藥販賣 二一一六
墮胎器具販賣 二一一七
墮胎場所提供 二一一八
墮胎周旋 二一一九
墮胎藥販賣 二一二〇
墮胎器具販賣 二一二一
墮胎場所提供 二一二二
墮胎周旋 二一二三
墮胎藥販賣 二一二四
墮胎器具販賣 二一二五
墮胎場所提供 二一二六
墮胎周旋 二一二七
墮胎藥販賣 二一二八
墮胎器具販賣 二一二九
墮胎場所提供 二一三〇
墮胎周旋 二一三一
墮胎藥販賣 二一三二
墮胎器具販賣 二一三三
墮胎場所提供 二一三四
墮胎周旋 二一三五
墮胎藥販賣 二一三六
墮胎器具販賣 二一三七
墮胎場所提供 二一三八
墮胎周旋 二一三九
墮胎藥販賣 二一四〇
墮胎器具販賣 二一四一
墮胎場所提供 二一四二
墮胎周旋 二一四三
墮胎藥販賣 二一四四
墮胎器具販賣 二一四五
墮胎場所提供 二一四六
墮胎周旋 二一四七
墮胎藥販賣 二一四八
墮胎器具販賣 二一四九
墮胎場所提供 二一五〇
墮胎周旋 二一五一
墮胎藥販賣 二一五二
墮胎器具販賣 二一五三
墮胎場所提供 二一五四
墮胎周旋 二一五五
墮胎藥販賣 二一五六
墮胎器具販賣 二一五七
墮胎場所提供 二一五八
墮胎周旋 二一五九
墮胎藥販賣 二一六〇
墮胎器具販賣 二一六一
墮胎場所提供 二一六二
墮胎周旋 二一六三
墮胎藥販賣 二一六四
墮胎器具販賣 二一六五
墮胎場所提供 二一六六
墮胎周旋 二一六七
墮胎藥販賣 二一六八
墮胎器具販賣 二一六九
墮胎場所提供 二一七〇
墮胎周旋 二一七一
墮胎藥販賣 二一七二
墮胎器具販賣 二一七三
墮胎場所提供 二一七四
墮胎周旋 二一七五
墮胎藥販賣 二一七六
墮胎器具販賣 二一七七
墮胎場所提供 二一七八
墮胎周旋 二一七九
墮胎藥販賣 二一八〇
墮胎器具販賣 二一八一
墮胎場所提供 二一八二
墮胎周旋 二一八三
墮胎藥販賣 二一八四
墮胎器具販賣 二一八五
墮胎場所提供 二一八六
墮胎周旋 二一八七
墮胎藥販賣 二一八八
墮胎器具販賣 二一八九
墮胎場所提供 二一九〇
墮胎周旋 二一九一
墮胎藥販賣 二一九二
墮胎器具販賣 二一九三
墮胎場所提供 二一九四
墮胎周旋 二一九五
墮胎藥販賣 二一九六
墮胎器具販賣 二一九七
墮胎場所提供 二一九八
墮胎周旋 二一九九
墮胎藥販賣 二二〇〇
墮胎器具販賣 二二〇一
墮胎場所提供 二二〇二
墮胎周旋 二二〇三
墮胎藥販賣 二二〇四
墮胎器具販賣 二二〇五
墮胎場所提供 二二〇六
墮胎周旋 二二〇七
墮胎藥販賣 二二〇八
墮胎器具販賣 二二〇九
墮胎場所提供 二二一〇
墮胎周旋 二二一一
墮胎藥販賣 二二一二
墮胎器具販賣 二二一三
墮胎場所提供 二二一四
墮胎周旋 二二一五
墮胎藥販賣 二二一六
墮胎器具販賣 二二一七
墮胎場所提供 二二一八
墮胎周旋 二二一九
墮胎藥販賣 二二二〇
墮胎器具販賣 二二二一
墮胎場所提供 二二二二
墮胎周旋 二二二三
墮胎藥販賣 二二二四
墮胎器具販賣 二二二五
墮胎場所提供 二二二六
墮胎周旋 二二二七
墮胎藥販賣 二二二八
墮胎器具販賣 二二二九
墮胎場所提供 二二三〇
墮胎周旋 二二三一
墮胎藥販賣 二二三二
墮胎器具販賣 二二三三
墮胎場所提供 二二三四
墮胎周旋 二二三五
墮胎藥販賣 二二三六
墮胎器具販賣 二二三七
墮胎場所提供 二二三八
墮胎周旋 二二三九
墮胎藥販賣 二二四〇
墮胎器具販賣 二二四一
墮胎場所提供 二二四二
墮胎周旋 二二四三
墮胎藥販賣 二二四四
墮胎器具販賣 二二四五
墮胎場所提供 二二四六
墮胎周旋 二二四七
墮胎藥販賣 二二四八
墮胎器具販賣 二二四九
墮胎場所提供 二二五〇
墮胎周旋 二二五一
墮胎藥販賣 二二五二
墮胎器具販賣 二二五三
墮胎場所提供 二二五四
墮胎周旋 二二五五
墮胎藥販賣 二二五六
墮胎器具販賣 二二五七
墮胎場所提供 二二五八
墮胎周旋 二二五九
墮胎藥販賣 二二六〇
墮胎器具販賣 二二六一
墮胎場所提供 二二六二
墮胎周旋 二二六三
墮胎藥販賣 二二六四
墮胎器具販賣 二二六五
墮胎場所提供 二二六六
墮胎周旋 二二六七
墮胎藥販賣 二二六八
墮胎器具販賣 二二六九
墮胎場所提供 二二七〇
墮胎周旋 二二七一
墮胎藥販賣 二二七二
墮胎器具販賣 二二七三
墮胎場所提供 二二七四
墮胎周旋 二二七五
墮胎藥販賣 二二七六
墮胎器具販賣 二二七七
墮胎場所提供 二二七八
墮胎周旋 二二七九
墮胎藥販賣 二二八〇
墮胎器具販賣 二二八一
墮胎場所提供 二二八二
墮胎周旋 二二八三
墮胎藥販賣 二二八四
墮胎器具販賣 二二八五
墮胎場所提供 二二八六
墮胎周旋 二二八七
墮胎藥販賣 二二八八
墮胎器具販賣 二二八九
墮胎場所提供 二二九〇
墮胎周旋 二二九一
墮胎藥販賣 二二九二
墮胎器具販賣 二二九三
墮胎場所提供 二二九四
墮胎周旋 二二九五
墮胎藥販賣 二二九六
墮胎器具販賣 二二九七
墮胎場所提供 二二九八
墮胎周旋 二二九九
墮胎藥販賣 二三〇〇
墮胎器具販賣 二三〇一
墮胎場所提供 二三〇二
墮胎周旋 二三〇三
墮胎藥販賣 二三〇四
墮胎器具販賣 二三〇五
墮胎場所提供 二三〇六
墮胎周旋 二三〇七
墮胎藥販賣 二三〇八
墮胎器具販賣 二三〇九
墮胎場所提供 二三一〇
墮胎周旋 二三一一
墮胎藥販賣 二三一二
墮胎器具販賣 二三一三
墮胎場所提供 二三一四
墮胎周旋 二三一五
墮胎藥販賣 二三一六
墮胎器具販賣 二三一七
墮胎場所提供 二三一八
墮胎周旋 二三一九
墮胎藥販賣 二三二〇
墮胎器具販賣 二三二一
墮胎場所提供 二三二二
墮胎周旋 二三二三
墮胎藥販賣 二三二四
墮胎器具販賣 二三二五
墮胎場所提供 二三二六
墮胎周旋 二三二七
墮胎藥販賣 二

寺刹令	五	五	一	五	一	一	五
醫師規則	六〇	六〇	八	五二	一	一	六〇
齒科醫師規則	一	一	一	一	一	一	一
醫生規則	六二	六二	一	六二	一	一	六二
入齒營業取締規則	一六	一七	五	一二	一	一	一七
按摩術、鍼術、灸術營業取締規則	二三	二三	一	二二	一	一	二二
看護婦規則	一	一	一	一	一	一	一
藥品及藥品營業取締法規	四八七	四八八	一六	五二〇	一	一	五三七
朝鮮阿片取締令	七二四	七二五	五	一、〇九二	四九	一	一、一四六
モルヒネ、コカイン服用及注射取締規則	三三〇	三三二	一	二五二	一	一	二五三
モルヒネ、コカイン及其ノ鹽類取締規則	二〇六	一九九	一四	一七六	三	一	一九三
傳染病豫防令	三	三	一	三	一	一	三
肺結核豫防ニ關スル規則	二	二	一	一	一	一	二
肺ヂストマ豫防ニ關スル規則	九	九	一	九	一	一	九
朝鮮種痘令	二二六	二二七	一	二二五	一	一	二二六
獸疫豫防法規	一〇	一〇	一	二〇	一	一	二〇
除穢規則	一三	一三	一	一二	一	一	一三
汚物掃除規則	二	三	一	二	一	一	二
鼈獸取締規則	八	八	一	八	一	一	八
警察犯處罰規則	一、一四九	一、一六八	七七	一、一四三	七	一	一、二二七
保安法	二五	二九	一	一五四	一	一	一五四
寄附金品募集取締規則	一一	一二	一	二九	一	一	三〇
懸賞富籤類似其ノ他投票募集等取締規則	九	九	一	一三	一	一	一三
諸營業取締規則	一二	一三	一	一〇	一	一	一一
古物商取締法規	四一	四〇	三	三六	一	一	三九
質屋取締法規	六	六	一	五	一	一	六
銃砲火藥類取締法規	二三三	二二九	一一四	二六〇	一	一	三七四
引火質物貯藏所取締規則	三	三	一	二	一	一	三
宿泊及居住規則	九二	九二	一	九一	一	一	九二
墓地火葬場埋葬及火葬取締規則	八三六	八三二	二	八八一	一	一	八八三
古蹟及遺物保存規則	二	二	一	一	一	一	一
出版法規	二六	二八	三	八七	一	一	九〇
著作權法	一	一	一	一	一	一	一
新聞紙法規	七	七	五	三	一	一	八
門戸標札掲出取締規則	六六	六六	三	六一	一	一	六五
遊戯場取締規則	二	二	一	二	一	一	二

國有未墾地利用法	三	三	—	三	—	—	三
森林令	二、八三六	二、八〇一	二九	三、七五三	八	—	三、七九〇
私有林伐採取締規則	一一〇	一一三	一	一三六	—	—	一三七
林野保護規則	二六	二七	—	二六	—	—	二六
朝鮮林野調査令	一	一	—	一	—	—	一
松蛅蟖驅除豫防規則	一	一	—	一	—	—	一
河川取締規則	三九	四〇	五	六八	—	—	七三
官有水面埋立規則	二	二	—	二	—	—	二
港灣其ノ他公共ノ用ニ供スル水面竝其ノ敷地ニ關スル規則	二	二	—	二	—	—	二
地方税賦課規則	二九	二九	二	一九	—	—	三〇
酒税法規	三〇	三六	—	六四	—	—	六四
印紙税法	二	二	一	一	—	—	二
關税法	六	六	—	二	一	—	三
金銀貨幣又ハ金銀地金ノ輸出ニ關スル規則	六	六	—	三	一	—	三
金若クハ銀ヲ主タル材料トスル製品ノ輸出ニ關スル規則	一一	七	二	四	二	—	八
オノオレカンバ輸移出取締ニ關スル規則	一三	一一	—	三〇	—	—	三〇
朝鮮煙草專賣令	二六〇	二六一	—	三二二	一	—	三二三
朝鮮紅蔘專賣令	三	三	—	七	—	—	七

軍港要港規則	一	一	—	四	—	—	四
陸軍召集令	三	三	三	—	—	—	三
徵兵令	二	二	二	—	—	—	二
朝鮮戸籍令	八	九	—	七	—	—	七
爆發物取締罰則	一二	一四	一	一〇	—	—	一一
印紙犯罪處罰法	一〇	一〇	一	一〇	—	—	一一
外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券僞造變造及模造取締規則	一〇	一〇	一八	三七	二	—	五七
政治犯罪處罰令	一二八	一二〇	—	二〇六	—	—	二〇六
治安維持法	五	五	二	七	—	—	九
朝鮮蠶業法規	一一九	一二〇	一	一三一	一	—	一三四
講會禊會取締規則	一三	一三	三	一	—	—	一三
市場規則	一	一	—	五	—	—	五
米穀檢査規則	一六	一六	—	一五	—	—	二〇
大豆檢査規則	一	一	—	一	—	—	一
小麥檢査規則	三	三	—	四	—	—	四
麻布檢査規則	一	一	—	一	—	—	一
籾調製取締規則	三	三	—	三	—	—	三
棉花取締規則	二四	二四	三	二八	—	—	三二

朝鮮鑛業令	五二一	五一	—	九二一	—	—	九二
漁業取締規則	二〇九	二二四	七四	二九〇	—	—	三六四
海藻取締規則	二	二	一	一	—	—	二
狩獵規則	一一八	一三〇	一八	一三八	—	—	一四六
狩獵免狀及特別許可ニ關スル規則	六	六	四	二	—	—	六
商法	二	二	六	一〇	—	—	一六
請願令	二	二	一	一	—	—	二
雜業取締規則	一五	一五	—	一五	—	—	一五
代書業取締規則	三九	四五	七	三四	—	—	四一
理髮營業取締規則	二六	二六	五	二〇	二	—	二七
紹介營業取締規則	一六	一六	—	一八	—	—	一八
印判營業取締規則	三	三	—	三	—	—	三
畜犬取締規則	四	四	四	—	—	—	四
廣告物取締規則	一	一	—	一	—	—	一
市街地建築取締規則	一六	一七	七	九	一	—	一七
建築取締規則	七	七	四	三	—	—	七
荷車取締規則	五三七	五四一	六〇	四八一	二	—	五四三
人力車取締規則	一八	一八	—	一八	—	—	一八

馬車取締規則	三	三	—	三	—	—	三
原動機取締規則	三	三	二	一	—	—	三
自動車取締規則	一〇二	一〇二	一二	八二	—	二	九五
自轉車取締法規	三三二	三三二	三九	二九五	三	—	三三七
電車取締規則	五	五	二	三	—	—	五
宿屋營業取締規則	一三八	一三八	七	一三二	—	—	一三九
料理屋飲食店營業取締規則	二七〇	二七〇	一〇	二五二	二	—	二六四
藝妓酌婦藝妓置屋營業取締規則	三〇	三〇	六	二六	—	—	三二
貸座敷娼妓取締規則	一五	一五	一四	一	—	—	一五
條約ニ依リ居住ノ自由ヲ有セサル外國人ニ關スル規則	二	二	—	—	二	—	二
勞働者募集取締規則	一五	一五	四	一四	—	—	一八
刑死者ノ墳墓祭祀肖像等ノ取締ニ關スル規則	一	一	—	一	—	—	一
衞生上有害飲食物及有害物品取締規則	七	七	一	六	—	—	七
水流ニ於テ蔬菜食器等ノ洗滌取締ニ關スル規則	八	八	—	八	—	—	八
牛乳營業取締規則	二	二	二	—	—	—	二
清涼飲料水及氷雪營業取締規則	五	五	—	五	—	—	五
屠場規則	九七	一〇一	一	一四一	—	—	一四一
獸肉販賣營業取締規則	五二一	五二一	—	五一	—	—	五一

特許法	一	一	一	|	|	|	一
實用新案法	一	一	一	一	|	|	二
度量衡法規	六四	六四	五	六四	一	|	七〇
郵便法	六八	六九	一	五九	|	|	六〇
電信法	一四	一四	一	八	|	|	九
道路取締規則	四七六	四七七	五〇	四三八	|	|	四八七
道路並木取締規則	一	一	|	一	|	|	一
鐵道營業法	一二五	一二五	六	一二三	|	|	一二七
朝鮮船舶令	二	二	一	一	|	|	二
開港取締規則	四	四	四	|	|	|	四
艀船營業取締規則	一	一	|	一	|	|	一
繩叺取締規則	一	一	一	|	|	|	一
商標法	一	一	一	|	|	|	一
家資分散ニ關スル罪	一	一	一	一	|	|	二
特別法犯計	一一,三四九	一一,三七八	七二五	一三,〇二三	九二	二	一三,八四一
總計	一三三,三三〇	一二一,五五七	六,四八二	一二八,三六六	七九一	一〇	一三五,六四九

備考 一人にて數罪を犯したる場合の犯罪件數は一罪毎に一件として掲記す。
數人共謀して罪を犯したる場合は之を一件とし人員は其の實數を掲記す。

連續犯の場合に於ける犯罪件數及檢擧件數は之を一件として掲記す。
數罪を犯したる場合の檢擧件數は罪名毎に各之を掲記し檢擧人員は其の重き罪名欄に一人と掲記す。
本表には犯罪即決處分に依るものを包含せす。

即ち右の犯罪件數及び檢擧數を見るに年と共に著しく增加し、大正元年には犯罪件數四三、二九七件、檢擧件數三二、七八二件なりしものが、大正十四年には犯罪件數一三三、三三〇件、檢擧件數一二一、五五七件に達し、犯罪件數に於て約三倍、檢擧件數に於て約四倍の增加を示して居る。檢擧人員の內鮮外人別を見るに、大正元年に於ては內地人四、二九三人、朝鮮人三二、八一一人、外國人五〇五人であつたものが、大正十四年には內地人六、四八二人、朝鮮人一二八、三六六人、外國人八〇一人となり、內地人及び外國人の約一倍半の增加に對し、朝鮮人は約四倍の增加を來して居る。人口數に對する犯罪の割合を見るときは內地人及び外國人に對して朝鮮人の犯罪率は遙かに低いが、近年その增加の傾向顯著なるは大に注意すべきことである。いづれの國民と雖も海外または植民地への移住者や出稼人は、その本國に在る者よりも進取の氣象に進み、元氣潑溂たる一面に於ては、犯罪が多い傾向あり、米國に於ける移住民に特にその適例が尠くないのである。而してこれが原因は、第一には社會的、經濟的の理由と、第二には生理的肉體的の理由に基くものにして、移住者中には往々社會

環境に順應し得ず、事志と違ひて失望落膽、遂ひに自暴自棄に陷り、または氣候風土に慣れざる爲めに健康を害したりなどして、貧困の結果、犯罪者となるものが多いのである。ニューヨークの少年裁判所クリニックの長官シュラップ博士の研究に據ると、本國にて健全な子供を生んだ母親が、アメリカに移住して後に生んだ最初の子は精神的に缺陷が多いと云ふことが判つた。時として移住後の最初の子供ばかりでなく、第二、第三の子供もまた缺陷を持ち易いが、これはその母親の內分泌腺の異常に外ならぬことが明かになつたので、シュラップ博士は、移住後の母親の內分泌腺の障害を治療して觀察した所が、果して健全なる子供の生れることが經驗されたさうである。また移住民に犯罪多きは、家庭を有せず、殺風景なる獨身生活を營むこと多きに基くことも見逃してはならぬ。されば我國に於ても、內地に於ける朝鮮人や、朝鮮に於ける內地人の犯罪に就いて、科學的研究を行ふに於ては、必ずやその狀態を改善するやうな効果を收めることが出來やう。

飜つて右に揭げた犯罪の種類を見るに、大正十四年に於ける刑法犯罪では、窃盜四八、一八八が拔群にして、詐欺二〇、六二一、傷害一三、二二一、横領一二、〇九一、賭博四、〇四一、文書僞造二、八〇四、失火二、四四三、强盜二、一九一、住居を侵す一、七七三、毀棄及隱匿一、六八三、略取誘拐一、六六五、贓物に關する九九〇、猥褻姦淫及重婚九五七、恐喝九五三、誣告七四五、脅迫六七七

信用及業務に對する六七六、名譽に對する六四五、殺人五八三の如きは犯罪件數の多いものである。また特別法犯では、森林令二、八三六最も多く、これに亞いで警察犯處罰令一、一四九、墓地火葬場埋葬及火葬取締規則八三六、朝鮮阿片取締令七二四、荷車取締規則五三七、藥品及藥品營業取締規則四八七、道路取締規則四七六、モルヒネ、コカイン服用及注射取締規則三三〇等である。更に新受刑者の犯數別、入所時の年齡別、犯由別、教育別を見ると左表の如くなつて居る。

新受刑者犯數別　（大正十四年）

犯別		內地人 男	內地人 女	朝鮮人 男	朝鮮人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 計
初犯		一九六	一〇	六、一九三	三一六	一一四	四	六、五〇三	三三〇	六、八三三
再犯		四七	一	一、三六六	一一	一四	一	一、四二七	一二	一、四三九
三犯以上		八二	二	一、〇五一	五	三	一	一、一三六	七	一、一四三
六犯以上		二	一	八四	一	一	一	一〇六	二	一〇八
合計		三四六	一四	八、六九四	三三三	一三一	四	九、一七一	三五一	九、五二三

新受刑者入所時の年齡別　（大正十四年）

年齡別	內地人 男	內地人 女	朝鮮人 男	朝鮮人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 計
十八歲未滿	九	—	三〇四	一七	一	—	三一四	一七	三三一
十八歲以上	七	—	二七〇	二三	四	一	二八一	二四	三〇五
二十歲以上	一一一	七	三、五一三	一一四	四一	一	三、六六五	一二二	三、七八七
三十歲以上	一二九	六	三、一四五	九八	五四	—	三、三二八	一〇四	三、四三二
四十歲以上	十九	一	一、一一三	六〇	二七	二	一、三二九	六三	一、二八二
五十歲以上	九	—	二八九	一五	五	—	三〇三	一五	三一八
六十歲以上	二	—	六〇	六	—	—	六二	六	六八
合計	三四六	一四	八、六九四	三三三	一三二	四	九、一七二	三五一	九、五二三

新受刑者犯由別（大正十四年）

犯由別	內地人 男	內地人 女	朝鮮人 男	朝鮮人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 計
憤怒	七	—	一九九	一七	二	—	二〇八	一七	二二五
怨恨	三	—	八二	八	一	—	八六	八	九四
嫉妬	—	—	四	一	—	—	四	一	五
痴情	一	三	二九	二五	—	—	三〇	二八	五八
色慾	六	—	三二五	五四	三	—	三三四	五四	三八八

犯由別	內地人 男	內地人 女	朝鮮人 男	朝鮮人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 計
飮酒	一一	—	七七	—	—	—	八八	—	八八
遊蕩	四二	—	一九二	—	二	—	二三六	—	二三六
娛樂	—	—	四六	八	—	—	四六	八	五四
利慾	一〇三	二	二、四八二	五三	七三	三	二、六五八	五八	二、七一六
奢侈	二	—	四	—	—	—	六	—	六
虛榮	—	—	二八	—	—	—	二八	—	二八
射倖	一	—	四三	—	—	—	四四	—	四四
懶惰	一一	—	四一六	一三	四	—	四三一	一三	四四四
不用變	二	—	六四	三	一	—	六七	三	七〇
疎虞	二	一	三五	五	一	—	三八	六	四四
出來心	四	—	四〇一	一五	二	—	四〇八	一五	四二三
習癖	一二一	五	二、四六九	四五	一二	一	二、六〇二	五一	二、六五三
迷信	—	—	一二	二	—	—	一二	二	一四
誘惑	七	—	一三七	三	—	—	一四四	三	一四七
食慾	—	—	二九	一	—	—	二九	一	三〇
貧困	二二	—	一、一一四	二四	一七	—	一、一五三	二四	一、一七七
病苦	一	二	三六七	二六	四	—	三七二	二八	四〇〇
家庭不和	一	—	一二	七	—	—	一三	七	二〇

親族不和	―	―	―	―	―	―	―	―	―
友誼	―	―	一三	二	―	―	一三	二	一五
非行凌辱	一	―	六	一〇	―	―	七	一〇	一七
惡戯	―	―	八	―	―	―	八	―	八
模放	―	―	―	―	―	―	―	―	―
刑餘不信用	三	―	二	―	―	―	五	―	五
其ノ他	四	一	七九	一	―	―	八三	二	八五
不詳	一	―	八	―	―	―	九	―	九
合計	三四六	一四	八、六九四	三三三	一三一	四	九、一七二	三五一	九、五二三

新受刑者敎育別（大正十四年）

敎育程度	內地人 男	內地人 女	朝鮮人 男	朝鮮人 女	外國人 男	外國人 女	合計 男	合計 女	合計 計
高等	一	―	四	―	―	―	五	―	五
中等	三二	―	六七	―	―	―	九九	―	九九
普通	二三四	二	八七三	四	三	―	一、一〇〇	六	一、一〇六
簡易ノ文書ヲ讀ミ得	五九	一〇	二、三八五	一一	四一	―	二、四八五	二一	二、五〇六
無敎育	一六	一	二、一四〇	五九	四〇	―	二、一九六	六〇	二、二五六
無筆者	一四	一	三、三二五	二五九	四八	四	三、三八七	二六四	三、五五一
合計	三四六	一四	八、六九四	三三三	一三一	四	九、一七二	三五一	九、五二三

即ち新受刑者の犯數は、總數九、五二三中、初犯六、八三三を占め、入場時の年齡は、二十歲以上四十歲未滿の者が殆んど大部分である。犯由別は、利慾二、七一六、習癖二、六五三、貧困一、一七七、懶惰四四四、出來心四二三、病苦四〇〇、色慾三八八、遊蕩二三六、憤怒二二五などが多い方である。その敎育別は、無筆者の三、五五一が第一位を占め、簡易の文書を讀み得る者二、五〇六、無敎育者二、二五六、普通敎育を了へたる者一、一〇六、中等敎育を了へたるもの九九、高等敎育を了へたる者五の順序にして、敎育の程度低き者に犯罪の多き事實を明白に示し、敎育ある者の犯罪は、思想犯か、文書僞造及び詐欺などの智能犯が大部分を占めて居る。

第一章　貧富と犯罪の關係

犯罪の發生が犯罪者を圍繞する社會的原因即ち環境に支配さるゝこと多きは既に述べたが、就中、貧富の程度によりて、犯罪の種類並にその發生件數には自ら消長がある。ボンガーは貧富の懸隔と犯罪の關係に就いて有益なる研究を發表し、その外此種の資料は學者によりて盛んに提出されて居る。ロンブローゾは伊太利の犯罪人百人に付、これを資産あるもの、稍資産あるもの、資産なきもの、赤貧のものに分ちて調査した結果、その八〇%乃至九〇%が資産なきものに屬し、資産あるものは僅に一〇%に過ぎざる事實を明かにし、また同氏は納稅率を以て貧富の標準と爲し、富裕區、中間區、貧困區の三種に分ち、その性的犯罪、詐僞罪、窃盜罪、殺人罪に就いて研究した結果、詐僞罪は比較的富裕區に多く、中間區これに亞ぎ、貧困區に最も少く、窃盜罪は貧困區に最も多く、富裕區これに亞ぎ、中間區に最も少く、殺人罪は貧困區に最も多く、中間區これに亞ぎ、富裕區に最も少きことを示し、性的犯罪は貧困區、富裕區、中間區の順位になつて居る。これを要するにロンブローゾの研究では、貧困區に概して犯罪の多いことを示して居るが、私は犯罪の種類によりては、極貧なるものより

も、却て貧困の程度低きか稍資産あるものに多い事實を認めるものである。獨逸のメーヤーは小麥の小賣値段の高低を以て累年の經濟狀態の良否を示すものと見做し、浮浪、乞食、殺人、窃盜、性的惡行、其他の犯罪は小麥値段と幷行的關係を有し、その値段の低き年には犯罪件數も低下して居ることを明かにした。我國に於ても特に都會地に於ては、物價騰貴は生活難を招致し、自然犯罪件數を多からしむるが、朝鮮は全人口の約八割餘が農耕に從事して居る關係上、水害、旱害等の凶作の年に於ける犯罪件數は例年に比して多いのを普通とする。而して貧富と犯罪の關係を究めんとせば、先づその貧富の程度を考察する必要がある。

第一節　社會環境さしての貧富

有史以來、地勢、地質、氣候等あらゆる條件に於て先天的に資源の豐富でなく、また人爲的に產業の發達も充分でなかつた上に、人口のみが過多であつた朝鮮は、併合前までは、國力の不振、政治の腐敗の爲め、民心は萎縮怠惰に陷り、國家的にも經濟上の活動を阻止せられて居た。從つて半島全體としても、また國民個人としても、その富の程度は著しく低く、貧民の數は甚だ多かつたのである。併合以來、庶政改善の結果、產業の發達、民力の增進は漸く著しきを致して居るけれども尙ほ內地や諸國外國に比すると大に貧富の懸隔がある。由來完全なる國富の調査及び家計調査の行はれざる我國に於て、貧富に關する研究を爲すことは極めて困難であるが、殊に朝鮮に於てはこの種の資料を得ることに最も不便を感ずるのである。何を標準として貧富の程度を觀察するのが捷徑であるかは、人々によりて議論もあらうが、私は手許に在る數種の資料を基礎として、民族的に地理的に、朝鮮に於ける貧富の程度に就いて聊か研究を試みて見たいと思ふ。

農家の階級

朝鮮に於ける產業は古來農耕を主なるものとして居るので、その人口の構成は、これを職業別に見ると、大正十四年末現在に於ては、農業八一・五、漁業及製鹽業一・四、工業二・六、商業及交通業六・九、公務及自由業二・九、其他の有業者三・四、無職及不詳一・三の割合を示し、農業は殆んど大部分を占めて居るのである。されば農家の戶數を階級別に觀察するときは、略ぼ全土の戶數に對し貧富の程度を推測することが出來る。卽ち左表に示す如く、大正十四年九月末現在の朝鮮の農家戶數は二百七十二萬八千九百二十一戶であるが、これを內譯すると、地主十二萬一千九百八十五戶、自作五十五萬三千六百七十八戶、自作兼小作九十一萬七千三百十一戶、小作九十七萬三千七百三十八戶、窮農十六萬二千二百九戶となつて居る。

農家階級別戸數表

（大正十四年九月末）

道名＼種別	地主	自作	自作兼小作	小作	窮農	合計
京畿道	一九、一一五	二五、〇〇〇	七三、九四二	一一四、五三一	一三、八五五	二四六、四四四
忠清北道	三、七七七	一五、五三六	五三、一二四	五四、一四一	七、五九七	一三四、一七五
忠清南道	四、八九〇	一五、〇一一	六五、二五七	九四、三六九	七、六五四	一八七、一八二
全羅北道	三、一七三	一四、二一二	五八、七七三	一一一、七六五	二三、三一七	二一一、二四〇
全羅南道	二六、二六九	六八、三〇六	一三〇、二七五	一〇三、八一一	二七、五三三	三五六、一九四
慶尚北道	八、七九一	六〇、五二三	一三四、八七二	一〇四、七七〇	二四、〇三〇	三三三、九七六
慶尚南道	九、二〇八	三八、九七五	九三、九二〇	一二二、七一五	二五、五六七	二九〇、三八五
黄海道	一〇、七一五	三九、七七〇	七四、九七八	九三、七〇九	七、六六八	二二六、八四〇
平安南道	六、三九〇	二八、九〇九	四六、六五七	三六、五二九	二、六五四	一二一、三九
平安北道	一四、四七四	五二、九一八	四九、七五七	六二、六二七	七、五〇三	一八七、二七九
江原道	六、〇二五	五八、二五〇	七二、三〇九	四八、二九七	九、八〇八	一九四、六八九
咸鏡南道	五、八二四	八九、二六〇	四九、〇八一	二二、八五八	四、七七四	一七一、七九七
咸鏡北道	三、三三四	四七、〇〇七	一四、一六六	三、六二五	二五九	六八、三八一
合計	一二一、九八五	五五三、六七八	九一七、三一一	九七三、七二八	一六、一〇九	二、七八、九二一

更に大正十四年末現在に就いて、朝鮮全土の耕地を自作地と小作地に分ちて見ると、自作地は、畓五十四萬八千二百餘町歩、田百六十萬一千四百餘町歩、計二百十四萬九千六百餘町歩となり、小作地は、畓百一萬五千五百餘町歩、田百十八萬三千二百餘町歩、計二百十九萬八千七百餘町歩に達し、自作地一、〇〇〇に對する小作地の割合は、畓一、八五二、田七三九、平均一、〇二三となり、朝鮮に於ても内地と同樣に、近年次第に土地兼併の傾向が著しくなり、大地主の數と小作農の數が增加し、農家の中堅を爲す自作農階級の漸次減少の趨勢を辿りつゝあることは注目に値すべき問題である。

自作小作別耕地面積

（大正十四年十二月末）

道名＼種別	自作地 畓	自作地 田	自作地 計	小作地 畓	小作地 田	小作地 計
京畿道	五三七、三四七反	六五九、五六〇反	一、一九六、九〇七反	一、四五一、九三六反	一、一九一、〇八二反	二、六四三、〇一八反
忠清北道	二六〇、一二一	四〇二、九九七	六六三、一六九	四二八、三一〇	四八〇、五〇七	九〇三、五七七
忠清南道	四六三、八七五	四三九、七〇二	九〇三、五七七	一、一三六、七五八	三九四、九六八	一、五三一、七二六
全羅北道	三五七、三二七	二九二、四三二	六四九、七五九	一、三一四、四一二	三八七、三三一	一、七一一、七三三
全羅南道	八〇九、九〇七	一、三九二、三〇八	二、二〇一、二一五	一、二二〇、〇〇〇	六九五、八一〇	一、九一五、九一〇
慶尚北道	八三三、〇一一	一、〇三〇、〇七二	一、八六三、〇八三	一、〇五二、七六二	九八二、九八八	二、〇三五、〇六〇
慶尚南道	五八四、一九四	五二五、〇四三	一、一〇九、二三七	一、〇七四、六二三	五八三、九五一	一、六五八、五八五
黄海道	三六三、四二六	一、七二九、九八八	二、〇九二、四一四	九四八、〇七八	二、二三三、三九三	三、二八一、四七一

平安南道	二四一、四二六	一、七八四、四七一	二、〇二五、八九七	四一〇、七五〇	一、五二四、二一二	一、九三四、九六二
平安北道	二六二、五四四	一、六二五、七六三	一、八七八、三〇七	五〇六、三四三	一、六三〇、一九一	二、一三六、五三四
江原道	四一四、九五五	一、七七八、六六四	二、一九三、六一九	三九八、六六七	八〇〇、五一三	一、一九九、一八〇
咸鏡南道	二七九、六二三	二、五三六、〇〇七	二、八一五、六二九	一七五、三一八	六四九、六〇〇	八二四、九一八
咸鏡北道	七四、二八〇	一、八二七、一七二	一、八九一、四五二	二七、三〇八	一七八、〇六一	二〇五、三六九
合計	五、四八二、〇八八	一六、〇一四、一七九	二二、四九六、二六五	一〇、一五五、二七五	一二、八三二、〇〇八	二二、九八七、二八三

試みに各道に就いて、自作地一、〇〇〇に對する小作地の割合を見ると、小作地の最も多きは全羅北道の二、六三四にして、京畿道の二、二〇八それに亞ぎ、その最も少きは咸鏡北道の一〇九にして、それに亞ぐは咸鏡南道の二九三である。これによりて見るも、全鮮中全羅道が小作爭議の熾んな地方たる理由を首肯し得べく、また土地の分配が公平に行はれて居る咸鏡道が理想の農村として羨望さるる所以を知ることが出來やう。然しながら咸鏡道や平安道と雖も、今後農業の進歩し經濟狀態の發達するに從ひ、決して現狀の儘に自作農の割合が維持され、若くは地主對小作の關係が圓滿であるとは考へられないのである。即ちこれ等西北鮮地方も、軈ては新時代の經濟潮流に捲き込まれ、產業組織の變遷に伴ひて、自然その農業經濟が南鮮地方と同じ狀態に立ち到るものと見るのが至當である。

自作地千に對する小作地の割合　（大正十四年十二月末）

種別 / 道名	畜	田	平均
京畿道	二、七〇二	二、二〇八	
忠清北道	一、八四六	一、七九六	
忠清南道	二、四五一	一、三七〇	
全羅北道	三、七〇六	一、六九五	
全羅南道	一、五〇六	二、六三四	
慶尚北道	一、二六四	八七〇	
慶尚南道	一、八四〇	一、〇九一	
黃海道	二、六〇九	一、四九五	
平安南道	一、七〇一	一、五六〇	
平安北道	一、九二九	九五五	
江原道	九六一	一、二三七	
咸鏡南道	六二七	五四七	
咸鏡北道	三六七	二九三	
總計	一、八五二	九八	
		一〇九	
		一〇三	

備考　本表には土地臺帳未登錄土地面積の自作小作の區分を欠く。

農家經濟に關しては、既に各方面に於て種々調査が行はれて居るが、試みに內務局社會課の調査を

見ると左の如くなつて居る。これに據ると、全鮮平均の一戸當農家收入差引殘額は、地主五百四十五圓（地主の收入は相當に多いが、その中には大地主を含んで居るので、小地主の收支狀況は案外惡いことを忘れてはならぬ）自作農八十七圓、自作兼小作農二十五圓にして、小作農は十一圓、窮農は四圓のいづれも不足を來して居る。これでは小作農及び窮農の生活難や以て知るべきであるが、地主階級に於ても、大營農業者は別として、中流以下の地主中には、近時物價騰貴の影響を受け、また遽かに子弟敎育費及び各種の負擔が增加し、一方に於ても奢侈、虛飾の風は依然として改まらず、體面を重んじ、勤勞を卑み、生活程度のみ徒らに向上して家計費の膨脹する等の爲めに、收入に對して支出の急激なる超過を來し、餘儀なく土地家屋を擔保として負債を爲し、或はこれを他に賣却する如きものも自然と夥しき數に達して居ることは、土地所有權の移動の事實に徵しても明かであり、從つて中小地主以下の農民中には大體に於て經濟的に疲弊して居るものが多いことを認めるのである。

最近一箇年間農家收支狀況　（大正十四年九月調）

種別／道名	地主 收入	地主 支出	地主 差引殘	自作農 收入	自作農 支出	自作農 差引殘	自作兼小作農 收入	自作兼小作農 支出	自作兼小作農 差引殘	小作農 收入	小作農 支出	小作農 差引殘	窮農 收入	窮農 支出	窮農 差引殘
京畿道	二、一七二円	一、七四〇円	四三二円	六七三円	五六五円	一〇八円	六一一円	五〇一円	一一〇円	五二三円	五一四円	九円	八九円	一〇一円	△一三円
忠淸北道	二、六一四	一、七八四	八三〇	六八三	五二五	一五八	六〇六	五四〇	六六	五〇二	四七六	二六	九〇	九七	△七
忠淸南道	三、一四三	二、〇一八	一、一二五	七四〇	五九八	一四二	六四五	六二〇	二五	五五五	五五八	△三	一三五	一三五	—
全羅北道	五、〇三一	三、〇八四	一、九四八	七九四	六八八	一〇六	六二三	六〇一	二二	四二一	四九四	△七三	一〇四	一一四	△一〇
全羅南道	八、五九二	二、七八四	五、八〇八	七三五	六四八	八七	五三一	五三〇	一	五四二	五二三	一九	一〇五	一一一	△六
慶尙北道	三、二六〇	二、一四六	一、一一四	一、〇九二	一、〇二〇	七二	八〇一	七八一	二〇	六九二	七一〇	△一八	五三	五三	—
慶尙南道	六、一七五	四、二二〇	一、九五五	一、八二九	一、三八三	四四六	八五五	八一四	四一	六六四	六九四	△三〇	一三七	一三三	四
黃海道	一、二三六	一、〇六六	一七〇	三八七	三六八	一九	三七九	三六四	一五	三四九	三四〇	九	九四	九二	二
平安南道	一、一八五	九〇三	二八二	四三七	三六三	七四	三六三	三二五	三八	三一三	三〇九	四	九二	九九	△七
平安北道	二、〇五八	九三八	一、一二〇	五二五	四二八	九七	四九三	四四三	五〇	四五六	四四四	一二	一六〇	一六〇	—
江原道	四、七八八	二、八三三	一、九五五	六五五	五三九	一一六	五二〇	四九〇	三〇	四二九	四三四	△五	七一	八三	△一二
咸鏡南道	二、二二七	一、二九九	九二八	五二四	四五八	六六	六〇一	五八三	一八	四〇五	四〇九	△四	一二〇	一二〇	△四
咸鏡北道	一、五八五	九三八	六四七	六八二	五五六	一二六	六〇二	五二九	七三	六四六	五一〇	一三六	一五〇	一五四	△四
一戸當平均	一、五三四	九八九	五四五	六四六	五五九	八七	四七六	四五一	二五	四〇三	四一四	△一一	一〇二	一〇六	△四

備考　一、△印は減を示す。　二、圓位以下は四捨五入せり。

中農以下の農家の收入が良好でないことは既に述べた通りであるが、尙ほ朝鮮に於ける下層農民の生活が窮迫に陷つて居ることは、最近一箇年間の農家轉業狀況に依りても略ぼ窮ひ得るであらう。人口の密度が高く、且つ土地兼併の傾向が漸く著しい上に、農業の能く進步發達して居る南鮮地方に、農家の轉業者が多く、これに反せる西北鮮地方に比較的農家の轉業者の尠いことも、朝鮮の農政を研

究する人士の閑却してはならぬ事實である。朝鮮に於ては現在のところ商業及び工業は極めて不振であるけれども、農家の轉業狀態を見ると、農業に從事するよりはこの方面または勞働に從事した方が有利である事實も現はれて居る。殊に鮮外出稼者の多いことは最も注意すべきことであるが、凡そ水の卑きに就く如く、人は生活の易き方面に趨くのが當然の成り行である。朝鮮人の鮮外移住者は、地理的關係上從來は、南鮮地方のものは多く內地へ、西北鮮地方のものは多く滿洲、西伯利亞へ移住したのである。然るに最近に至り、慶尙道及び全羅道地方の農家にして、滿洲、西伯利亞方面へ移住し水田耕作を行ふものが漸く增加して來た。私は命に依りて昭和二年の秋、南北滿洲及び北支那地方に出張し、親しくこの事實を目擊し、種々調査の結果、內地の勞働者需要に限りある以上、將來南鮮地方の農家にして滿洲、西伯利亞地方へ移住する者は一層增加する傾向にあることを確めたが、內地の農村と甚だしき徑庭なき南鮮地方の農家轉業の狀況は、畢竟するにその下層農家の經濟狀態が、西北鮮地方に比し今日既に尠からず逼迫窮乏せる事實を示すものであると觀察される。

最近一箇年間の農家轉業狀況　（大正十四年九月）

道名＼種別	出稼者			一家離散せる者	其他	計	
	工業及雜業に就ける者	勞働又は傭人となれる者	內地へ	滿洲へ	西伯利亞へ		
京畿道	七九九人	四八六人	一三三人	六六人	二四人	六人	四一人	三七人	二七八二人
忠淸北道	一三一四	九九三	二六六	一三九	二四	六	五一四	七〇	五八九七
忠淸南道	四〇一	二六六	九三六	九四	八	一	一七〇	五〇	一九三六
全羅北道	一六九六	一七九二	二一一八	六一六	一六	一	六六四	一三四五	八二八七
全羅南道	一七〇五	一一九四	五四三九	四六六三	九	二四	四八六	一五	一三五三五
慶尙北道	一〇五五〇	五九三五	二八七六〇	六九九五	一三五	二八九〇	四九五	五七〇五五
慶尙南道	二一三三	一九八七	一四〇六九	一三〇二	二五一	一五	九二九	二六一	三一八三七
黃海道	六八七	五九六	一二八六	二八	八	三	一三一	四九	二七八九
平安南道	七四四	五二九	三五九七	一二	八二	一	三四	六	五〇〇五
平安北道	四六七	六七一	一五三四	三〇	二九九	六	一二四	二四一	三三六九
江原道	六三二	五七八	一四九〇	一九九	五三	三八	一七一	三九	三一〇〇
咸鏡南道	二一九五	一六二〇	五五九五	二一五	七五一	四八五	六七五	八八〇	一二四一六
咸鏡北道	四五五	二三二	五八〇	四九	三〇三	三七一	五	九	一〇〇四
合計	一三七二八	一六八七九	六九、六四四	二五、三〇八	三、一三三	一、〇九一	六、八三五	三、四九七	一五〇、一一二

右の統計を見るに、一箇年間に十五萬餘人の農家轉業者あり、その中で、他の業務に就いた者、內地または滿洲及び西伯利亞へ出稼した者を除き、一家離散せる者その他が約一萬人以上に及んで居る如きは、農業發達の未だ幼稚にして、その進步の道程に在る今日の朝鮮としては、寧ろその數の多き

に驚くが、貧者に適當なる職業を與へ、過剰勞力を利用する丈けの生産業の勃興せざる限り、私はこの傾向の將來益々增大せんことを深憂するものである。

租稅の負擔

國民の貧富の程度を測定する一方法として、各自の租稅負擔額を見ることも普通に行はるゝ所であるが、間接稅の負擔額を地方別に檢することは不可能であるから、直接稅のみに就いて、府及び郡・島に分ち、內鮮外人別に、その負擔金高の總額、一戶當、一人當を示すと左の如くなつて居る。而して各府に於ける直接稅負擔額は、一戶當（內地人八二・六五二円、朝鮮人一二・五八三、外國人三〇・一五八）、一人當（內地人二〇・六二〇円、朝鮮人二・七九二、外國人七・七二七）となつて居り、郡・島に於ける直接稅負擔額は、一戶當（內地人八二・五一三円、朝鮮人一一・八六五、外國人一七・二三九）、一人當（內地人二三・四九三円、朝鮮人二・二一六、外國人四・八二二）にして、擔稅力を通じて見たる朝鮮在住の內鮮外人の貧富の程度には相當の懸隔あることを示して居る。各道及び各府に於ける一人當直接稅負擔額を見るに、府に在りては、內地人は群山府の二七・四七四、朝鮮人は京城府の四・一四三、外國人は京城の一二・三二六がいづれも筆頭を占めて居り、郡・島に在りては、內地人は全羅北道の三九・二六四、朝鮮人は忠淸南道の三〇八三、外國人は忠淸南道の一二・六一二が最も多い方である。

直接稅負擔額表（府）（大正十四年度）

區分／府別	內地人 負擔金額	內地人 一戶當	內地人 一人當	朝鮮人 負擔金額	朝鮮人 一戶當	朝鮮人 一人當	外國人 負擔金額	外國人 一戶當	外國人 一人當
京城府	一、九九七、一九九円	一〇二・七二六円	二五・六六七円	九一二、三〇三円	一九・三六二円	四・一四三円	五八、二二九円	五九・九〇六円	一二・三二六円
仁川府	二七七、五〇五	一〇六・八九七	二三・八八七	八一、四五五	八・六六七	二・〇四三	二〇、三九七	五一・六四〇	九・六五三
群山府	一九四、三五五	一〇九・九九一	二七・四七四	四〇、三七四	一三・一九四	二・九九三	四、〇五九	三九・四一四	八・六九三
木浦府	一六七、〇三五	一三三・九四九	二四・八九七	二八、〇九一	七・五〇五	一・四九三	二、七二七	四六・二三一	一一・四六〇
大邱府	三〇二、三三九	五四・五〇五	一三・六五三	一七四、三八七	一五・七五五	三・五二六	三、七一九	二三・三九五	六・九六五
釜山府	七四九、二五九	八〇・〇一四	一八・八四六	七六、九四四	五・四四〇	一・二一七	五、二七一	四八・八〇九	九・三七九
馬山府	七六、〇三〇	六一・九六四	一五・七六〇	二九、二七七	八・〇二九	一・七〇七	一、二五八	三九・三二四	一一・五四四
平壤府	二六三、九九五	三八・七〇三	一一・七一九	一五四、七〇二	七・四九七	一・八〇〇	一〇、四二五	三六・〇七四	一二・一二二
鎭南浦府	一一二、五三四	九三・七七八	二四・二八四	三三、八三三	六・七一九	一・五五八	三、三六三	一五・八六五	三・二九一
新義州府	九五、一四七	六七・九一三	一六・〇〇七	二一、八三八	九・一九一	一・六四六	八、六七九	六・一五三	二・二〇八
元山府	一五九、三七七	九四・九六五	一八・二〇二	四六、四四六	八・四六六	一・九三七	六、一〇九	三一・一五三	七・五六〇
淸津府	九八、七八九	六〇・六四四	一六・一二六	二〇、九八一	六・〇六二	一・五六九	二、九三五	一〇・七五二	二・六九三
合計	四、四九三、五六九	八二・六五二	二〇・六二〇	一、六二〇、六三七	一二・五八三	二・七九二	一二七、一七七	三〇・一五八	七・七二七

備考　負擔額中へは國稅、地方稅、府稅、面賦課金、學校費賦課金、學校組合費の六種中直接稅のみを含む。

直接稅負擔額表（郡及島）（大正十四年度）

道名	種別	内地人 負擔金額 一戶當	内地人 負擔金額 一人當	朝鮮人 負擔金額 一戶當	朝鮮人 負擔金額 一人當	外國人 負擔金額 一戶當	外國人 負擔金額 一人當
京畿道		二七、七三六円	六六・二四円	四〇五一、七八〇円	一三・六八六円	八、五八八円	一二・五七五円
忠清北道		一五、二六三	七四・六七五	二〇六六、三三〇	一三・三八四	四、六〇九	一六・五二一
忠清南道		五〇九、二五	九四・七三九	二六、〇二六	一六・六四八	三三、二七一	四一・〇六二
全羅北道		七八八、九三四	一五三・四八九	三九、二六四	二三・一六四	七、七五五	一五・九八九
全羅南道		七九九、五九〇	一二〇・七四七	四、五四三、一七九	一〇・九八九	四、二八〇	八・二七八
慶尙北道		三七一、四一五	六九・九三三	一九、〇一八	五、五三一	六、六一九	一八・一八九
慶尙南道		七一三、四九四	八四・五三五	二一・六四二	四、六八七、九九三	一、七二八	六・五七〇
黃海道		三六七、六四二	八三・三六五	二九、〇一六	三、五七八、四〇一	三〇、二七〇	四一・七五四
平安南道		一五八、〇八一	六七・四九八	二一・四五一	二、〇二一、三一三	二、三三五	四・〇五九
平安北道		一二三、七五七	三二・四三九	一二・〇二一	一、九二五、二三	三六、〇八一	四・八三六
江原道		一五三、〇二九	五四・七一二	一七・七一〇	二、〇〇二、七二三	四、七七四	一三・〇八一
咸鏡南道		一六二、九四八	四四・三八二	一四・二五四	一、五六四、四九五	五、一四七	五・八四〇
咸鏡北道		二八四、八六九	五九・〇六四	一九・二四六	七四八、二一九	四、〇三八	一・二四三
合計		四、八五八、九八九	八二・五一三	二三、四九三、八〇六、五〇一	一一・八六五	一四九、五〇〇	一七・二三九

以上は直接稅全部の負擔額に就いて貧富の程度を窺はんとしたのであるが、更に地稅負擔者に就いて、その納額別人員を內鮮外人に分ちて見ると左の如くなつて居る。而して市街地稅施行地に在りては、納稅額十五圓以上のものは內地人が多く、地稅令施行地も五百圓以上の多額納稅者は內地人が多く、朝鮮人は概して一圓以下の少額納稅者が多數を占めて居る。

地稅負擔者納額別人員

（大正十四年十二月末）

納稅額	地稅令施行地 内地人	地稅令施行地 朝鮮人	地稅令施行地 外國人	地稅令施行地 計	市街地稅令施行地 内地人	市街地稅令施行地 朝鮮人	市街地稅令施行地 外國人	市街地稅令施行地 計
五百圓以上	四八〇	四一八	一	八九九	六三	五	四	七二
二百圓以上	八四七	二、八六二	六	三、七一五	一七〇	二七	八	二〇五
百圓以上	一、一八七	一、一七三	一四	八、三七六	三八	五一	二〇	四〇〇
五十圓以上	二、二一八	一八〇五	二六	二〇、二九九	六九九	一五〇	四〇	九八九
三十圓以上	二、四七三	二七、七一六	三六	三〇、三三五	七六一	三五	四五	一、二三一
二十圓以上	四〇、一二四	四二、七八九	三三	四二、七八九	七九八	五〇四	四五	一、三四七
十五圓以上	四、四三	四八、九六〇	二六	五一、四一九	六九九	五三一	三三	一、二三四
十圓以上	三、五三九	一〇三、一八	四八	一〇二、九〇五	一、〇一七	一、一三五	六一	二、二三四
七圓以上	三、五七〇	一四一、九一二	三四	一四五、五一六	一、〇七三	一、三六六	五七	二、四九六

五圓以上	三、九二一	一九、二〇九七	五一	一九、〇六九	一、〇八五	一、九五四	五八	三、〇九七	
三圓以上	六、一三三	三三、九四七五	九〇	三四、五九八	一、五〇九	三、九五〇	七五	五、五三四	
二圓以上	五、八七一	三七〇、三六八	一〇三	三七、六三四三	一、一四〇	四、一四七	五五	五、三四二	
一圓以上	八、四九二	五八九、四二六	一九二	五九八、一一〇	一、五八〇	九、八二四	九〇	一、四九四	
五十錢以上	六、五〇一	五六〇、三七三	二〇七	五六七、〇八一	一、〇二一	一一、六六九	六一	二、七四一	
三十錢以上	四、七二六	四五五、九一〇	一八八	四六〇、八二四	五五四	八、〇七九	二九	八、六六二	
三十錢未滿	六、六四四	七八〇、四三一	三四八	七八七、四三三	六二五	一二、六九四	四二	一三、三六一	
合計	六一、六八〇	三、六七五、六一八	一、四〇三	三、七三八、七〇一	一三、〇八二	五六、五二三	七二四	七〇、三一九	
地番數	九一二、八二	一七、五〇六、二〇五	八、〇一八	八、四二六、五〇五	四九、六三	八九、一一七	二、〇四一	一四〇、七八一	

備考　地稅令施行地は左の市街地稅施行地を除く面全部を包含す。

市街地稅令施行地

京畿道　京城府、仁川府、水原郡水原面、開城郡松都面　慶尙南道　釜山府、馬山府、晋州郡晋州面
忠淸北道　淸州郡淸州面　黃海道　海州郡海州面
忠淸南道　公州郡公州面、大田郡大田面、論山郡江景面　平安南道　平壤府、鎭南浦府
全羅北道　群山府、全州郡全州面　平安北道　新義州府、義州郡義州面
全羅南道　木浦府、羅州郡羅州面、光州郡光州面　咸鏡南道　元山府、咸興郡咸興面
慶尙北道　大邱府、金泉郡金泉面　咸鏡北道　淸津府

更に朝鮮に於ける地主階級の貧富の程度、並に土地所有權移動の趨勢を知る爲め、累年の地稅及び市街地納稅義務者面積別人員數を見ると左の如くなつて居る。これに據りて見ると、大體に於て大地主の年と共に增加し、所謂土地兼倂の傾向著しき事實を示し、また內地人の土地投資の特に市街地に於て旺盛なることも看取し得られるのである。

地稅納稅義務者面積別人員數

段別	種類別	大正十年末	同十一年末	同十二年末	同十三年末	同十四年末	昭和元年末
二百町步以上	內地人	一六九	一七六	一七八	一六七	一七〇	一七七
	朝鮮人	六六	六一	六七	四八	四五	六六
百五十町步以上	內地人	一〇八	一〇五	一一三	一二六	一三〇	一三一
	朝鮮人	九四	七六	七二	七一	七四	九六
百町步以上	內地人	二一三	一九九	二一〇	二一八	二三〇	二四五
	朝鮮人	二六六	一八九	二一七	二一七	二七〇	二二九
七十町步以上	內地人	二四六	二五八	二八六	二九六	二九九	三〇〇
	朝鮮人	五二三	四五〇	四五六	五〇〇	五五七	五八〇
五十町步以上	內地人	二七三	二七一	三〇八	三一八	三六〇	三七六
	朝鮮人	九二七	一、〇八七	九二七	一、〇〇七	九九〇	一、一〇九
四十町步以上	內地人	二四〇	二三四	二八六	三三五	三八二	三三九
	朝鮮人	一、二三六	一、二三八	一、二三六	一、四四五	一、五三八	一、四三八

三十五町歩以上	内地人	二三八	二三九	二六八	二七七	三〇七	三二六
	朝鮮人	一、五七〇	一、二六六	一、二八一	一、五六〇	一、六五五	二、四九九
三十町歩以上	内地人	二六一	二六三	三一九	三六六	四一七	三九一
	朝鮮人	二、三八六	二、〇〇八	二、二三五	二、三四八	二、七八八	二、五〇五
二十五町歩以上	内地人	二八一	三五六	四一二	四一九	五〇二	四六五
	朝鮮人	三、六四〇	二、九三一	三、二五三	三、三一七	三、六一〇	三、九九六
二十町歩以上	内地人	四一〇	四四一	四九九	五六九	六一六	六二九
	朝鮮人	五、五〇四	四、八四〇	四、七二三	五、〇二一	五、六〇五	五、五八九
十五町歩以上	内地人	五五三	六五三	七九四	八四七	九九五	九一五
	朝鮮人	九、六三五	九、四八二	九、四三一	九、六五〇	一〇、三四四	一〇、三九二
十町歩以上	内地人	九九一	一、〇八一	一、一二八	一、一八二	一、三九四	一、四五〇
	朝鮮人	二〇、〇一一	二〇、八七六	二〇、二二四	二〇、四〇六	二二、四〇三	二二、二二四
七町歩以上	内地人	一、〇四〇	一、一九一	一、三五六	一、四四三	一、六九二	一、七〇四
	朝鮮人	三五、二五八	三五、八六九	三五、一九三	三五、九〇四	三六、九一八	三八、〇一四
六町歩以上	内地人	六七八	八一三	八八五	一、〇二六	一、一三一	一、一六九
	朝鮮人	三〇、六六二	二九、五二七	三一、一〇一	三三、一九三	三四、三〇〇	三五、五四九
五町歩以上	内地人	八三七	一、〇三三	一、一九八	一、二六一	一、四一三	一、四四一
	朝鮮人	四五、四〇八	四五、六二五	四四、八〇四	四七、三八五	四九、二〇七	五一、〇四三
四町歩以上	内地人	一、〇六八	一、二〇一	一、二八六	一、四三〇	一、五八六	一、六八二
	朝鮮人	六四、二九七	六四、二四〇	六五、六七三	六九、二〇五	七一、八五〇	七五、七八五
三町五反歩以上	内地人	一、一三〇	九五八	一、一九三	一、四〇二	一、四四〇	一、六一二
	朝鮮人	五六、八七一	五七、三一二	五九、四五九	六二、九〇九	六五、九四四	七〇、六四七
三町歩以上	内地人	一、〇九三	一、二六一	一、四六四	一、六五七	一、九三七	二、〇九五
	朝鮮人	八〇、八七四	八四、六八〇	八四、九六四	八六、〇八二	九二、七〇二	九二、一八三
二町五反歩以上	内地人	一、二三五	一、四三二	一、六九三	一、八六一	二、〇五四	二、一九四
	朝鮮人	一〇一、四五五	一〇二、九七二	一〇五、四六二	一〇七、八二三	一一六、五五二	一一五、九九二
二町歩以上	内地人	一、六五五	一、八六一	二、〇九一	二、二三三	二、六五七	二、八〇三
	朝鮮人	一三九、一三二	一四三、〇一二	一四三、一三〇	一四八、三四九	一四九、五一四	一五〇、二三六
一町五反歩以上	内地人	二、二四四	二、六三五	二、七八八	三、〇四四	三、三七七	三、四七五
	朝鮮人	二一〇、一三〇	二一一、九四七	二一五、三〇八	二一六、一九五	二二五、〇四五	二三一、七三〇
一町歩以上	内地人	三、一二七	三、五二七	三、九三九	四、〇九〇	四、八〇九	五、一二五
	朝鮮人	三一五、二五七	三一五、八八五	三〇七、七九七	三一〇、三九九	三一四、五九六	三一九、二五二
七反歩以上	内地人	三、一二〇	三、四二九	三、八五五	四、〇五九	四、五三四	四、七五六
	朝鮮人	三二六、八六二	三三五、三九一	三二六、六六九	三三四、四一五	三三八、八六九	三四三、〇三〇
五反歩以上	内地人	三、六六八	三、七四〇	四、一四五	四、三九五	四、五七三	四、九二七
	朝鮮人	三四四、七二四	三四六、二八六	三四八、八七四	三五三、六八〇	三六二、三三四	三六三、九八三
三反歩以上	内地人	四、九一九	五、三九九	六、〇〇一	六、二七三	六、六〇七	六、八七四
	朝鮮人	四五七、七四二	四五九、五三九	四七一、六〇五	四七五、九四八	四八七、六九四	四九〇、一三〇
一反歩以上	内地人	六、四三一	七、二一六	七、六〇一	七、六八四	八、〇四五	八、六六九
	朝鮮人	六〇〇、一八四	六二二、五八九	六三四、八九五	六三四、九四七	六五五、一六二	六六九、〇二三

一反歩未満	内地人	八、二八〇	八、九六八	一〇、〇三三	一〇、三三一
	朝鮮人	五六三、四二四	五七二、三六〇	六五一、八五一	六五一、八五一
合計	内地人	四四、三九七	四八、九三九	六一、六八〇	六四、五八一
	朝鮮人	三、四一八、五四〇	三、四七一、四四七	三、六七五、六一八	三、七三九、一六一

備考　外國人の昭和元年末に於ける狀況は左の通りである。

百五十町歩以上	一	十町歩以上	一九	一町五反歩以上	四〇
百町歩以上	一	七町歩以上	二五	一町歩以上	六五
五十町歩以上	二	六町歩以上	九	七反歩以上	五一
四十町歩以上	三	五町歩以上	一五	五反歩以上	八六
三十五町歩以上	七	四町歩以上	二七	三反歩以上	一三四
三十町歩以上	六	三町五反歩以上	一二	一反歩以上	二〇八
二十五町歩以上	一〇	三町歩以上	二二	一反歩未滿	六一〇
二十町歩以上	九	二町五反歩以上	一八	合計	一、四二五
十五町歩以上		二町歩以上	三六		

市街地稅納稅義務者面積別人員數

反別	種類別	大正十年末	同十一年末	同十二年末	同十三年末	同十四年末	昭和元年末
百町歩以上	内地人	一	一	一	一	一	一
	朝鮮人						

七十町歩以上	内地人	三	二	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	朝鮮人																							
五十町歩以上	内地人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	朝鮮人																							
四十町歩以上	内地人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	朝鮮人																							
三十五町歩以上	内地人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	朝鮮人																							
三十町歩以上	内地人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	朝鮮人																							
二十五町歩以上	内地人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
	朝鮮人																							
二十町歩以上	内地人	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
	朝鮮人																							
十五町歩以上	内地人	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
	朝鮮人																							
十町歩以上	内地人	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
	朝鮮人																							
七町歩以上	内地人	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六
	朝鮮人																							

六町歩以上	內地人	一四	八	一〇	一三	二〇	一八
	朝鮮人	九	七	六	五	一三	七
五町歩以上	內地人	二三	四二	二六	二四	二八	二六
	朝鮮人	一三	二〇	一六	一三	一二	一三
四町歩以上	內地人	二九	三四	三四	三七	四五	三九
	朝鮮人	一四	一五	一六	二〇	二四	二六
三町五反歩以上	內地人	二八	二八	二三	二五	二六	二九
	朝鮮人	三一	四〇	二六	二四	二四	二四
三町歩以上	內地人	七四	四九	四二	四三	四六	五三
	朝鮮人	三七	三三	二九	三九	三一	三四
二町五反歩以上	內地人	五二	四五	五八	五九	七三	七九
	朝鮮人	四九	五〇	四五	四八	五三	五五
二町歩以上	內地人	一〇八	九三	八五	八七	九〇	八四
	朝鮮人	九二	八一	八七	八二	七六	七一
一町五反歩以上	內地人	一三六	一五二	一一九	一三二	一四五	一六二
	朝鮮人	一四〇	一一五	一三八	一三三	一三四	一三五
一町歩以上	內地人	二四二	二三三	二三二	二四四	二九一	三〇九
	朝鮮人	二三九	一九六	二一〇	三一六	二五九	二七二
七反歩以上	內地人	三〇七	二六五	二八四	三三三	三一一	三七八
	朝鮮人	三六五	三八六	三八六	四一三	三六六	三四三

五反歩以上	內地人	三一二	三〇四	三四三	三六〇	三七一	四二八
	朝鮮人	五四〇	六三一	六六六	六六〇	六三五	五〇六
三反歩以上	內地人	六一三	七一五	七五四	七四九	七九二	七一三
	朝鮮人	一、〇一九	一、二四一	一、二五一	一、二七九	一、二四九	九六八
一反歩以上	內地人	一、九九二	一、八五四	二、〇三九	二、〇八六	二、三七一	二、五五二
	朝鮮人	二、六五八	三、八五四	三、六九八	三、九一一	三、七二〇	二、九三四
一反歩未滿	內地人	七、三〇〇	七、三五八	八、一五五	八、三四六	八、四〇二	九、〇五七
	朝鮮人	四九、八七四	四九、〇五六	五〇、一二一	四九、六二一	四九、八六三	五〇、〇三七
合計	內地人	一一、〇九二	一一、二二七	一二、二六四	一二、五九四	一三、〇七九	一三、九九六
	朝鮮人	五五、一二六	五五、七五八	五六、七四〇	五六、五一〇	五六、五一六	五五、四五一

備考　外國人の昭和元年末に於ける狀況は左の通りである。

二十五町歩以上	一	三町五反歩以上	三	七反歩以上	二五
二十町歩以上	三	三町歩以上	九	五反歩以上	一九
十町歩以上	一	二町五反以上	六	三反歩以上	二八
七町歩以上	三	二町歩以上	九	一反歩以上	九四
五町歩以上	三	一町五反歩以上	一三	一反歩未滿	四六九
四町歩以上	二	一町歩以上	一八	合計	七〇六

貯蓄の多寡

貯蓄の多少即ち銀行預金や郵便貯金の在高を以て、各國民または個人の貧富の程度を測定するは決して正鵠を得た方法でない。例へば佛蘭西人や白耳義人の如く貯蓄心の發達して貯蓄機關を利用する國民もあれば、支那人の如く貯蓄心は旺盛であつても現銀を貯藏して銀行などを比較的利用しない國民もあり、個人としても或は直接事業に投資する者、或は公債及び株式等の有價證券に投資する者、または銀行預金及び郵便貯金を爲す者等、各自の欲する所に依つて貯蓄の方法は異なつて居るが、然しながらこれ等の金額を通じて、貯蓄思想普及の程度及び貧富の一班は窺知されないでもない。元來朝鮮に於ける人口の大部分を占むる朝鮮人は、遠い昔より勤勞を厭ひ、奢侈浪費の弊ありて、一般に貯蓄心乏しく、「其日暮し」と云はんよりは、寧ろ「借金生活」を平氣で繰り返し、從つて蓄財の餘裕ある者は極めて僅少であつた。その原因に就いては色々の說があるが、兎も角も勞働者は今後の收入を目當てに、百姓は來る秋の收穫を頼りにして、高利の負債を爲し、甚だしきは先祖傳來の借金を背負ひて、希望もなければ光明もなき陰慘なる生活を營んで居る者が多かつたのである。併合以來、當局は各種產業の開發を計ると共に、勤儉貯蓄の奬勵を行つた結果、國民の生活は次第に改善され、また貯蓄思想は年と共に普及し、各種預金の金額も著しく增加して來たことは洵に欣ぶべき傾向である。朝鮮に於ける預金の主なるものとしては、各銀行民間預金、金融組合預金、郵便貯金を擧ぐることが出來るが、先づ各銀行民間預金の國人別を見ると左の如くなつて居る。

一、各銀行民間預金國人別調　（大正十四年十二月末）

道名＼種別	預金總額				人口一人當預金			
	內地人	朝鮮人	外國人	計	內地人	朝鮮人	外國人	平均
	円			円	円	円	円	円
京畿道	五五、六二一、七五二	二二、七八六、五二〇	三、九四四、一〇四	七二、三四四、三七六	五三・二七	六・九九二	四二・三三	三七・二四
忠淸北道	八八六、五八	二八二、八八二		一、一七一、八二四	一一〇	〇・三四五	二・六二	一・四二七
忠淸南道	三、五五三、四二一	一、〇〇二、七七六		四、五五三、〇六二	一八一・六一二	〇・八二一	三六・七三	三七・四一
全羅北道	六、八六九、九一二	一、一一二、一九二		八、一一二、一三七	二五一・八七七	〇・八四八	六四・〇一七	六・〇五三
全羅南道	三、九三九、五三〇	一、七七〇、二九二		五、八七七、八三〇	一二四・五六一	〇・八五〇	七二・一四二	五・八七七
慶尙北道	六、三六三、八八〇	一、八六九、五七二		八、四三八、四〇〇	一五二・七一四	〇・八四一	一二二・七三	八・四三八
慶尙南道	一九、八二五、二〇三	二、〇八九、五三七		二二、九一四、七四〇	二五五・六五一	一・二一〇	四一六・六七七	一一・五一二
黃海道	一、六五二、三一五	三三三、七二五		一、九八五、八四〇	一一二・四三三	〇・三九	二六・一六二	一・四四九
平安南道	六、八八六、三一一	一、三三五、八六三		八、二二一、七九四	一九九・四三〇	一・〇九七	八三・四八五	六・八六〇
平安北道	一二、七七二、〇六九	四〇八、九六九		一三、一八〇、七九七	七八・六四二	〇・三〇二	四〇・九七	一・二五三
江原道	八九二、三八	一三三、七三		一、〇四〇、三〇二	一〇三・三七四	〇・一〇二	一四・八三六	〇・七九四
咸鏡南道	三、四四四、五一〇	八三七、一一〇		四、二八一、六二〇	一六九・二五五	〇・六三三	四三・八六二	三一・九六
咸鏡北道	二、九一六、一〇〇	二五〇、七九九		三、一六六、八九九	二三九・二五一	〇・四二七	一一・二三一	五・二五二

合計	一一四、一一八、九四二	二四、二〇二、九三〇	五、八八〇、〇六八	一四四、二〇一、九四〇	二六八・六八〇	一・三〇五	一二三・八九五	七・五八三

即ち各道中人口一人當預金の最も多きは京畿道の三七・二四一円にして、慶尙南道一一・五一二円これに亞ぎ、全道に於ける內鮮外人別の平均額は、內地人二六八・六八〇円、朝鮮人一・三〇五円、外國人一二三・八九五円、平均七・五八三円となつて居る。朝鮮に於ける銀行の營業所は本支店出張所を合し百六十一に達し、一營業所當人口數十一萬八千百九人、面積八十九方里弱であるが、その多くが市街地に分布して居る關係上、京城及び釜山の如き商業の盛んなる地方を含む右の二道が銀行預金の多いのも當然にして、これに反し、江原道を始め、平安北道、忠淸北道、黃海道の如き市街地の少い、銀行の普及せざる地方に銀行預金の少いのは止むを得ないことである。また內地人の多くは市街地に住み、その職業も農業以外のものが多い爲めに、朝鮮人よりは銀行を利用することが多いのであるが、概して兩者の富の程度には懸隔がある。

朝鮮に於ける庶民金融機關として、金融組合は最も特色あるものに屬して居るが、今その預金地方別を見ると左の通りである。

二、金融組合預金地方別調

（大正十四年十二月末）

區分／道名	都市金融組合 組合員	都市金融組合 非組合員	村落金融組合 組合員	村落金融組合 非組合員	合計 組合員	合計 非組合員	合計 計	人口一人當預金
京畿道	四一三、三八三円	一、七〇五、七四二円	三八四、五三六円	二、四五七、三八二円	七九七、九一九円	四、一六三、一二四円	四、九六一、〇四三円	二・五五四円
忠淸北道	六〇、二六二	二〇九、六六四	二四五、九八五	一、〇六〇、六九二	三〇六、二四七	一、二七〇、三五六	一、五七六、六〇三	一・九〇一
忠淸南道	二一九、六二〇	六一三、三九一	四六二、八七七	二、五一五、四〇六	六八二、四九七	三、一二八、七九七	三、八二〇、二九四	三・〇六四
全羅北道	三二九、一五一	一、〇四一、九二九	三六四、三二九	一、五二三、二五四	六九三、四八〇	二、五六五、一八三	三、二五八、六六三	二・四三一
全羅南道	二三二、〇三九	三六五、九九五	六六〇、四八九	二、一五三、四六三	八八二、五二八	二、五一九、四五八	三、四〇一、九八六	一・六〇七
慶尙北道	一五八、二三九	七八一、一八六	五七一、〇九八	二、八二五、五八八	七二九、三三七	三、六〇六、七七四	四、三三六、一一一	一・九一三
慶尙南道	一、二一四、〇五六	一、六〇〇、〇一四	六八一、四三二	二、六四五、九七二	一、八九五、四八八	四、二四五、九八六	六、三四一、四七四	三・一三〇
黃海道	一〇〇、五四二	三六一、一三八	三五四、六八六	一、七八四、〇一〇	四五五、二二八	二、一四五、一四八	二、六〇〇、三七六	一・八三七
平安南道	一〇九、一八二	六六〇、二一八	二九三、三〇八	一、四六六、四七九	四〇二、四九〇	二、一二六、六九七	二、五二九、一八七	二・〇二八
平安北道	一一二、六〇一	四八四、二五六	三五五、四四四	二、一九六、四七三	四六八、〇四五	二、六八〇、七二九	三、一四八、七七四	二・二七六
江原道	四七、三四一	一五一、五七七	二五六、三三五	一、六四八、一五三	三〇三、六七六	一、七九九、七三〇	二、一〇三、四〇六	一・六〇六
咸鏡南道	七〇、五一四	五〇四、九〇一	一五四、四〇七	一、五三四、四一八	二二四、九二一	二、〇三九、三一九	二、二六四、二四〇	一・六八二
咸鏡北道	三三二、二〇六	一、〇五八、三一七	一四九、六五四	一、〇二九、六七七	四八一、八六〇	二、〇八七、九九四	二、五六九、八五四	四・一九七
總計	三、三八九、一三六	九、五三八、三二八	四、九三四、五八〇	二四、八四〇、九六七	八、三二三、七一六	三四、三七九、二九五	四二、七〇三、〇一一	二・二四六

大正十四年十二月末現在の金融組合數は五百十七（村落金融組合四百五十八、都市金融組合五十九）金融組合聯合會十三にして、金融組合一箇所當人口數三萬六千七百八十一人、面積二十七方里餘であ

るが、右の表に據ると、各道中金融組合の人口一人當預金額は、咸鏡北道の四圓・一九七が最も多く、慶尙南道の三圓・一三〇、及び忠淸南道の三圓・〇六四これに亞いで居る。人口一人當金融組合預金の最も少い地方は江原道、全羅南道、咸鏡南道等である。人口分布の粗密及び金融組合普及の如何にも依るが金融組合利用の程度はこれに依りて知ることが出來やう。

銀行預金や金融組合預金の消長を見ると、これを利用する程度は判るけれども、未だ各人の貧富の程度を測定することは困難である。これに反して郵便貯金の方は、市街地に偏在する銀行、及び會員組織の金融組合などに比し、その分布が比較的普偏的であると、且つはその預金の性質上、一人當預金額を比較すると、その利用の程度と共に、一面また庶民階級の資力の程度をも略ぼ知ることが出來ると思ふ。

三、郵便貯金預入人員金額調（大正十四年度末）

種別 / 道名	内地人 人員	内地人 金額	内地人 一人平均金額	朝鮮人 人員	朝鮮人 金額	朝鮮人 一人平均金額
		圓	圓		圓	圓
京畿道	一一二、一一五	三、七四、九九九	三三・六七〇	二一六、八四三	五三一、〇七五	二・四四九
忠淸北道	八三〇五	二七八、〇〇四	三三・四七四	四七、六四〇	八四、二三四	一・七六八
忠淸南道	二〇、一二一	六〇九、〇一五	三〇・二六六	六一、八八一	二三、一四二	二・一三五
全羅北道	一九、四八〇	六五九、七六一	三三・八六九	七二、九九〇	一九〇、八五七	二・六一五
全羅南道	四三、〇二四	一、四七一、三五八	三四・一九九	一三一、五一五	二九七、九一九	二・二六五
慶尙北道	三四、〇二八	一、一七六、〇二一	三四・五六〇	一〇九、七六七	二六六、〇六四	二・四二四
慶尙南道	七一、九七二	二、五五三、一七二	三五・四七五	一〇六、五一四	三八〇、六八五	三・五七四
黃海道	一五、二八七	六七六、〇八〇	四四・二二六	六八、七七七	一三七、三〇八	一・九九六
平安南道	三三、九二四	一、一六六、二九一	三四・三八〇	八三、八五五	二三五、〇九八	二・八〇三
平安北道	一九、五九五	九八〇、八二九	五〇・〇五五	一二〇、六七五	二五〇、八七〇	二・〇七九
江原道	一一、七四九	四七九、九九三	四〇・八五四	六七、二〇八	一四〇、一七二	二・〇八六
咸鏡南道	二八、〇三八	一、〇四七、九二二	三七・三七五	八九、二二七	一八〇、六五九	二・〇二五
咸鏡北道	四三、六八一	一、三五六、七一九	三一・〇六〇	四三、〇四六	一六五、〇八〇	三・八三五
總計	四六一、三一〇	一六、二三〇、一二五	三五・一八二	一、二一九、九四八	二、九九一、一三三	二・四五三

即ち大正十四年度の全道一人平均郵便貯金額は內地人三五・一八二圓、朝鮮人二・四五三圓にして、內地人は平安北道の五〇・〇五五圓第一位を占め、黃海道の四四・二二六これに亞ぎ、朝鮮人は咸鏡北道の三・八三五を筆頭とし、慶尙南道の三・五七四これに亞いで居る。貯蓄思想發達の如何にも依るが、內地人と朝鮮人との貯蓄力則ち貧富の程度に相當の開きあることは、右の郵便貯金額を通じて看取するに難くあるまい。

これを要するに、各種貯金の狀態から觀察すると、朝鮮人多數の富の程度は大體に於て甚だ低く、下層階級に屬する者の數の極めて多く、その貧民の生活に至りては實に悲慘なるものあり、一般の家計が概して餘裕なく彈力性に乏しいことを窺ひ得るであらう。「恒產無き者に恒心無し」、社會の健全なる發達を冀はゞ、先づ民力の涵養を計ることが急務である。

貧困者の數

朝鮮に於ける貧富の程度を測定すべき二三の資料に就いては概略の說明を試みたが、現在生活上窮迫を告げて居る所謂貧困者の數が幾千に達し、その分布が如何になつて居るかを觀察して見やう。古來、朝鮮に於ける貧困者の生活程度は極めて低く、農民に在りても窮農若くは火田民の如きは、端境季節に入ると、粗惡なる穀食すら爲し得ずして、野生の木の實、草の根などを食し、甚だしきは或る地方に於て土を喰ふ者さへある。されば乞食の數の多いことも驚くべきもので、殊に京城の如き大都市の目貫の場所に、みすぼらしき乞食の蝟集せる樣は、市街の各所及び近傍に散在せる土幕生活者の多いことゝ共に、人生の悲哀であり且つ文明の汚辱である。最近の調査に據ると、朝鮮全土に於ける細民は四十萬八千四百二十二世帶、人口百八十六萬八、窮民は七萬三千五百十五世帶、人口二十九萬五千六百二十人に達し、總戶數に對する細民及び窮民の割合は、世帶數に於て一三%、人口數に於て一一%を占めて居る。尙ほこの外に一萬六十六人の乞食が居るのであるから、朝鮮に於ける防貧救貧施設は、社會政策上重要なる問題である。

細民窮民及乞食調（道別）（昭和元年末調）

種別 / 道名	細民 世帶數	細民 人口 男	細民 人口 女	細民 人口 計	窮民 世帶數	窮民 人口 男	窮民 人口 女	窮民 人口 計	合計 世帶數	合計 人口 男	合計 人口 女	合計 人口 計	總戶數に對する率 世帶數 %	總戶數に對する率 人口 %	乞食數
京畿道	四三、二四九	一〇三、一〇八	九四、七三六	一九六、八四四	六、六六三	一四、七二七	一三、四七三	二八、二〇〇	四九、九一二	一一六、八三五	一〇八、二〇九	二二五、〇四四	二二・八	一・一	八五四
忠淸北道	二〇、四七四	四八、一七七	四四、六七六	九二、八五三	三、二八〇	六、三九〇	六、〇四七	一二、四三七	二三、七五四	五四、五六七	五〇、七二三	一〇五、二九〇	一四・八	一二・四	二八九
忠淸南道	四〇、三四二	九五、五二〇	八六、七九六	一八二、三一六	八、四三六	一九、一一七	一八、一〇四	三七、二三三	四八、七七八	一一四、六八七	一〇四、九〇〇	二一九、五八七	二〇・三	一七・一	六一五
全羅北道	三七、六七四	八六、一〇五	七七、七五八	一六三、八六三	八、四一三	一七、四五三	一六、四八六	三三、九三八	四六、〇八七	一〇三、五五七	九四、二四四	一九七、〇一一	一七・〇	一四・四	一、〇二六
全羅南道	四四、五〇九	一〇三、〇九六	九六、六五三	一九九、七四九	九、一〇四	一八、一四〇	一七、五〇四	三五、五五三	一一二、一三六	一二四、一三七	一〇五、一六五	二二六、五九〇	一一・六	九・三	一、四七一
慶尙北道	四一、一二八	九二、五五五	八六、四六九	一七九、〇二四	九、九五九	一八、八六〇	一八、六九六	三七、七八四	一〇二、一六四	一〇五、一六五	一〇四、八二九	二〇七、一七七	一〇・一	八・三	二、二九三
慶尙南道	三六、六五五	八七、六七三	八〇、〇〇三	一六七、六七四	七、七一六	一三、四三三	一三、七五四	二七、一七七	四四、三五一	九五、〇九五	九三、七五六	一八八、八五一	一一・一	九・三	一、七四三
黃海道	三三、八二八	七九、七五九	七五、九〇	一五五、七四九	四、二五四	九、〇三四	八、五八四	三八、〇八二	八八、七八三	一七三、三五七	一三三、二	一一・九	五〇〇		
平安南道	二一、九〇一	四九、九五六	四七、〇一二	九六、九六八	二、九四五	五、八一五	五、二三一	二一、〇四六	二四、八四六	五五、七七一	五二、二四三	一〇八、〇一四	一〇・六	八・七	三四一
平安北道	二八、七〇九	七三、六五九	六七、一〇〇	一四〇、七五九	二、九〇〇	六、二二三	五、四九六	一三、一二九	三一、二九九	七九、八七一	七二、五九六	一五二、四六七	一三・一	一〇・八	七一
江原道	三四、四五三	八六、一六七	七八、〇一三	一六四、一八〇	六、三五五	一四、六一二	一三、四五八	四三、八四八	一〇〇、七七九	九一、四七一	九二、二五〇	一九三、〇二九	一六・五	一四・四	七四三
咸鏡南道	二〇、八二八	五三、〇〇七	五〇、八二九	一〇三、八四六	三、二一一	六、九二五	六、三七七	一三、二一二	二四、〇三九	五九、九四二	五七、二六	一一七、一五八	一〇・〇	八・三	八〇

咸鏡北道	四、六九二	一一、七八	一〇、九三七	三三、一二五	五四九	八一三	八九一	一、七〇三	五、二四一
總計	四〇八、四三一	九六二、〇一九	八九六、九八一	一、八六〇、〇〇〇	七三、五一五	一五一、五一九	一四四、一〇一	二九五、六二〇	四八一、九三七

備考　本調査は凡そ左記標準に基き且つ廣く居住の狀態、世帶の構成、職業の種類等より生活の實狀を觀察して之を計上した。

一、細民とは生活上窮迫を告ぐるの狀態に在るも必ずしも他人の救護を受くるの程度に至らず辛うじて生計を營み得るものを謂ふ。

一、窮民とは生活上窮迫を告げ緊急何等かの救濟を要するの狀態にある者を謂ふ。

一、乞食とは諸處を浮浪徘徊して自己及其の家族の爲め未知の人に對し貧困を訴へて常業的に救助を乞ふものを謂ふ。

即ち各道に就いて總人口に對する細民及び窮民の割合を見ると、忠淸南道の一七・一が第一位を占め、これに亞ぐは全羅北道と江原道の一四・四であり、その最も少きは咸鏡北道の三・八及び咸鏡南道の八・二である。また乞食の數は慶尙北道の二千二百九十二人が最も多く、これに亞ぐは慶尙南道の一千七百四十三人であるが、江原道を除けば概して經濟狀態の發達した南鮮地方に貧困者が多く、その進歩の遲れて居る北鮮地方には貧困者の少いことを示し、前者に貧富の懸隔が漸く著しく、後者に未だその傾向の濃厚に現はれざることを物語つて居る。

貧困者を細民、窮民、乞食に分類すると右の通りであるが、朝鮮にはこの細民及び窮民に屬する火田民と稱する特殊の生活を爲す者がある。火田民は山野の樹木を燒き拂ひ、その跡地を極めて亂雜に耕鋤し、これに粟・麥・大豆・小豆・黍・玉蜀黍・稗・馬鈴薯・麻等を栽培し、その收穫及び狩獵、炭燒等に依り、辛うじて生活を爲しつゝある貧困者にして、彼等は多く半島西北部の高山地帶に分布し、水草を追ふて放浪したる遊牧時代の原始人さながらの生活を爲して居る。火田民中には火田のみを耕作する者と、熟田と火田とを併耕する者との二種あり、概して前者は中部以北の高山地帶に於ける火田民に多く、後者は南鮮地方の山地住民及び山麓生活者に多いのであるが、試みに火田面積及び耕作戶口を見ると左の如くなつて居る。

火田面積及耕作戶口數調

（大正十三年九月末現在）

道名＼種別	面積	戶數	人口
京畿道	二、六八六町〇〇	三、七二七戶	一六四五〇人
忠淸北道	二、〇七五・二八	三、八三六	一六、〇〇九
忠淸南道	五二・〇〇	三四二	一、三五八
全羅北道	一、二八九・五一	六二〇七	二七、五七八
全羅南道	二、五四四・三二	五、八九九	二六、四二七
慶尙北道	一、四七〇・〇〇	三、六六九	一五、七〇九
慶尙南道	二八〇・〇〇	一、〇六九	四、八四二

黄海道	一四、〇八五・二五	五七、六三七	一二、九五九
平安南道	四一、二〇七・〇〇	一一、六二八	二、一七七
平安北道	二二、六六五・〇〇	二七八、二六六	五五、九五五
江原道	五六、四五一・〇〇	二〇五、〇三七	四三、八九四
咸鏡南道	八五、一九七・〇〇	二四八、七三二	四五、〇八四
咸鏡北道	五、八六四・〇〇	三八、五九三	六、三六五
計	三四、七〇四・三七	一、〇四八、二六五	二〇、一八三
營林廠	七六、二五七・七八	二〇、七六一	二〇、四〇二
合計	四〇〇、九六二・一五	一、一五九、〇二六	一三〇、五八五

これに據ると、火田耕作者の最も多きは、平安北道の二十七萬八千二百六十六人にして、咸鏡南道の二十四萬八千七百三十一人、江原道の二十萬五千三十七人、平安南道の十一萬一千六百二十八人、黄海道の五萬七千六百三十七人等これに亞ぎ、尚ほ此の外、營林署管内に十一萬七百六十一人の火田民が居る。火田耕作は林野を荒廢し、洪水の原因を爲す等非常に弊害あり、當局は百方その整理を計つて居るが、しかも火田民は却つて年と共に增加の傾向を示して居る。これは詮ずる所、平地帶で窮屈な生活を爲すよりも、山地帶に入つて火田耕作を爲す方が、生存上容易であると云ふ結果に外ならぬのであるから、火田取締に就いては、その點に留意せねばならぬ。

朝鮮に於ける貧困者の生活狀態の悲慘なることは想像の外であるが、極貧に達せざる下層階級民が負債の重荷に苦むことも亦痛ましきものである。彼等の賴みとする金融機關の一たる質屋は、その營業者内地人六三二人、朝鮮人八五六人、合計一、四八八人あり、入質金額内地人三、八〇三、三九〇圓、朝鮮人四、四五九、二七一圓、一件當入質金額内地人五・九九圓、朝鮮人三・〇八圓である。また個人金貸業は大正十四年九月末現在にて、内地人一、一五〇人、朝鮮人二、〇五九、外國人一一人、計三、二二〇人あり、その一箇年間の貸出高三一、五六一、四八六圓に達して居るが、その金利平均は月利にして左の如くなつて居る。

個人金貸業金利平均調（月利）（大正十四年中）

種別	最高	最低	普通
	分厘	分厘	分厘
内地人間	三・八	一・八	二・六
朝鮮人間	四・四	二・一	三・一
外國人間	三・五	二・〇	二・七
内地人對朝鮮人間	四・三	二・三	三・一
朝鮮人對外國人間	四・四	二・六	三・二
市場貸	七・九	四・二	六・四

右は表面に現はれたる報告であるが、實際に於ては更にこれ以上に高率の金利を以て、苛酷なる條件の下に貸借が行はれて居り、この外に農家が來る秋の收穫まで地主より借入るゝ米籾の如きは、一石に對して五斗の現物を利息として納める方法あり、朝鮮の下層階級民の多數は、高利の鐵鎖に縛られて煩え苦んで居るのである。

消費の大勢

また國民の貧富の程度を、消費の狀態より觀測する方法もあるが、生活の向上は必ずしも富の增加とは云へないから、斯かる觀測は多少不完全たるを免れない。然しながら併合當時の明治四十三年と大正十四年とを比較すると、朝鮮に於ける主要品一人當の消費額は富の增加に伴ひて左の如く增進して居る。これに據ると餘り著大ではないが、朝鮮の國民生活は向上しつゝあることを窺ふことが出來る。それでも諸產業の勃興、敎育の普及、各種文化施設の進步などに比すると、食糧品や衣料品の消費力には未だ物足らぬものがある。尤も明治四十三年に比しその後米の消費量が減少して居るのは、農家が米を賣つて必要なる粟、雜穀、麥粉、その他の食糧品や、嗜好品、衣料品等を購ふに至つた爲めで、朝鮮人の生活程度が年と共に改善されて居るのは云ふまでもない。

主要品一人當消費額對照表

品目		明治四十三年 數量	明治四十三年 指數	大正十四年 數量	大正十四年 指數
食糧品	米	△ 七・〇三 斗	一〇〇	四・九四 斗	七〇
	小麥	〇・八七	一〇〇	一・〇九	一二五
	粟	△ 二・三八	一〇〇	三・五三	一四八
	大豆	△ 一・四七	一〇〇	一・四三	九七
	麥粉	二・五 錢	一〇〇	六三・九 錢	二五五六
	水產物	〇・九九六 円	一〇〇	二・三七〇 円	三九八
	獸肉	〇・三一二	一〇〇	〇・九一〇	二九二
嗜好品	鹽	七・一 斤	一〇〇	×	×
	煙草	〇・四六 円	一〇〇	二四・五 斤	三四五
	酒	⊕		一・六五 円	三九九
	砂糖	〇・〇九	一〇〇	二・九八	三三一
衣料品	綿布	〇・八五 斤	一〇〇	三・一二 斤	三六七
	苧麻布	〇・六九九 円	一〇〇	三・二九 円	四四八
	絹布	〇・〇六八	一〇〇	〇・七五六	一一一三
必需品	石油	〇・〇八二 瓦	一〇〇	〇・六〇八 瓦	七四一
	燐寸	〇・五四一	一〇〇	〇・六一一	一一三
		〇・〇三〇 円	一〇〇	〇・一〇四 円	三四七

原料品	紙	〇・〇四三	一〇〇	〇・四六〇	一、〇七〇
	窯業製品	〇・〇六八	一〇〇	〇・七六八	一、一二九
	石炭	一七・一四斤	一〇〇	九五・六四斤	五五八
	綿花△	〇・四一九	一〇〇	一・八二〇	四三四
	金肥⊗	一・二九二貫	一〇〇	一二・一二三貫	九三八
	牛皮	〇・〇一四斤	一〇〇	〇・〇三八斤	二七一

備考　一、△印は明治四十四年、煙草及鹽の×印は大正十三年、煙草の⊕印は大正三年、金肥の⊗は大正四年を示す。
　　　二、右の指數を見るには明治四十三年と大正十四年の物價に著しき變動のあるを忘る可らず。

また文明の利器たる電話、及び生活上必要なる電燈の需要狀況を通じても、內鮮外人の貧富の程度を略ぼ測定することが出來やう。電燈や電話は主として市街地に架設され居るものにして、內地人及び外國人は多く市街地に分布して居り、その職業の性質上これを利用することも朝鮮人に比して多いことは云ふ迄もないが、これに依りて三者の貧富の程度を窺ふの一資料と爲し得ることは勿論である。

電話加入者數及通話度數地方別　（大正十四年度）

種別／道名	電話加入者數 內地人	朝鮮人	外國人	合計	通話度數	人口一千に付 加入者數	通話度數	面積一方里に付 加入者數	通話度數
京畿道	六、九三五	一、三九三	二六八	八、五九六	四一、九六二、七五七	四・四四六	二五、七五〇	一〇・三四七	五〇、五〇九
忠清北道	三〇五	二六	八	三三九	一、二五八、四八〇	〇・四〇九	一、五〇六	〇・七〇五	二、六一六
忠清南道	九一七	一一七	三一	一、〇六五	四、〇五一、八五六	〇・八五六	三、二五八	一・〇二六	七、七〇九
全羅北道	一、四九三	二二六	三八	一、七五七	六、七七七、六八四	一・三一一	五、〇五六	三・一七七	一二、二五四
全羅南道	一、三四三	二四三	一六	一、六〇二	五、八三四、三四五	〇・七五七	二、七五七	一・七七九	六、四八〇
慶尙北道	一、七八一	二九四	二八	二、一〇三	一〇、三六五、四〇二	〇・九二八	四、五七三	一・七〇八	八、四一九
慶尙南道	三、五六三	二九五	二九	三、八八七	一七、六五〇、七五二	一・九八一	八、九九七	四・八七二	二二、一二四
黃海道	五一四	二三二	一八	七六四	三、六一七、二八二	〇・五四〇	二、五五五	〇・七〇四	三、三三五
平安南道	一、三九七	三五四	二九	一、七八〇	八、二三一、六三四	一・四二八	六、六〇二	一・八三九	八、五〇六
平安北道	八四一	一六九	三二	一、〇四二	四、五〇九、五九〇	〇・七五三	三、二五九	〇・五六五	二、四四五
江原道	三〇六	九三	一三	四一二	一、二九四、二七四	〇・三一五	九八八	〇・二四二	七六〇
咸鏡南道	一、〇六一	二八九	三七	一、三八八	五、三九二、五四六	一・〇三一	四、〇〇五	〇・六六九	二、六〇一
咸鏡北道	一、三四〇	一五九	三一	一、五三〇	六、六六三、七一三	二・四九九	一〇、八八三	一・一六一	五、〇五一
總計	二一、七九七	三、八九〇	五七八	二六、二六五	一一七、六一〇、三一五	一・三八一	六、一八五	一・八三五	八、二一八

電燈需要戶數及供給區域內戶數對照　（大正十四年四月一日）

供給區域	電燈需要戶數 內地人	朝鮮人	外國人	供給區域內戶數 內地人	朝鮮人	外國人	經營者
京城府、高陽郡、崇仁面外五面、始興郡北面外一面、金浦郡柏東面、富川郡桂南面	一九、二四七戶	二九、六二〇戶	六二四戶	二〇、三五四戶	七〇、五七二戶	一、〇一〇戶	京城電氣株式會社京城支店

仁川府多朱面	二、七六三	二、八八二	二五二	二、七八二	七、〇二五	三四〇	京城電氣株式會社仁川支店
水原郡水原面外三面	四九八	五四〇	一五	五三〇	二、六九三	一九	水原電氣株式會社
開城郡松都面	三七五	二、一六二	三八	三九〇	八、七〇〇	四〇	開城電氣株式會社
大田郡大田面外三面	一、三五五	二三四	二一	一、六七七	三、六九五	五三	大田電氣株式會社
燕岐郡鳥致院面 清州郡清州面外一面	九二五	一九八	二八	一、〇二四	二、二四三	五五	同　鳥致院支店
論山郡江景面外三面	五二六	三八四	五四	五七六	五、一四九	八七	江景電氣株式會社
公州郡公州面	四五七	二六一	一五	五四六	一、五六三	三八	公州電氣株式會社
天安郡天安面	一九四	一〇八	一八	二二五	五二六	二七	天安電燈株式會社
群山府、沃溝郡米面外一面	一、九七三	七七七	七三	一、九八〇	七、五四二	一三八	群山電氣株式會社
全州郡全州面外四面、益山郡益山面外一面、金堤郡金堤面	二、一〇〇	一、三六九	一〇一	二、三六九	一六、四八九	一三二	全北電氣株式會社
井邑郡井邑面外一面	二六七	二七九	一六	二九〇	二、一一五	二七	井邑電氣株式會社
光州郡光州面外四面	一、一五六	七八六	四九	一、二一四	五、三六六	五三	大興電氣株式會社光州支店
木浦府、務安郡二老面	一、五四六	一、〇七六	六一	一、八九〇	三、九八四	六六	木浦電燈株式會社
麗水郡麗水面	三八四	二四七	九	四六七	二、二七五	一一	麗水電氣株式會社
大邱府、達城郡達西面外一面	四、一一四	二、一〇一	五三	五、二三四	一〇・三五五	一四三	大興電氣株式會社大邱支店
金泉郡金泉面	四九八	三八八	一四	五〇〇	二、〇八二	一三	同　金泉支店
迎日郡浦項面	四九一	二二〇	四	六二五	一、七〇六	二九	同　浦項支店
尙州郡尙州面	二六八	二四三	一三	二八〇	四、四三五	一八	同　尙州支店

慶州郡慶州面	一五〇	三四三	九	一五二	三、〇四六	九	慶州電氣株式會社
馬山府、昌原郡昌原面外一面、咸安郡山仁面	一、一四五	一、四五七	二七	一、二〇九	七、三四七	二九	京城電氣株式會社馬山支店
昌原郡鎭海面	九五〇	三八六	二	一、二一七	一、一八二	二	同　鎭海支店
釜山府、東萊郡東萊面外四面	九、〇九〇	五、三三八	六七	九、一〇九	一四、三九一	九一	朝鮮瓦斯電氣株式會社釜山支店
晋州郡晋州面外一面	六七九	一、一八二	九	六九〇	三、二二四	一四	晋州電氣株式會社
統營郡統營面	五四五	二〇七	六	六三五	三、一五四	一〇	統營電氣株式會社
蔚山郡東面	四〇〇	八八	一	五六一	一、七五三	一	蔚山電氣株式會社
密陽郡密陽面	三三五	四二六	一四	三七三	二、一八四	一四	密陽電氣株式會社
黃州郡兼二浦面	二五九	二六三	一八	三一八	一、六六六	八二	兼二浦面
海州郡海州面外一面	五〇六	八五八	二〇	五八八	四、七二三	四八	海州電氣株式會社
鳳山郡沙里院面	三〇七	三七一	二六	三七一	二、二四〇	六〇	沙里院面
鎭南浦府、龍岡郡大代面	一、一二一	一、一四三	七九	一、一三一	五、六〇四	六六	鎭南浦電氣株式會社
平壤府、大同郡大同面外三面	三、八四二	四、四九四	二六	三、九一二	一七、三二七	三五一	平壤電氣株式會社
安州郡安州面新安州面	一七六	三四〇	一一	一八二	四、四二五	一六	安州電氣株式會社
新義州府義州郡義州面外三面	一、八六六	一、〇五〇	二四〇	一、九一五	四、九九五	一、一二三	新義州電氣株式會社
義州郡古林面外三面 龍川郡龍川面外七面	一三	一一〇	三	一三	一、五二九	一三	滿鮮殖産電氣株式會社
江界郡江界面	一四八	二二四	八	二四四	二、二〇七	八六	江界電氣株式會社
通川郡通川面外二面、金化郡金化面外二面、鐵原郡鐵原面外三面、平康郡平康面外一面、楊州郡柴芚面外一面	五七九	一、四六四	四一	六三六	一二、八九七	七四	金剛山電氣鐵道株式會社

春川郡春川面	三六七	二六三	七	四七七	一、一六三
元山府 德原郡縣面外三面	一、九八六	一、九二一	一七四	二、〇五八	一〇、六一九
咸興郡咸興面外三面	一、一二六	一、六五五	五一	一、二五五	四四一二
甲山郡惠山鎭	二〇八	一九七	一八	二〇八	九〇五
清津府、鏡城郡羅南面外二面	三、一〇一	一、一〇一	一五〇	三、四七五	五、四一三
會寧郡會寧面	七〇六	五〇三	四二	八六一	二、一三六
城津郡城津面	三七一	四四五	三五	三七八	一、二七〇
慶興郡雄基	二五六	三五六	三七	二八〇	九〇二
合計	六九、二六九	七〇、〇四〇	二、七七一	七五、二〇四	二九、三三七

一三	春川電氣株式會社	一、一六三	四七七	七	
一九五	元山水力電氣株式會社	一〇、六一九	二、〇五八	一七四	
五六	大興電氣株式會社咸興支店	四四一二	一、二五五	五一	
六〇	北鮮商事株式會社	九〇五	二〇八	一八	
二五四	朝鮮電氣株式會社	五、四一三	三、四七五	一五〇	
七〇	會寧電氣株式會社	二、一三六	八六一	四二	
三六	城津電氣株式會社	一、二七〇	三七八	三五	
四〇	雄基電氣株式會社	九〇二	二八〇	三七	
五、三一〇			七五、二〇四	二九、三三七	

即ち電話の加入者は全鮮中で、內地人二萬一千七百九十七人、朝鮮人三千八百九十八、外國人五百七十八人であり、電燈の需要戶數は、內地人六萬九千二百六十九戶、朝鮮人七萬四十戶、外國人二千七百七十一戶であるから、その人口に對する割合から云つて朝鮮人の內地人及び外國人に比してこれが利用率の低いことは明かである。

要するに朝鮮に於ける消費狀態は併合以來漸次增進しては居るが、國民一人當の生產額が約五倍、輸移出額が約十三倍に增加せるに對し、その輸移入額が約六倍、市場取引額が約二倍の增加に過ぎざる如きは、明かに國家經濟の發達に伴つて、個人生活の向上が遲れて居る事實を示すものであるまいか。朝鮮の如き地方に於て產業の奬勵すべきことは最も急務であるが、新時代の經濟政策は、如何なる場合に於ても、國民の生活を基調として進むべく、二千萬人近くの異民族を抱擁する朝鮮統治に於ては、特にその必要を認めるのである。

經濟爭議

朝鮮に於ける貧富の懸隔と下層階級の生活難の概況は前に說明したが、これ等の結果と時代思潮の影響を受けて、朝鮮の經濟爭議も漸次增加の傾向を現はして居る。即ち勞働爭議は大正元年より同六年末迄に總計三十六件、一箇年平均六件に過ぎざりしものが、大正七年以降俄然擡頭し、大正八年及び同九年には一躍八十件臺に上つたのである。大正十年に於ては財界の不況に陷り、一方事業主の溫情的施設を講じたる爲め大にその數を減じ、爾來著しき增加を見ず、爭議の內容も概ね消極的になりて、賃銀の値下反對等多く、その結果は罷業者の要求撤回に終りたるものが多いが、將來工業の勃興し、勞働者の需要增加するに伴ひ、勞働運動は思想界の動搖と相俟つて次第に進展し來るべく、殊に內地資本の投下が益々增加し、內地人、朝鮮人、支那人勞働者が相競爭するに至らば、勞資間若くは勞働者相互の間に於て、利害の衝突の外に民族的反感が加はつて相紛爭するやうな危險があるから、豫めその對策を講じて置く必要がある。朝鮮に於ける小作爭議もまた勞働爭議と同じく最近に至りて

頻發し、大正十一年迄は毎年全鮮を通じ三十八件に過ぎざりしものが、歐洲大戰以來內地に於ける小作爭議に刺戟されて、各地に小作團體の簇生を見、次第に地主對小作關係を惡化し、大正十二年には爭議件數百七十六件、その參加人員九千六十八を算し、爾來朝鮮の小作爭議は、產業的にも思想的にも頗る重要性を帶びて來たのである。殊に朝鮮に於ける現在の小作慣習は、地主に對し極めて有利にして小作人に對し甚だしく不利なるものあり、小作生產の約五割以上は地主の收得する所となり、その上小作地の地稅公課、その他のものを小作人の負擔する地方多く、且つ小作年限にも何等の保障なく、小作地は地主又はその土地管理人により自由に處分せられ、小作權なるものは事實上殆んど存在せざる狀態に在るを以て、小作人の不安窮乏は想像の外にあり、從つて小作爭議は現狀の儘に放任するに於ては將來益々增加し行き、その內容も漸次深刻となり惡化するは避くべからざる勢ひである。茲に於てか當局は見る所あり、小作制度改善の目的を以て、既に「臨時小作調查委員會」を設けて調查審議を行つて居る。今試みに最近數年間に於ける同盟罷業及び小作爭議の統計を示せば即ち左の通りである。朝鮮に於てはこの外に、階級思想の產物たる衡平運動が近年に至り擡頭して來たが、その性質は恰も內地の水平運動に類したものである。また各種學校に於けるストライキの多きことは他に類例なき奇現象にして、斯かる事件の頻發するは洵に憂慮すべきことである。

同盟罷業件數及參加人員累年比較

區分	大正十年		大正十一年		大正十二年		大正十三年		大正十四年	
道名	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員
京畿道	二	七二四	二五	五五四	四二	二〇七三	二二	一、九二四	二三	二、一四五
忠淸北道	—	—	—	—	—	—	—	—	一	三五
忠淸南道	二	一五九	二	四六	—	—	二	三九	—	—
全羅北道	一	五〇	一	二〇五	五	三八三	六	二、九八〇	三	九七
全羅南道	一	二三〇	—	—	一	一六〇	一	一二五	六	五二九
慶尙北道	四	二六一	三	一〇六	一	二五	四	三八九	一	四六五
慶尙南道	七	一、〇六九	六	四二二	三	一、九六〇	三	三〇二	三	三三四
黃海道	一	五五	二	九一	一	二一〇	—	—	一	七八
平安南道	二	一〇二	一	四〇	六	六八〇	一	一五〇	六	一〇四九
平安北道	二	三一〇	—	—	一	六九	一	四六	四	三六九
江原道	—	—	二	九六	四	六〇	二	一四〇	四	三一四
咸鏡南道	一	一〇〇	三	一二三	五	三六一	二	五八〇	二	二〇五
咸鏡北道	四	二三三	一	一八	三	一五〇	二	八六	二	八〇
總計	三六	三、四〇三	四六	一、七八九	七二	六、〇四一	四五	六、七五一	五五	五、七〇〇

小作爭議件數及參加人員累年比較

區分	大正九年		大正十年		大正十一年		大正十二年		大正十三年		同十四年	
道名	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員	件數	人員
京畿道	一	二三	二	五六	二	五	三	三三一	一	一五一	二	二七
忠淸北道	—	—	一	一四	二	一四五	一〇	一四二	二	九八	三	二七
忠淸南道	一	四〇	二	八四	四	一四三	二	七八	八	二二六	七	九一
全羅北道	二	二九一	七	八〇一	二	五三	六	二九三	一	四〇	三	七八
全羅南道	五	一、一七五	四	一二五	一	二	一四	一、六二〇	五九	二、九九〇	二三七	四九二一
慶尙北道	四	二、三五三	七	一、六四一	三	一三四	三	七一	八	五二一	三二	五二
慶尙南道	—	—	三	二四七	四	一六八	一〇三	三、一〇四	六三	五三六	一	二五〇
黃海道	一	一七二	—	—	三	三八〇	七	六五四	一八	二、二四一	四	五六六
平安南道	一	八五	—	—	一	三二	三	二七八	二	一七四	—	—
平安北道	—	—	—	—	—	—	四	一〇	—	—	二	五九九
江原道	—	—	一	九	—	—	二	一九九	二	六二	二	一四六
咸鏡南道	—	—	—	—	—	一六九	—	—	—	—	一	三六六
咸鏡北道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	一五	四、一四〇	二七	二、九六七	二四	二、五二九	一七六	九、〇六〇	一六四	六、九二九	二九四	七、〇九三

第二節　貧富に支配さるゝ犯罪

犯罪は社會環境に支配さるゝこと多きものであるが、さればと云つて如何なる犯罪が貧富の影響を受け、また如何なる犯罪が文化の影響を受けるかを、判然と區別して說明する如きことは不可能である。私は環境の支配を受けること最も大なる次の十種の犯罪を分ち試みに、貧富の影響を受くること大なるものに、文書僞造、詐欺、殺人、傷害、猥褻姦淫及重婚罪を擧げて見た。勿論これ等の犯罪の消長は、いづれも貧富と文化の影響の外にあらゆる社會的原因により左右せらるゝのみならず、また生物學的原因に基くことも大であるから、一方的原因のみを見て他の影響を顧みざる如きは妥當なる觀察でない。

朝鮮に於ける犯罪中最も件數の多いものは竊盜罪であるが、これは朝鮮の經濟力が貧弱にして、生活に窮迫せる貧困者の多い證據である。一般的に云へば富の程度も貯蓄力も漸次增加しては居るが、この數年來貧富の懸隔が漸く著しくなり、また物價騰貴その他の影響を受けて、下層階級の生活難は次第に濃厚になつて來たので、自然竊盜件數の增加を來したものと思はれる。即ち大正十年には竊盜罪總件數二萬七千二百六件であつたものが、その後年々增加して、大正十四年には四萬八千四百七十

一件といふ驚くべき激増を示して居る。強盗罪は、貧困に基く犯罪なるも、文化の程度低き時代には往々慘忍なる犯罪の發生を見ることがある。最近に至り、警備機關の整頓と文化の普及に伴ひて、この種の犯罪は漸次減少し、大正十年には二千百八十三件となり、殊に不逞團の侵入を受くる平安北道を除けば、各道共その件數は多くないのである。横領罪は、窃盗罪に相伴つて増加する性質のもので、大正十年には六千九百九十七件であつたけれども、その後年々増加して、大正十四年には一萬二千四百六十一件といふ驚くべき激増を見るに至つたのである。恐喝罪は詐偽罪や横領罪などと共に消長を同うすべき性質のものであるが、朝鮮に於てはこの數年間著しき變化なく、大正十年の九百四十二件に對し、大正十四年には九百五十六件を示して居るに過ぎない。賭博罪は極貧者よりも、寧ろ貧困の程度低きものか稍資産あるもの〻間に於て比較的多く行はれるもので、大正十年には六千三百三十七件であつたものが、その後次第に増加して、大正十四年には約二倍の一萬二千七百五十三件に達して居る。

今試みに朝鮮に於ける主要犯罪中、その貧富に左右さるゝこと比較的大なりと認めらるゝ數種の犯罪に就き、最近五箇年間の道別發生件數を示し、以て社會環境としての貧富が、犯罪の消長に及ぼす影響の重大なる關係を明瞭にして見やうと思ふ。

竊盗罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	六、七六〇	七、二九三	七、七九六	一一、一〇四	一三、〇五五
忠清北道	七七二	八四七	九五四	一、〇四八	一、一〇一
忠清南道	一、四二七	一、五三六	一、七七一	二、一三三	二、五五五
全羅北道	二、五一七	二、六四二	三、〇六〇	三、九八一	四、八二九
全羅南道	二、八八六	三、〇四九	三、〇五八	三、六二五	三、六八五
慶尚北道	二、九六七	三、三八〇	四、〇六一	四、二九七	四、九八八
慶尚南道	三、四二六	三、六八九	三、九八九	四、四四九	四、四一三
黄海道	一、二八五	一、四九四	一、六三九	二、二一二	二、四八二
平安南道	二、一二六	二、六三九	三、〇六三	五、一七三	四、七八六
平安北道	九一九	一、一二五	一、三〇八	二、〇二五	二、一九九
江原道	七四五	八七〇	一、〇七七	一、七七八	一、五三二
咸鏡南道	一、一六八	一、〇三六	一、三五九	一、五八五	二、〇〇〇
咸鏡北道	四〇八	五五四	五〇八	四七五	八四六
總計	二七、二〇六	三〇、一五四	三三、六三四	四四、七七五	四八、四七一

強盗罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿	二三四	一四三	一二四	一五七	一四八
忠清北道	七六	三七	三六	四五	四四
忠清南道	二一〇	三五	三九	一五	二三
全羅北道	三三八	三九	三五	六	六
全羅南道	二五三	二〇二	一五九	一二七	一二六
慶尚北道	一四三	一二六	一五九	六六	九
慶尚南道	二〇四	九五	七四	九	八
黄海道	四〇〇	二五六	二五五	一四六	一四四
平安北道	三三〇	四五五	三六	一〇〇六	七九
平安南道	二七〇	四七〇	三五三	二二五	一四八
江原道	四八二	三五五	三五六	一五六	一四五
咸鏡北道	七四	六〇	五七	六七	六九
咸鏡南道	七〇	九〇	一一五	一三六	一三三
總計	一六〇五	一八五一	一九〇九	一三三一	一二八三

横領罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿	七二	一〇四五	一二五五	一四三六	一二二三
忠清北道	二九九	二〇九	三三〇	二五七	二五七
忠清南道	四三三	四八二	四四	五六八	五六六
全羅北道	八六七	七三五	七三	八八	九六六
全羅南道	八九六	八七五	九八七	九五五	一〇一九
慶尚北道	九七七	一一〇二	一一〇〇	一二七八	一三八
慶尚南道	三八〇	三三二	一〇六六	一二七六	一三三一
黄海道	二九六	三五二	三四四	四〇〇	七〇〇
平安北道	四三〇	四七〇	三五三	五〇〇	七〇〇
平安南道	二七〇	四四六	三六	一〇〇九	一四七
江原道	四八二	三五五	三五六	四九八	五六六
咸鏡北道	七四	六〇	五七	六七	六九
咸鏡南道	七〇	九〇	一一五	一三六	一三三
總計	一六〇五	一八五一	一九〇九	一三三一	一二八三

年次＼道名	總計	咸鏡北道	咸鏡南道	江原道	平安北道	平安南道	黃海道	慶尙北道	慶尙南道	全羅北道	全羅南道	忠淸北道	忠淸南道	京畿道
恐喝														
大正十年	八四六	二六	三五	二五	二一四	四五	八三	八六	二七	二五	一四	一〇	一〇	一〇
罪														
大正十一年	五三五	三五	四五	二八	一〇四	七五	八四	九六	元五	七五	一六	一四	一〇	一〇
大正十二年	五五七	三五	四五	二三	一〇八	七五	八〇	八六	三五	七五	一六	一四	一〇	一〇
大正十三年	五四五	三五	四五	二三	七四	八〇	八六	三五	三五	七五	一六	一四	一〇	一〇
大正十四年	四四一	二五	四五	二一	一〇二	九六	八四	三五	三五	七五	一六	一四	一〇	一〇

年次＼道名	總計	咸鏡北道	咸鏡南道	江原道	平安北道	平安南道	黃海道	慶尙北道	慶尙南道	全羅北道	全羅南道	忠淸北道	忠淸南道	京畿道
賭博														
大正十年	六三七	二七	三〇	二六	一一〇	九七	二五八	三六	二六	一〇〇	六〇	四三	一〇一	六二
罪														
大正十一年	九三八	二七	四九	二六	一六	二三六	三六一	一七三	一〇四	一三	六一	八五	一〇一	九二
大正十二年	九〇五	二五	四五	二三	一六	一七四	三六〇	二〇九	一三	九二	六一	八五	八七	八〇
大正十三年	八三六	二五	四五	二三	一六	一九〇四	二五〇	二五六	一一七	九二	六一	八五	七七	一一六
大正十四年	九五六	二五	四五	二一	一五	二三五	三一	三一六	一八	六	五一	二七	八五	一五三

貧富に左右さるゝこと大なる犯罪の傾向に就いては前述したが、財界の不景氣は、直接に下層階級の生活を窮迫に陷れ、延いて犯罪の消長にも顯著なる影響を與ふるものである。試みに世界大戰勃發當時の大正四年と、戰亂の影響を蒙りて財界の好況を呈したる後を享けた大正九年、及び戰後の反動によりて不景氣のどん底に陷りたる大正十四年とを比較すると左表の如くなつて居る。

一、景氣不景氣に基く生活難の諸相——行旅病人、行旅死亡者、棄兒數比較——

年次	行旅病人	行旅死亡者	棄兒數
大正四年	六九七	一、七四〇	一〇二
同　九年	五五五	二、一四七	九六
同　十四年	一、四二一	三、四四一	一五五

二、景氣不景氣の犯罪に及ぼす影響——強盜、竊盜、詐欺取財、橫領被害高比較——

年次	件數	金額	一件當金額
大正四年	四一、七四一	一、五六〇、八三八圓	三七・二七
同　九年	四九、三一七	七、八九八、四五八	一六〇・一二
同　十四年	八六、四四八	八、三三二、五九九	九六・八

即ち財界の好況時代には行旅病人や棄兒の數は少いが、不景氣になるとこれが多くなり、また財物犯の被害件數は不景氣時代に著しく增加し、その被害高は却つて減少するといふ頗る微妙なる事實を示して居り、世の中の景氣不景氣は、他の一般犯罪にも亦影響を及ぼすのである。

第二章　文化と犯罪の關係

犯罪の發生が經濟現象に支配さるゝことの大なる所以は既に述べた通りであるが、また犯罪がその社會環境たる文化現象、即ち敎育、宗敎。交通等の力に支配さるゝことの尠からざるは、夙に刑事學者等の唱道して居る所である。人智の低い民族と高い民族、及び敎育の普及したる地方と普及せざる地方、高尙なる趣味を有する者と有せざる者、宗敎の信仰ある者と無き者、交通の發達したる所と發達せざる所、文化の幼稚なる時代と進步したる時代との間には、それぞれ犯罪の種類、方法、件數等に著しき差違がある。犯罪は概して文化の程度低き程多いものであるが、或る種の犯罪は、文化の開發、人智の進步により却つて增加し、また或る種の犯罪は、これと反對の傾向を現はすものである。されば朝鮮に於ける文化と犯罪の關係を考察せんとせば、先づその文化の程度を究める必要がある。

第一節　社會環境ごしての文化

文化と云つても、茲に說くところは、犯罪現象に最も關係ある、敎育、知識、宗敎、交通等の一小

範圍に止まり、廣い意味の文化、即ち文學、美術、工藝、音樂等に關しては、一切論及して居らぬことを斷つて置く。素より文化の內容を簡潔に闡明する如きは、到底私の能くする所でないから、こゝでは統計的にこれが概要を說述するに過ぎないのである。凡そ文化の高低遲速が地理的條件に支配されることは云ふ迄もないけれども、更に一面より見るときは、極めて大雜把な觀察ではあるが、一國一地方の文化の普及は、人口密度の粗密に依り、殊にその市街地の分布及び大小に比例するを通例として居ると思ふ。朝鮮に於ても勿論この原則に支配されて居る所が頗る多いから、文化の地理的考察を爲すに當りては、先づ第一に人口狀態を觀察する必要がある。朝鮮の人口に關する文獻として纏まつたものは、甚だ不完全で恐縮の至りであるが、拙著「朝鮮の人口研究」（大正十四年九月、朝鮮印刷會社發行）、並に拙著「朝鮮の人口現象」及びその附圖（朝鮮總督府調査資料）があるから、それを參照されんことを希望する。

學校教育

朝鮮に於ける舊時の教育は、成均館、明倫堂、四學、鄕校、書堂によりて行はれ、學問は經學の研究を主とし、科擧に應じこれに及第して、官吏に登用せられるゝを目的として居たのである。それが日淸戰爭當時、日本の忠言に從ひて庶政の革新を行ふに當り、教育の制度もまた改革さるゝことゝなり、爾來官制の改正、教育制度の確立、法規の發布を見たが、新學制は悉く日本の制度を模倣したもので、當時の朝鮮の國情に適せず、且つこれを運用すべき教師にその人を得ざりし等の爲め、未だ實績を擧ぐるに至らなかつた。明治三十七年八月、日韓協約締結の結果、顧問政治の開始となり、學部も亦日本人の學政參與官を置いて顧問とし、教育行政の樞機に參與せしめ、明治三十九年統監府の設置さるゝや、伊藤統監は韓國の開發に重きを置き、五十萬圓の臨時學事擴張費を支出して、教育機關の設備を完全にし、日本人參畫の下に教育に關する諸法令（普通學校令、高等學校令、師範學校令、外國語學校令等）を制定し、各官公立學校に日本人教員を招聘して學校の首腦と爲す等、實に朝鮮に於ける教育に一新紀元を劃し、明治四十一年には高等女學校を發布して女子教育機關を設けたのは、朝鮮に於ける破天荒の事業であるが、また同年には私立學校令を發布して、當時無數に存在せし私立學校の監督に着手し、翌四十二年には實業教育令を發布し、朝鮮に必要なる實業教育特に農業教育を奬勵したのである。明治四十三年の韓國併合後は、教育制度に根本的改正が行はれ、同四十四年八月朝鮮教育令が發布せられ、その實施によりて教育機關の整頓、內容の充實大に見るべきものあり、爾來益々制度の改正、設備の完成に向つて努力し、大正十一年二月公布されたる現行の朝鮮教育令に於ては、普通教育を、國語を常用せざるもの、及び國語を常用するもの〻二つに分ち、前者は普通學校高等普通學校、女子高等普通學校を含み、後者は小學校、中學校、高等女學校を含み、この外に實業

教育師範教育、專門教育、大學教育、私立各學校等あり、教育機關は先づ完備に近きものとなつたのである。我國が朝鮮の教育に對して執り來つた誠意と努力は、他の諸外國がその植民地や新領土に對して行つたものとは、到底比較し難い程好成績を收めて居る。尙ほこの上も一層教育機關の普及と、その內容充實の餘地はあるけれども、年々教育を受けたる者の增加して居るのは、朝鮮の將來に取りて欣ぶべきことである。今試みに大正十五年五月末現在の朝鮮の學校數地方別分布狀況を示せば左表の如くなつて居る。

學校數地方別（大正十五年五月末）

種別／道道	普通教育 小學校	普通教育 普通學校	中等教育 中學校	中等教育 高等普通學校	中等教育 女學校	中等教育 女子高等普通學校	實業教育 實業學校	實業教育 實業補習學校	專門教育其他 專門學校	專門教育其他 大學豫科	專門教育其他 師範學校	專門教育其他 各種學校
京畿道	四七	一六〇	二	八	三	七	一二	一三	九	一	一	七五
忠淸北道	一四	六四	—	一	一	—	一	—	—	—	一	二
忠淸南道	三三	一〇三	一	一	一	—	二	一	—	—	一	九
全羅北道	三六	一一一	一	二	三	—	四	二	—	—	—	一六
全羅南道	五六	一七〇	一	一	二	—	四	—	—	—	一	一五
慶尙北道	五三	一二二	一	一	一	一	三	一	—	—	—	二一
慶尙南道	七九	一四二	一	二	三	一	六	五	—	—	一	二四
黃海道	二六	一〇五	—	一	二	—	一	五	—	—	一	四一
平安南道	二四	八二	一	二	二	二	三	—	一	—	一	一一三
平安北道	二四	八二	一	二	—	—	四	二	—	—	一	八五
江原道	二一	七三	—	一	—	—	一	—	—	—	一	二八
咸鏡南道	二二	七八	一	一	二	一	四	一	—	—	一	一三八
咸鏡北道	一六	四四	一	一	二	—	三	—	—	—	一	四七
總計	四五一	一、三三六	一一	一四	二二	一三	四八	二九	一〇	一	一四	六一四
生徒數	五七、〇一七	四三九、四〇八	五、〇二二	一一、〇六九	六、五三二	二、六三〇	九、〇八九	一、五五三	一、八七七	一五〇	三八	二、四六四 六三、七三五

右の如く朝鮮に於ける諸學校數は併合後最近數年間の進步としては驚くべきで、殊にその初等教育機關たる普通學校の普及の迅速なることは特筆すべきものである。民度及び財政の關係もありて遽かにその目的は達し難いが、人口に比例して云へば、尙ほ各學校の數は少いやうであり、就中、鮮人の女子教育機關は大に不足して居るから、これを各地に普及することは最も急務である。また男子の實業教育及び女子の技藝教育を盛んならしめることも、朝鮮の實情に照らして頗る緊要なるを認めるけれども、民度に伴はぬ教育の奬勵は却つて種々の弊害を釀すものである。尙ほ朝鮮に於ける教育の現況を知るに便せんが爲め、國語を常用せざる者の教育に就いて各地方を比較して見やう。

國語を常用せざる者の教育（大正十五年五月末）

道名＼種別	普通學校 學校數	普通學校 生徒數 男	普通學校 生徒數 女	高等普通及女子高等普通 學校數	高等普通及女子高等普通 生徒數 男	高等普通及女子高等普通 生徒數 女	各種學校 學校數	各種學校 生徒數 男	各種學校 生徒數 女	書堂 學校數	書堂 生徒數 男	書堂 生徒數 女
京畿道	一六〇	四八、六八四	一三、四九六	一五	五、三七三	一、六九六	六六	六、八一一	二、九六四	一、五七〇	一七、四一一	八四五
忠淸北道	六四	一六、六一二	二、一八七	一	二五九	一	二六	一二六	七九	八三六	六、四九九	六四
忠淸南道	一〇三	二八、七一〇	四、二八九	一	三七六	一	九	四六二	三三〇	一、〇八二	八、三四六	一〇五
全羅北道	一一一	二六、五四〇	三、七五六	二	五三九	一	一六	一、二〇一	四一九	九、二六	七、九五八	八七
全羅南道	一七〇	四〇、二四五	五、〇五八	一	三九七	一	一五	一、二六九	八二九	一、五七四	一四、〇四〇	三七八
慶尙北道	一二一	三五、四七二	七、一六四	二	三九〇	二	二一	一、六七六	四三二	一、〇三二	一〇、二八一	二七九
慶尙南道	一四一	四〇、一三三	七、五一二	三	四三五	九〇	二一	一、九〇五	七三五	七七七	八、三五三	四二
黃海道	一〇五	二五、二四四	五、四四七	一	三六八	一	四一	三、三〇九	八六五	二、〇九〇	二四、七二一	六五〇
平安南道	八二	二三、八八九	四、三七九	四	一、一八六	五九一	一一三	八、七八七	二、六一二	一、六九二	一三、一三一	三〇五
平安北道	八一	二八、二五〇	四、二四七	二	六三二	一	八五	五、八三一	一、四五六	一、八四九	三二、三七二	五八五
江原道	七三	一七、五一九	三、一六九	一	二二五	一	二八	二、二九八	五一四	一、九六一	一九、三二九	七七八
咸鏡南道	七八	二四、八四九	四、七六九	二	四七〇	一〇五	一三八	一一、六七五	一、七二九	一、一八五	一五、五二五	二五五
咸鏡北道	四四	一四、三七八	二、九二二	一	三一三	一	四七	二、三三〇	六二八	二九九	五、五一三	三五七
總計	一、三三六	三七〇、五九五	六八、三九五	二六	一〇、九六三	二、六三〇	六〇三	四七、六七〇	一三、五九二	一六、八七三	二〇三、五八〇	四、七三〇

更に最下級の教育機關たる普通學校、及び書堂の分布を面積竝に人口に就いて見ると、十方里に付き普通學校は、全羅北道の二・〇〇七、忠淸南道の一・九四一、京畿道の一・九二六を多い方とし、咸鏡北道の〇・三三四、咸鏡南道の〇・三七六、江原道の〇・五八五、黃海道の一九・二六六、京畿道の一八・八九八が能く分布せる方で、咸鏡北道の二・二六七咸鏡南道の五・七一五、慶尙北道の八・三八三が分布の粗なる方である。また朝鮮人一萬人に對する校數を見るに、普通學校は京畿通の〇、八七五が第一位を占め、慶尙北道の〇・五四九が最も少く、書堂は江原道の一五・〇八一を筆頭とし、慶尙南道の四・一二七が最下位に在る。今尙ほ不完全なる書堂の多く、普通學校數の分布の未だ充分ならざるは事實なるも、今日これを義務教育制にすべしなどゝ說くは、朝鮮の民度と地方の財政狀態を解せず、現在の普通學校兒童就學率、並に授業料の滯納、缺席數、半途退學者の夥しき狀況等を知らざる者の極端なる暴論である。

普通學校及書堂の分布　（大正十五年五月末）

區分＼道名	十方里に付き 普通學校 學校數	十方里に付き 普通學校 生徒數	十方里に付き 書堂 學校數	十方里に付き 書堂 生徒數	朝鮮人一萬人に付き 普通學校 學校數	朝鮮人一萬人に付き 普通學校 生徒數	朝鮮人一萬人に付き 書堂 學校數	朝鮮人一萬人に付き 書堂 生徒數
京畿道	一・九一七校	七四八人	〇・八七五校	三四〇人	一八・八九八校	一〇〇人		
忠淸北道	一・三三一	三九一	〇・七七九	二三五	一〇・一八二	八〇		

忠淸南道	一・九四一	六二八	二〇五八五	一六一	○・八四二	二七〇	八・八五七	六九
全羅北道	二・〇〇七	五四八	一六・七四二	一四五	○・八四六	二三一	七・〇六一	六一
全羅南道	一・八八八	五〇三	一七・四八一	二〇五	○・八一六	二一八	七・五五八	一一七
慶尙北道	○・九九一	三八七	八・三八二	八六	○・五四九	一九二	四・六四二	四八
慶尙南道	一・八〇五	五九七	九・七三九	一〇五	○・七五四	二五三	四・一二七	四五
黃海道	○・九六八	二八三	一九・二六六	二三四	○・七五一	二一九	一四・九四五	一八一
平安南道	○・八四七	二九一	一七・四八五	二四二	○・六七九	二三四	一四・〇〇四	一九四
平安北道	○・四四五	一七六	一〇・〇二六	一七九	○・六〇五	二〇〇	一三・六三八	二四四
江原道	○・四二九	一二一	一一・五一六	一一八	○・五六一	一九九	一五・〇八一	一五五
咸鏡南道	○・三七六	一四三	五・七一五	七六	○・五八九	二三四	八・九六〇	一一九
咸鏡北道	○・三三四	一三一	二・二六七	四五	○・七五〇	二九五	五・〇九三	一〇〇
總計	○・九三三	三〇七	一二・七八九	一四六	○・七二〇	二三七	九・〇九九	一一二

儒教思想

日韓併合以來敎育制度の確立によりて、朝鮮に於ける各種學校の施設は漸次完備し、殊に初等敎育の普及は、實に急激なる勢ひを以て進展して居る。然しながら數千百年の久しきに亙りて培はれて來た、儒敎敎育の力もまた未だ全く衰滅したりとは稱し難く、地方によりては今尙ほ學校敎育の恩惠に浴せず、書堂の經營を始め、人智の啓發と讀書修養に、儒生の感化敎導を受けて居る所が尠くないのである。惟ふに朝鮮の社會組織は、日韓併合前までは、兩班、中人、常民、賤民の四階級より成つて居て、非常に門閥を尙ぶ風があつた。兩班とは文武の大官または學德の高い學者を出した家柄の正しい一族で、名門及び身分の高い官吏となるべき資格やその特權を有し、中人は或る限定せられた官職にあつたものゝ一族で、門地や敎育が常民よりは稍高いもの、常民は農工商を業とするもの、賤民は常民の班にも入り得ない最下層のもので、白丁、奴婢、倡優、僧侶の類はこれに屬する。尙ほ同一階級のうちでも、職業によつて高下があり、年齡の老若によつてもまた差別があつた。併合後右の如き區別は撤廢されたが、實際に於てはこの階級思想は今も尙ほ殘つて居るのである。日韓併合前の調査に據ると、兩班の最も多い地方は忠淸南道にして、その道內でも、木川郡、公州郡、定山郡、連山郡、洪州郡、大興郡、懷德郡、燕岐郡、稷山郡、牙山郡等はその最も多い地方である。これに亞ぐは忠淸北道で、その中でも多いのは、堤川郡、延豐郡、忠州郡である。この外、咸鏡南道では、咸興郡、洪原郡、定平郡、京畿道では、楊平郡、楊州郡、驪州郡、慶尙北道では、醴泉郡、大邱郡、慶尙南道では、河東郡、晋州郡、全羅北道の興德郡、全羅南道の潭陽郡、黃海道の平山郡、平安南道の平壤郡、平安北道の義州郡、江原道の通川郡、咸鏡北道の鍾城郡等はいづれも兩班の多く住んで居る郡であつた。今日と當時とは多少事情を異にして居るが、それでもこれ等の地方は兩班の數が多いことは事實である。而して

兩班中には、今尙ほ資產勢望隆々たるものあり、政府より優遇を受けて居る者も多いが、中には時勢の變遷に依りて、產を失ひ、または志を得ざる者も尠くない。兩班に次いで社會的地位の高い儒生は儒敎の信者にして經世濟民を任として居る者である。儒生の前身には別に資格と謂ふべきものなく、士農工商を問はず鄕校または成均館に入りて孔孟の學を奉ずるに至れば儒生たるを得るのであるが、多くは兩班または儒生の子孫が儒生となるのである。儒生中才學優秀なる者は山林と稱し、儒生の團體たる儒林より當路に推薦してその登用を促すを例とし、往々儒生より一躍して顯官に陞ることあり、一度拔擢さるゝや社會はこれを最高の兩班として待遇する。これ朝鮮人が爭ふて儒生を志願する所以で、階級制度の嚴重なる時代の唯一の人材登用機關となつて居た。然しながら儒生中には後世自ら政爭の渦中に投ずる如き者を生じ、その多數は全く生業に指を染めず、成均館及び鄕校に附屬せる學田によりて糊口を凌ぎ、徒らに文廟、書院を祭るに過ぎず、無爲に時事を談じて居る者もまた尠くなかつたやうである。

李朝このかた朝鮮に於ける儒敎は形式に陷り、所謂文字の學に墮し、從つて人心の統制力に何程の效果があるかは疑問であるが、嘗て磧學名儒を出した地方の如きは、著名なる祠宇、書院の存在し、今尙ほ先賢の德を追慕し、儒敎を奉ずる者が相當に多いのである。然らば朝鮮內でいづれの地方が最も儒敎が盛んであるかと云へば、先づ指を忠淸南道と慶尙北道に屈すべく、これに亞ぐは全羅南道である。而して儒敎普及の程度を統計的に示すことは困難であるが、私は兩班と儒生の多い地方を以て、比較的儒敎の進んで居るものと見て大なる誤りはないと信ずるものである。韓國併合の行はれた直前の明治四十三年五月十日の調査では、朝鮮人の職業別戶數は、官公吏一萬五千七百五十八戶、兩班五萬四千二百十七戶、儒生一萬九千七十五戶、商業十七萬八千七百八十戶、農業二百四十三萬三千四百五十戶漁業三萬三千六百四十六戶、工業二萬二千九百四十戶、鑛業一千四百二十九戶、日稼六萬九千三百九十戶、其他三萬四千九百五十七戶、無職三萬一千百二十三戶となつて居たが、今試みに各道別の兩班、儒生數と、總戶數を見ると左の如くなつて居る。而してその後に於ては、兩班、儒生の數を知るに足るべき調査は、未だ行はれたことがないのである。

（明治四十三年五月十日）

道名	兩班戶數	儒生戶數	總戶數
漢城府	一、二八九	一八八	五六、〇一〇
京畿道	一、八七九	一、二九七	二四五、〇六三
忠淸北道	五、八二九	一、二五一	一二八、五三六
忠淸南道	二三、四八一	一、八六二	二二八、六一一

全羅北道	二、一一三	二一〇、一四九
全羅南道	一、七三三	三六六、四三二
慶尙北道	一三、一三〇	三四四、六七一
慶尙南道	一、二九一	二九五、六八四
黃海道	七一〇	二一二、六〇〇
平安南道	一七七	一八八、八七七
平安北道	三五八	一八二、二五〇
江原道	一、七九〇	一六一、二五九
咸鏡南道	八六五	一九四、七六八
咸鏡北道	六七一	八〇、七六七
合計	五四、二一七	二、八九四、七七七

儒教の普及に伴ひ各地に於て、先賢の學德を追慕し、且つその德化を報謝する爲めに、享祀を行ふ目的を以て、設立された祠宇、または敎育制度改革以前に於て子弟敎育の機關となつて居た書院の著名なるものがある。書院は現在に於ては祠宇と同じく先賢の享祀を行ふ公認の齋場となつて居るが、全鮮に於ける祠宇または書院の數は、左の四十四箇所を算するのである。

祠院名稱	所在地	
崧陽書院	京畿道開城郡	金浦郡
牛溪書院	同	龍仁郡
深谷書院	同	抱川郡
龍淵書院	同	驪州郡
坡山書院	同	坡州郡
江漢祠	同	安城郡
德峰書院	同	江華郡
忠烈祠	同	始興郡
四忠書院	同	同
鷺江書院	同	廣州郡
顯節祠	同	高陽郡
紀功祠	同	論山郡
遯巖書院	忠淸南道	扶餘郡
魯岡書院	同	忠州郡
彰烈祠	同	淸州郡
忠烈祠	忠淸北道	井邑郡
表忠祠	同	長城郡
武城書院	全羅北道	
筆巖書院	全羅北道	

褒忠祠	全羅北道	光州郡	
西岳書院	慶尙北道	慶州郡	同
玉山書院	同	達城郡	
道東書院	同	榮州郡	
紹修書院	同	善山郡	
金烏書院	同	尙州郡	
興巖書院	同	同	
玉洞書院	同	同	
陶山書院	同	安東郡	
屛山書院	同	咸陽郡	
藍溪書院	慶尙南道	東萊郡	
樂安書院	同	晋州郡	
彰烈祠	同	固城郡	
忠烈祠	同	昌居郡	
褒忠祠	同	海州郡	
清聖廟	黃海道	平山郡	
太師祠	同	延白郡	
文會書院	同		

鳳陽書院	同	殷栗郡	
忠愍祠	平安南道	安州郡	
表節祠	平安北道	定州郡	
彰節書院	江原道	寧越郡	
忠烈書院	同	金化郡	
褒忠祠	同	鐵原郡	
老德書院	咸鏡南道	北靑郡	

社會知識

國語解得者の增加

學校敎育の普及に伴ひて、國語を解する朝鮮人の增加が、內鮮人の意志疏通に稗益する所は頗る大なるものである。從來動もすれば兩者の間に感情の融和を缺きたるの弊は、これに依りて次第に除去されつゝあり、延いて統治の上に齎らす便宜も亦尠くないのである。而して朝鮮人の側より見ると、國語を解せざれば、中等以上の敎育を受くることは極めて困難であり、彼等の最も望むところの官公吏となることも叶はず、銀行會社員や商店員にも不向であり、商工業を營むにも、勞働に從事するにも、極めて不利益なるために、勢ひ國語を習

得する者は增加して行くが、殊に普通學校以上に於ては國語を敎授し、または國語を併用するので、國語の普及力は一層迅速である。即ち大正二年の國語を解する朝鮮人は、男八萬六千七百九十人、女五千四百七十一人であつたが、大正十四年には、男八十二萬三千五百七十人、女十二萬三千五百七十六人に增加して居る。

いづれの國家も新領土や植民地を統治するに當りては、先づ國語の普及に依りて同化の目的を達せんとして居るが、幸ひにして我國は內鮮人共に漢字を使用し、殊にその言語の系統を同うせる爲め、朝鮮人に對する國語敎育は極めて容易に行はれて居る。然しながら內地の新聞雜誌や書籍の朝鮮人に讀まるゝ數は尙ほ甚だ少いから、從つて內地事情を充分に理解させることの出來ない憾みがある。私は大正十三年の春、東京、橫濱、大阪、神戶地方に於ける朝鮮人勞働者の狀態を調査したが、その際當該地方の官憲や職業紹介所當事者より、內地に渡航する朝鮮人の爲め、豫め朝鮮人に於て、國語會話と內地事情の敎育を、施すことの必要なる所以を屢々聽かされた。近時の如く朝鮮人の內地渡航者が增加した以上は、その渡航者の多い南鮮地方に於ては、これに對する施設を考慮し、簡易に國語の會話を敎へ、文字を解する者には日常用語の早わかりの如きものを印刷して與へるとか、または活動寫眞などを利用して內地事情を了解せしめて置くことが肝要であると思ふ。

國語を解する朝鮮人數（大正十四年末現在）

道名	普通會話に差支なき者 男	普通會話に差支なき者 女	普通會話に差支なき者 計	精解し得る者 男	精解し得る者 女	精解し得る者 計	合計 男	合計 女	合計 計	朝鮮人千人に付國語解得者
京畿道	五二、九五二	九、二九七	六二、二四九	五八、五〇八	九、七四四	六八、二五二	一一一、四六〇	一九、〇四一	一三〇、五〇一	七一・四
忠淸北道	一一、五二二	六七六	一二、一九八	二〇、三二二	二、一一一	二二、四三三	三一、八四四	二、七八七	三四、六三一	四二・二
忠淸南道	二〇、三八六	二、〇三〇	二二、四一六	三四、九四五	四、七五五	三九、七〇〇	五五、三三一	六、七八五	六二、一一六	五〇・八
全羅北道	一八、二二四	一、五三八	一九、七五二	三三、二七一	三、五八五	三六、八五六	五一、四八五	五、一二三	五六、六〇八	四三・二
全羅南道	三一、一〇四	二、八一一	三三、九一五	六三、五二〇	九、〇〇二	七二、五二二	九四、六二四	一一、八一三	一〇六、四三七	五一・一
慶尙北道	二二、五三一	一、八七五	二四、四〇六	四九、九九四	六、一五六	五六、一五〇	七二、五二五	八、〇三一	八〇、五五六	三六・二
慶尙南道	二八、一八〇	三、五三二	三一、七一二	六六、二九七	一八、〇八五	八四、三八二	九四、四七七	二一、六一七	一一六、〇九四	六一・七
黃海道	一七、九五二	二、六一四	二〇、五六六	三一、三二三	五、四七一	三六、七九四	四九、二七五	八、〇八五	五七、三六〇	四一・〇
平安南道	二一、六五〇	三、四〇二	二五、〇五二	三七、四九五	七、二八九	四四、七八四	五九、一四五	一〇、六九一	六九、八三六	五七・八
平安北道	二二、一九〇	二、六八一	二四、八七一	三八、八五七	五、二四〇	四四、一九七	六一、〇四七	八、〇二一	六九、〇六八	五〇・九
江原道	一三、七六三	八九三	一四、六五六	二四、八四四	三、三二四	二八、一六八	三八、六〇七	四、二一七	四二、八二四	三二・九
咸鏡南道	二二、九〇〇	三、八〇二	二六、七〇二	四九、三二四	八、一〇五	五七、四二九	七二、二二四	一一、九〇七	八四、一三一	六三・六
咸鏡北道	一一、六七七	一、九四一	一三、六一八	一九、八四九	三、五一七	二三、三六六	三一、五二六	五、四五八	三六、九八四	六三・〇
總計	二九五、〇二一	三七、〇九二	三三二、一一三	五二八、五四九	八六、四八四	六一五、〇三三	八二三、五七〇	一二三、五七六	九四七、一四六	五一・一

即ち國語解得者數の地方別現況を見るに、朝鮮人千人に付國語解得者は、京畿道の七一・四人が最

も多く、江原道の三二・九人が最も少い方である。各道を平均して國語解得者の鮮人數は千人に付僅に五一・一人に過ぎないのであるから、その普及を計ることは極めて肝要なることゝ信ずる。然るに近時往々にして、外國人の書いた植民政策の著書論文を讀み囓りて、その植民政策の眞髓を諒解せざる所の學究者流中、朝鮮に於ける國語普及の努力を非難する聲を洩すものあるは甚だ遺憾の至りである。彼等の多くは日韓併合の眞精神を理解せず、內地と朝鮮の關係を、恰も諸外國のその植民地に於ける地位と同樣なるが如く誤解し、殊に內鮮間の歷史的、地理的、民族的の交涉や、緊密なる經濟關係を度外視せる結果か、若くは徒らに新附の同胞に媚びんとして、斯かる無責任の議論を爲すのであらう。然しながら獨り統治上の便益のみならず、將來朝鮮人にして國語を習得せざれば、如何にして文化的に經濟的に政治的に向上發展することが出來るであらうか。私は國家の爲め國民の爲め、朝鮮に於ける國語普及の徐々に一層徹底せんことを望んで止まないものである。斯くて演說會話は勿論、學校、寺院、敎會から、さては演劇も、活動寫眞も、ラジオも、音樂も、內鮮人が同じ國語で相聽き相興ずる時の來らば、內鮮の融和は斯せずして渾然たるものがあると信ずる。

新聞雜誌の普及

一國一地方に於ける文化の程度は、新聞雜誌の普及狀況によりて略ぼ測定することが出來るが、また新聞雜誌の經營者及び論調等より察して、その購讀者の思想傾向をも窺ひ得るものである。現に朝鮮內に於て新聞紙法に據りて發行する新聞雜誌の數は、これを經營別に見ると、內地人の發行に係るもの、新聞三〇、通信八、雜誌一一、朝鮮人の發行に係るもの、新聞一あり、使用文字別に見ると、國語を用ふるもの、新聞二九、通信八、雜誌一一、諺文を用ふるもの、新聞九、雜誌四、英文を用ふるもの、新聞一となつて居る、尙ほこの外に內地、滿洲支那その他の外國等より來る新聞雜誌と、新聞紙法に據らずして朝鮮內で發行する學術雜誌、會報なども相當に多いがこれ等を除外した、朝鮮內發行の新聞雜誌の購讀者は、新聞紙二十八萬六千七十七人、雜誌十六萬七千八百五十四人、合計四十五萬三千九百三十一人に過ぎず、その普及の未だ甚だしく幼稚なることが認められる。

新聞雜誌購讀者數地方別　（昭和元年末）

道名	讀者數 新聞紙雜誌計	新聞紙雜誌	一新聞紙雜誌に對する人口數 新聞紙雜誌	計
京畿道	一三〇、七三二人	二六、九七人	三六、一五人	一五、四四人
忠淸北道	七、五〇七	一八五、六一	二八八、一六	一一二、八九
忠淸南道	一九、五〇六	一〇四、二三	一七七、九一	六五、七三

全羅北道	一八、一〇六	七、九二五	二六、〇四一	七五・六三	一七、五三	五一・五七
全羅南道	一八、一三一	八、四六〇	二六、五九一	一一九・〇四	二三八・六九	六六・一三
慶尙北道	二八、二八〇	二六、〇八二	五四、三六一	八一・四八	八九・四三	四四・五九
慶尙南道	四五、五七二	二〇、六四九	六六、二二一	四四・三八	九七・九二	二〇・五三
黃海道	一二、八四一	六、〇八八	一八、九二九	一二三・八四	二四〇・一二	七七・二三
平安南道	二二、一二七	八、五九三	二九、七二〇	五八・七八	一四四・五一	四一・七八
平安北道	一四、二六三	八、七八四	二三、〇四七	九九・三五	一六一・三三	六一・四九
江原道	八、二四六	四、三二八	一二、五七四	一六一・五八	三〇七・八四	一〇五・九六
咸鏡南道	一七、七〇〇	五、二四〇	二二、九四〇	七九・八三	二六九・六六	六二・六〇
咸鏡北道	一〇、〇七三	五、六八七	一五、七六〇	六一・一七	一一〇・一二	三九・七四
總計	二八六、〇七七	一六七、八五四	四五三、九二一	六八・二五	一一六・三二	四三・〇一

即ち人口に對し新聞雜誌の購讀者數の最も多きは京畿道にして、慶尙南道これに亞ぎ、その最も普及せざるは忠淸北道、及び江原道である。新聞雜誌の種類より見ても、鮮內在住の內地人と朝鮮人との間には、新聞雜誌の利用程度の甚だしき差違のあることが認められやう。これは勿論內地人に比して朝鮮人の購買力の低いことも一因を爲して居らうが、兩者の敎育知識に著しき懸隔のあることを如實に示して居るものである。されば朝鮮人に對しては、學校敎育の充實以外に、社會知識普及の必要なる所以がわかる次第である。即ち通俗講演や活動寫眞等によりて、內地事情の宣傳、衞生思想の養成、納稅道德の涵養、勤勉精神の鼓吹、農事改良及び副業の奬勵等を行ふことも急務である。

圖書館の分布

社會敎育機關として圖書館の必要なることは云ふ迄もないが、朝鮮に於ける圖書館事業は未だ極めて幼稚にして、これを內地に比すると甚だしき遜色がある。今試みに朝鮮內に於ける圖書館の分布狀況及びその利用程度を示すと即ち左表の如くなつて居る。現在に於ては京城府を有する京畿道に於て稍圖書館らしきものあり、これに亞ぐものは釜山府を有する慶尙南道のみで、その他には未だ圖書館として完備せるものは殆んど算へ難いのである。然しながら近時朝鮮に於ける向學心と知識慾は頗る增進して居るから、この際圖書館の充實普及を計ることは最も急務に屬して居る。

圖書館分布一覽表　（大正十五年三月末）

區分／道別	館數	藏書冊數	開館延日數	閱覽延人員
京畿道	八	一〇、七四一冊	二、四〇〇日	三一、二六七人
忠淸北道	一	二、二九三	二七四	一〇、四一六
忠淸南道	三	一、五三七	八九七	一、一〇二

全羅北道	二	三、八六二	七一二	四、八六一
全羅南道	四	四、五九八	八九九	五、四〇七
慶尙北道	一	五、四二二	二八八	六、三八五
慶尙南道	六	一二、九一五	一、九〇九	四四、九七六
黃海道	一	六一〇	三一三	一、四一二
平安南道	一	一、四〇八	一、五八五	五、二四七
平安北道	五	六九四	三〇〇	二、〇九八
江原道	一	二、二八〇	一七〇	三、九〇一
咸鏡南道	二	六三七	三六五	四九〇
咸鏡北道	一	一三七、三八七	一〇、一一二	三九七、五〇二
合計	三五			

宗教と信仰

朝鮮に於て內鮮外人の信仰する宗教は、神道、佛教、及び基督教と、その他の信仰團體にして、神道、佛教、及び基督教は布教規則に依りて公認されて居る宗教であるが、その他の信仰團體は公認されないものである。「日本人は數人集まれば先づ第一に神社を祭り櫻を植ゑ、西洋人は數人集まれば先づ第一に教會を建て倶樂部を作る」と言つた人があるが、朝鮮各地を旅行する者は必ずこの言の當つて居ることを感ずるであらう。神社を崇敬し櫻を愛好するは、實に日本人の國民性であるが、宗教の信仰に於ても、內地在住者よりは在鮮內地人の方が、遠く故郷を離れて居る關係上熱心なやうに思はれる。朝鮮に於ける各宗教派の布教狀況を見るに、神道に在りては、現に朝鮮に布教者を派出し各地に於て布教に從事して居るものは、天理教、金光教、神理教、大社教、實行教、扶桑教の諸派ありて布教所百五十三箇所、布教者四百十七人、信者八萬三千七百八人ある。佛教には內地派の佛教と朝鮮派の佛教とありて、內地派の佛教は、眞宗四派、古義眞言宗、新義眞言宗二派、淨土宗、曹洞宗、法華宗、日蓮宗、本門法華宗、黃檗宗の諸宗派が朝鮮に於て布教に從事し、傍ら學校、幼稚園、慈惠救濟事業を行ふものもあり、既に信者二十萬六千餘人を有して居る。朝鮮派の佛教は、禪宗に屬する曹溪宗、總南宗、天臺宗、教宗に屬する華嚴宗、慈恩宗、中神宗、始興宗を算へ、信者十九萬八千餘人あるが、僧侶の社會的地位低く、李朝に於ては儒教を奉じて佛教を抑へたる爲め、佛教の勢力は失墜し、寺院は財政難に依り維持に窮して居る始末である。內鮮兩派を通じ佛教の寺院及び寺刹は九百七十二、布教所四百七箇所、布教者五百二十一人、僧尼七千二人、信者四十萬四千三百二人に達して居る。基督教は、明治十六年中朝鮮政府と英國との通商條約に依りて、その禮拜堂を設け宣布するを許されて以來、各國はこれに倣つて布教に從事するに至つたもので、日本メソヂスト教會、日本基督教

會、日本組合基督教會、東洋宣教會、ホーリネス教會、朝鮮耶蘇教長老會、聖公會、救世軍、靈國正教派、天主公教、天主公教朝鮮聖芬道會、南監理教會、美監理教會、第七安息日耶蘇再臨教、東洋宣教會あり、布教所二千八百九十六箇所、布教者二千百二十八、信者三十六萬一千百四十一人に達し、その勢力隆々たるものあり、殊に知識階級の青年男女に多くの信者を有して居る。外國宣教師等は夙に布教の傍ら學校、病院、慈惠事業等に向つて活動し、朝鮮人の教化救濟に竭したる効績は尠少でない。今試みに各宗の道別分布狀況を示せば左の如くなつて居る。

宗教狀況地方別（大正十四年末）

區分	神道			佛教				基督教		
道名	布教所	布教者	信徒	寺院及寺刹	布教所	布教者	信徒	布教所	布教者	信徒
京畿道	四〇	一六九	三三、〇七六	一八七	六〇	一二三	二四、四六六	五四一	五八〇	五八、三五〇
忠清北道	四	六	八四四	三五	一〇	一一	一五一	八、二一八	一一八	八一	一〇、二四二
忠清南道	六	一四	三、一三六	六一	三一	三一	五四二	二三、八二四	一五五	九七	一七、一九四
全羅北道	一〇	一八	三、七四七	八二	二六	三一	二五五	一五、九一八	二四七	八三	二六、二一二
全羅南道	六	一四	三、二五一	九六	四八	三八	九四八	三五、六七〇	二七一	一三一	二〇、一〇六
慶尚北道	一三	三五	四、一七八	一三一	四三	五一	七三七	四〇、〇四一	四五六	一六九	三三、四九九
慶尚南道	三九	八一、三三六		一〇五	八九	一一〇	一、五一〇	二四、五六九	二八七	一〇六	二二、一九〇

282580

黄海道　六　一一　七八三　三八　一七　一七　二六二　一〇、〇三九　四五六　一九一　三二、八七一

平安南道　九　三四　四、〇三八　三六　三一　四七　一五、三九一　四三六　二六〇　五二、二五五

平安北道　六　一二　一二五四　三九　一七　一九　九八　九、四五九　三一四　一五三　四九、三八四

江原道　一　一　一五六　五一　一二　一二　七三三　一〇、四六〇　三六三　一五〇　二三、二一八

咸鏡南道　九　一五　四、三三一　一〇八　一三　二三　四〇四　二三、三八二　一五〇　七〇　八、八三九

咸鏡北道　四　七　一、四九七　二　一九　一三　一　一三、八六四　九〇　五七　六、七八一

總計　一五三　四一二　八三、七〇八　九七二　四〇七　五二一　七、〇〇二　四〇四、三〇二　三、八九六　二、一二〇　三六一、四一一

更に各宗教信徒を內鮮外人別にして見ると左表の通りにして、八口一千人に對する朝鮮人の宗教信者數は僅に三一・二人に過ぎず、內地人の六三七・四人に比し甚だしく少いことが判るであらう。宗教の信者は大體に於て、文化の發達した朝鮮地方に多く、文化の普及充分ならざる西北鮮地方に少いことも、各道別比較によりて明かになつて居る。

各宗教信徒數內鮮外人別（大正十四年末）

道名	神道				佛教				基督教				人口千人に對する各種信徒			
	內地佛教				朝鮮佛教											
	內地人	朝鮮人	外國人		內地人	朝鮮人	內地人	朝鮮人	外國人	內地人	朝鮮人	外國人	內地人	朝鮮人	外國人	
京畿道	二八、八八七	四、一八五	四	四八、四七七	五、四五六	二六七	二、五〇六	五五、六七七	二、一〇六	三一〇、五三二	一	二〇、三二七	七四六・五五	四六・九	一八・三	
忠清北道	七七八	六六	—	三、八四三	五六	一四	四、二七九	一四	一〇、三二七	一	六三八・九	一七・八	一・一			
忠清南道	二、七二一	三七四	—	一〇、九六六	七、三二一	八五	四、六二七	一七、〇九四	一五	七〇六・〇	二四・〇	五・七				

全羅北道	三、四七一	二七六	—	一〇、九二五	七九六	一五	四、一八二	三四	二五、八八三	五	五四二・四	二三・七	二・五
全羅南道	二、七九一	五〇一	—	一三、七〇七	一二八	九三	三、七四三	二九五	一九、八一一	—	五〇二・三	二〇・七	—
慶尚北道	三、七二三	四五五	—	一四、〇二四	五八四	九	二五、四二五	四五五	三三、〇二八	一六	四三七・〇	二六・八	九・六
慶尚南道	二〇、八四四	二、五三二	—	三九、三四〇	七四五	八三	八四、四〇一	七五九	二一、四二九	二	七八六・九	五八・〇	一・二
黄海道	七五六	二七	—	八、〇三七	二六	六	一、九七〇	一二三	三二、七五八	一	六六・四	二四・九	〇・四
平安南道	三、八〇三	三三五	—	一四、三三一	三三五	—	七四五	五七六	五一、六四二	三四	五四一・六	四三・八	八・六
平安北道	一、一五七	六九	—	二、九一〇	二八	—	二、九一〇	一四六	四九、三三五	一三	四八三・三	三八・五	三・六
江原道	一五六	—	—	二七三	一七	二〇	七、五五一	一〇	三三、一九九	九	三四二・七	三三・七	八・八
咸鏡南道	四、〇〇八	三三一	—	七、五二五	七二	一七	一五、七三五	—	八、六八四	—	五七八・一	一八・七	—
咸鏡北道	一、三九七	一〇〇	—	一〇、八三一	二〇一	—	二、八四一	一三五	六、六四六	—	五九〇・三	一六・七	—
總計	七四、五三一	九、一四三	三三一	二九〇、五七八	一五、七四七	二三六	一九七、九五一	五、六九五	三五五、二八三	二六三	—	—	—
人口千人に付信者數	一七五・五	〇・五	〇・七	四四八・二	〇・八	〇・五	一〇・七	一三・二	一九・二	五・五	六三七・四	三一・二	六・二

以上は公認せられたる宗教に就いて述べたのであるが、それ以外にも朝鮮人間には各種の信仰團體あり、天道教はその中に在りて最も勢力を有し、これが歸依者十四五萬に及ぶべく、これに亞いで有力なるものは侍天教にして三四萬人、普天教は約二萬人、青林教は約一萬三四千人の歸依者がある。尙ほこの外に太極教、人道教、太乙教、太倧教、大宗教、檀君教、孔子教、箕子教、大華教、濟愚教

濟世教、吽哆教、覺世教、龍華教、仙道教、白白教、人天教、崇神人組合、崇神教會等があり、いづれも多少の歸依者を有して居る。人智尙ほ未開の朝鮮人間には、迷信の力甚だ強く、所謂淫祠邪宗を信仰する者尠しとせず、愚民を惑はす巫女、その他各種の加持祈禱もまた盛んに行はれて居る、されば教育の普及と相俟つて宗教の感化により、朝鮮人を精神的に善導して行くことは最も大切である。

醫療、救濟

醫療機關

一國一地方に於ける文化の程度を觀察するには種々の方面に眼を注かねばならぬが、醫療及び救濟機關の普及の如きも、一面より見るときは、その國の文化の程度を測定するに足るものである。朝鮮に於ける醫療機關は左表に示すが如く未だ貧弱極まるものにして、市街地を除けば完全なる醫療の方法なく、幼稚なる醫生の治療投藥を受けることすら困難なる狀態に在り、諺に曰ふ「酒屋へ三里、豆腐屋へ一里」ごころのことでなく、十方里に僅に醫師一人、醫生三人の分布に過ぎず、一萬人の人口を約三人の醫師醫生で治療する始末であるから、勢ひ各種の荒唐無稽なる迷信療法が行はれて居る。從つて朝鮮の衞生狀態は頗る不良にして、各地に惡性なる地方病の流行あり、また傳染病の發生に際しては、その蔓延を容易ならしめて居る。

醫療機關（大正十四年末）

區分		內地人	朝鮮人	外國人	合計
官立病院		—	—	—	—
公立病院		—	—	—	—
私立病院		三九	七	二三	三〇
醫師		六九一	六三八	三六	一、三六五
齒科醫師		一六二	四二	三	二〇七
醫生		—	四、九一五	—	四、九一五
獸醫		一一六	一	—	一一七
限地醫業者		六九	一六	五	九〇
產婆		七五一	五四	—	八〇五
限地產婆		四五	一三	—	五七
入齒營業者		一〇七	六七	—	一七四
種痘認許員		一二八	一、五一六	—	一、六四四
看護婦		六〇四	一〇一	二	七二
按摩業		四一九	一四九	—	五六三
鍼術業		二九五	三七四	一	六七〇
灸術業		三一七	一四一	一	四五九

醫療機關分布表（大正十四年末）

道名＼種別	公醫	醫師	醫生	齒科入齒營業者	產婆	看護婦	鍼術灸術按摩營業者	十方里に付 醫師	十方里に付 醫生	人口一萬人に付 醫師	人口一萬人に付 醫生
京畿道	一八	三六三	五一七	六四	二八	二六〇	三〇七	五一四	四・三六九人	六・三三人	一・八六九人	二・六六一人
忠清北道	一三	一六八	四	四	二〇	一六	一四	六二	〇・六四四	二・四九三	〇・三七四	二・〇二六
忠清南道	一八	六〇	二三五	四	一四	四六	二六	六二	一・一四二	四・二八一	〇・四八二	一・八〇九
全羅北道	一九	六九	二四七	八	一一	四七	二〇	七六	一・二四八	四・四六六	〇・五一五	一・八四二
全羅南道	二五	一〇二	三〇八	一九	一三	九四	二三	八七	一・一三三	三・四二一	〇・四八一	一・四五五
慶尙北道	三〇	一一三	四七一	一四	二〇	八六	七二	九七	〇・九一〇	三・八二七	〇・四九四	二・〇七八
慶尙南道	二七	一八三	五八〇	三七	一八	一〇七	八三	四四	二・二九四	七・二七〇	〇・九三一	二・九五六
黃海道	二八	九九	二四四	八	一一	四五	八	五九	〇・九一三	二・二四九	〇・六九九	一・七二四
平安南道	二〇	一三一	三九七	一三	八	五八	六三	九四	一・三六四	四・一〇三	一・〇五九	三・一八四
平安北道	二六	一〇一	四五五	六	一〇	四六	三〇	六九	〇・五四八	二・四六七	〇・七三〇	三・二九九
江原道	二七	六二	二七〇	二	一三	二五	一七	二三	〇・三六四	一・五八六	〇・四七三	二・〇六一
咸鏡南道	二五	八七	七〇九	九	一四	四七	四〇	九六	〇・四二〇	三・四一九	〇・六四六	五・二六六
咸鏡北道	一九	六七	二五六	一〇	一一	五〇	三五	八九	〇・五〇八	一・九四一	一・〇九四	四・一八一
總計	二九五	一、四六八	四、四四七	二〇七	一七四	九三一	七三九	一、七〇四	一・〇二六	三・二八七	〇・七七一	二・五四九

備考　醫學中には公醫、醫師、醫生のみを含む

救濟機關

社會事業たる救濟機關の發達如何は、醫療機關の普及と共に、文化の高低を測定する一標準となるものであるが、朝鮮に於ける救濟機關は、その社會狀態と對照して未だ尙ほ發達の不充分なる感がある。大正十四年末現在の救濟事業數は、出獄人保護二十七、盲啞敎育二、孤兒又は貧兒敎養二十、貧民救助十一、行旅病人救護十五、貧民施療五十五、癩患者救療四、勞働者宿泊五、合計百三十九にして、その經營者は、內地人百一、朝鮮人十四、外國人二十四となつて居るが、その一箇年の經費は僅に九十三萬餘圓に過ぎないのである。さればその數の增加、または設備の充實は極めて大切なることと信ずる。

救濟事業一覽表（大正十四年末現在）

年次別	出獄人保護	盲啞敎育	孤兒又は貧兒敎養	貧民救助	行旅病人救護	貧民施療	癩患者救療	阿片モルヒネ中毒者救療	勞働者宿泊	合計	經營者種別 內地人	朝鮮人	外國人	合計	一箇年經費 歲入	歲出
累年 大正四年末	二〇	一	六	九	一	一八	二	三	一	六一	三四	六	二一	六一	一一八、九八八円	一〇六、七一五円
累年 同五年末	二〇	一	九	一一	一	一九	二	一	一	六五	三三	五	二七	六五	一八二、九四二	一七〇、二一〇
累年 同六年末	二〇	一	九	一〇	三	二〇	三	—	—	六六	三五	五	二六	六六	二四一、六三二	一九九、九六五
累年 同七年末	二〇	一	一三	一三	七	二〇	三	—	—	七七	四三	七	二七	七七	二七七、二八五	二四〇、〇五四
比較 同八年末	二〇	一	一五	一三	六	二〇	三	—	—	七八	四〇	一四	二四	七八	三四六、六六六	三〇八、九六一
比較 同九年末	二一	一	一五	一七	一〇	一九	三	—	二	八八	四八	一二	二五	八五	四九四、一一五	四四三、五一九
比較 同十年末	二四	二	一六	一二	一一	一五	三	—	三	八六	五二	一三	二一	八六	六〇七、四〇五	五五七、九七二
比較 同十一年末	二六	二	二一	一〇	一二	二五	四	—	四	一〇四	六四	一五	二五	一〇四	五七二、〇〇〇	五七〇、二一八
比較 同十二年末	二六	二	二〇	一〇	一三	二五	四	—	五	一〇五	六七	一四	二四	一〇五	六九七、七五九	六九七、七五九
比較 同十三年末	二七	二	二〇	一二	一五	二九	四	—	五	一一四	七五	一五	二四	一一四	八四一、三一三	八四一、三一四
比較 同十四年末	二七	二	二〇	一一	一五	五五	四	—	五	一三九	一〇一	一四	二四	一三九	九三〇、三三七	九三〇、三三七
大正十四年 京畿道	二	一	七	三	二	一〇	—	—	二	二七	二〇	三	四	二七	二一三、九八〇	二一三、九八〇
大正十四年 忠淸北道	一	—	—	—	一	三	—	—	—	五	三	—	二	五	二五、〇五三	二五、〇五三
大正十四年 忠淸南道	二	—	三	二	一	一	—	—	—	九	五	四	—	九	二〇、一九三	二〇、一九三
大正十四年 全羅北道	二	—	三	—	二	三	—	—	—	一〇	九	一	—	一〇	二六、八九九	二六、八九九
大正十四年 全羅南道	三	—	—	二	—	三	二	—	—	一〇	七	二	一	一〇	一二七、三五六	一二七、三五六
大正十四年 慶尙北道	三	—	三	—	一	四	一	—	—	一二	八	一	三	一二	一一三、二七八	一一三、二七八
大正十四年 慶尙南道	三	—	一	三	二	三	一	—	一	一四	一二	—	二	一四	九〇、九二三	九〇、九二三
大正十四年 黃海道	三	—	—	—	—	三	—	—	—	六	四	—	二	六	三一、〇〇六	三一、〇〇六
大正十四年 平安南道	二	一	二	—	二	六	—	—	一	一四	九	一	四	一四	九五、四七二	九五、四七二
大正十四年 平安北道	一	—	—	—	—	六	—	—	一	八	五	一	二	八	八三、一三五	八三、一三五
大正十四年 江原道	二	—	一	一	一	四	—	—	—	九	六	一	二	九	二六、四六七	二六、四七六

咸鏡南道	二	―	―	―	一	五	―	―	―	八	六	―	二	八	六五、八三六	六五、八三六
咸鏡北道	一	―	―	―	二	四	―	―	―	七	七	―	―	七	一〇、七三〇	一〇、七三〇
合計	二七	二	二〇	二一	一五	五五	四	―	五	一三九	一〇一	一四	二四	一三九	九三〇、三三七	九三〇、三三七

娛樂遊興

凡そ如何なる社會に於ても、高尚なる趣味を涵養し娛樂を與ふべき機關に乏しいときは、自然酒色に親み遊興に耽るものを生ずるのは免れ難いことである。而して遊興機關と犯罪とは極めて密接なる關係を有し、遊興の爲めに產を失ひて詐欺、橫領、文書僞造等の罪を犯し、遊興の資を得んが爲めに强竊盜を働き、痴情または酒亂の結果遊興場に於て殺人、傷害の罪を敢てする如きことは枚擧に遑がない。今試みに朝鮮に於ける娛樂、遊興機關分布の狀態を見ると左表の如くなつて居り、大體に於て市街地の多い、經濟狀態の發達して居る地方に、その數が多いのである。米國のニューヨーク、シカゴ、ボストン、フィラデルフィアあたりの大都市に於ては、犯罪の中心になつて居るものは秘密の酒場(バア)であるさうである。わが內地や朝鮮に在りても、市街地の遊廓や魔窟と稱せらるゝ所に於ては、常に各種の犯罪が行はれ易く、往々にして犯人の隱匿場となる傾向がある。殊に朝鮮に於ては多數の酒幕が市街地、部落、市場所在地などに散在し、朝鮮人は概して文化の程度も低く、且つ刺戟性に富む酒類及び食物を用ふる結果、亢奮して喧嘩を爲し、遂ひには傷害沙汰に及ぶ如き例も珍らしくないのである。また遊興機關は時として不穩分子の秘密の集合所となることあり、彼の大正八年の獨立騷擾事件に際して、京城鍾路の料亭明月館が、宣言發表の場所として撰ばれたことは有名な話である。「犯罪の蔭には女あり」といふ諺の如く、藝妓(妓生)、娼妓(カルボウ)、酌婦(酒幕女)、私娼などが、直接間接に犯罪に關係し、或は事件の發生に就いて誘因となる場合も尠くないのである。

娛樂機關分布表（大正十四年末）

區分	寄席			劇場			活動寫眞舘			遊戲場			遊船業		
道名	內地人	朝鮮人	計	內地人	朝鮮人	計	內地人	朝鮮人	計	內地人	朝鮮人	計	內地人	朝鮮人	計
京畿道	三	―	三	八	―	八	八	一	九	四七	△一九	五七	一五	二三	三八
忠清北道	―	―	―	一	―	一	―	―	―	五	―	五	―	―	―
忠清南道	―	―	―	三	一	四	―	―	―	一七	―	一七	三	―	三
全羅北道	―	―	―	四	―	四	一	―	一	一六	六	二二	―	―	―
全羅南道	一	―	一	三	―	三	―	―	―	三二	七	三九	―	―	―
慶尚北道	―	―	―	二	―	二	三	―	三	一二	一	一三	―	―	―
慶尚南道	―	―	―	一〇	―	一〇	四	―	四	七三	五	七八	二	―	二
黃海道	―	―	―	四	―	四	―	―	―	六	七	一三	―	―	―
平安南道	一	―	一	―	―	―	二	一	三	五	四	九	二	二	四

平安北道	—	—	—	二	—	二	一	—	一	二	一九	三〇	—	—	—
江原道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四	—	四	一	三	四
咸鏡南道	—	—	—	四	一	五	—	—	—	二	一	三	—	—	—
咸鏡北道	—	—	—	五	一	六	—	—	—	二二	五	二七	—	—	—
總計	五	—	五	四六	三	四九	一九	二	二一	二五一	六四 △一	三六	三二	二八	六〇

遊興機關分布表（大正十四年末）

區分 道名	料理屋 內地人	料理屋 朝鮮人	料理屋 外國人	料理屋 計	飲食店 內地人	飲食店 朝鮮人	飲食店 外國人	飲食店 計	貸座敷 內地人	貸座敷 朝鮮人	貸座敷 計	藝妓置屋 內地人	藝妓置屋 朝鮮人	藝妓置屋 計
京畿道	一〇八	五七	四六	二一一	五三〇	七、七八〇	一七一	八、四八一	九一	一三五 △一	二二七	九二	二八一	三七三
忠清北道	二八	八	二	三八	二一	二、四九〇	二二	二、五三三	—	—	—	—	—	—
忠清南道	四九	四四	九	一〇二	五〇	三、五八〇	五〇	三、六八〇	一〇	—	一〇	三	—	三
全羅北道	五一	一四	六	七一	八〇	二、九六七	四三	三、〇八〇	二〇	六	二六	四	二	六
全羅南道	八〇	三三	二	一一五	七七	四、三一九	—	四、三九六	九	四	一三	五	二	七
慶尚北道	七一	二九	七	一〇七	一一六	八、〇九八	一八	八、二三二	一二	五	一七	一六	—	一六
慶尚南道	一六五	四五	二一	二三一	二九三	五、七六一	三九	六、〇九三	一二六	一八	一四四	七〇	五	七五
黃海道	三三	一〇一	二三	一五七	三二	七、六四三	六五四	八、三二九	一二	四	一六	五	—	五
平安南道	—	—	—	—	—	—	—	—	二七	五〇	七七	一二	—	一二
平安北道	六六	一五一	一三	二三〇	一二五	四、二三七	八四	四、四四六	—	—	—	—	—	—
江原道	二二	二七	一八	六七	二〇	三、三三二	二五	三、三七八	—	—	—	三	—	三
咸鏡南道	五八	四三	七	一〇八	四八	三、五六四	九六	三、七〇八	一四	七	二一	四	一	五
咸鏡北道	七九	三〇	一	一一〇	一〇一	一、七五四	二五四	二、一〇九	三八	五	四三	六	—	六
總計	八一〇	五八三	一五四	一、五四七	一、四九三	五五、五二五	一、四五六	五八、四六五	三五九	二三四 △一	五九四	二一九	二九一	五一〇

備考　貸座敷中△印は外國人なり

藝妓、娼妓及酌婦分布表（大正十四年末）

區分 道名	藝妓 內地人	藝妓 朝鮮人	娼妓 內地人	娼妓 朝鮮人	娼妓 外國人	酌婦 內地人	酌婦 朝鮮人	合計 內地人	合計 朝鮮人	合計 外國人	合計 計
京畿道	四〇五	二三一	四五三	三五一	三	二七	一一	八八五	五九三	三	一、四八一
忠清北道	四九	一七	—	—	—	三九	一六	八八	三三	—	一二一
忠清南道	七五	三九	三一	六	—	三八	二五	一四四	七〇	—	二一四
全羅北道	六四	六	一一二	四三	—	二五	二四	二〇一	七三	—	二七四
全羅南道	一三〇	五	七三	三六	—	六九	一三四	二七二	一七五	—	四四七
慶尚北道	七一	四一	九三	三四	—	七〇	三九	二三四	一一四	—	三四八
慶尚南道	二五八	九三	六四六	二五八	—	三一	三一	九三五	三八二	—	一、三一七
黃海道	四六	五八	二八	一八	—	二二	二一	九六	一九七	—	二九三

平安南道	七三	二〇九	二三一	一四七	—	一八	三九	三一一	三九五	—	七〇七
平安北道	一二八	七五	—	—	—	一〇五	二五七	二三三	三三一	—	五六五
江原道	四三	三七	—	—	—	四〇	一〇	八三	四七	—	一三〇
咸鏡南道	三九	四	一一九	四〇	—	六三	一三一	二二一	一七五	—	三九六
咸鏡北道	二八	一一	二五八	八四	—	五	九五	一二四	三八一	二一九	七	六〇七
總計	一四〇九	八六	二〇三四	一〇一七		六四一		△二 九六二 △二	四〇八五	二八〇五	一〇	六、九〇〇

備考　朝鮮人酌婦中△印は外國人なり

交通、通信

交通及び通信の發達は、警務機關の活動に便利を來すと共に、一方これを利用する犯罪の增加を來し、また犯人の逃走を容易ならしめ、犯罪を移動的ならしむる傾向あるは止むを得ないことである。今試みに最近に於ける朝鮮の交通の一班を窺ふに足るべき資料として、陸上運搬具、及び道路延長、鐵道線路哩程、通信事業の地方別狀況を示せば左の如くなつて居る。この種交通機關の普及が、略ぼ各地方に於ける人口の分布と、經濟及び文化の發達に伴つて進展して居ることは、その各道別の比較によりて見當がつくことゝ思ふ。

陸上運搬具數（大正十四年末）

種別	内地人	朝鮮人	外國人	合計
人力車 營業用	一、四七一 臺	一、三八四 臺	七 疊	三、八六二 臺
人力車 自家用	一四四	二四〇	二	三八六
人力車 計	一、六一五	二、六二四	九	四、二四八
馬車 營業用	四一	三二	一	七三
馬車 自家用	一	一	一	一
馬車 貸用	六	三二	一	一六
馬車 計	四八	三三	二	八〇
自動車 乘合用	五七一	四一八	二	九九二
自動車 貸貸用	一五一	三三	九	一九四
自動車 自家用	二〇三	七	八四	二九四
自動車 貸物用	九八	六	一	一〇四
自動車 計	一、〇一五	四六四	九五	一、五八四
自轉車	三〇四七七	四八三八四	一、一六六	八〇〇二七
自動自轉車 サイドカー附	七四	二七	六	一〇七
自動自轉車 同附せざるもの	三八	七	三	四八
計	三二	三四	九	一五五

道路延長地方別表

（大正十四年三月末）

道別＼種別	一等道路	二等道路	三等道路	合計
全羅南道	三五元・二粁	四八六・四粁	二〇八・七粁	七六三・三粁
全羅北道	三三元・二	四八〇・九	二〇四・〇	七六二・一
忠清南道	三四〇・八	四九七・〇	二〇二・五	七八九・三
忠清北道	四五七・〇	四九〇・六	一九五・一	七四二・七
京畿道	四九二・三	五六四・五	一八三・七	八四〇・五
京畿道百方里に付延長	四・七粁	五・四粁	二・一粁	一二・四
道路十萬人に付延長	一九・三粁	二二・一粁	七・二粁	四九・六粁

鐵道線路哩程地方別表

（大正十五年末）

道別＼區分	國有鐵道線路	私設鐵道線路	合計
京畿	一七六・三粁	五・五粁	一八二・七粁
忠清南	四九・五	二四・二	七三・七
忠清北	九二・二	六八・〇	一六〇・二
全羅南	六二・一	一五五・五	二一七・六
全羅北	四五・七	一五五・〇	二〇〇・七
總計	三〇一・八	二五七・二	五五九・〇
鏡城	六二・三	一九・一	八一・四
咸鏡北道	一三五・一	一四・六	一四九・七
咸鏡南道	一六四・四	一七・二	一八一・六
江原道	一三五・四	一六・四	一五二・八
平安北道	一三五・四	三二・五	一六八・九
平安南道	一三三・四	二七・五	一六一・九
黃海道	一三五・四	三〇・五	一六六・九
慶尙北道	一三四・六	四〇・六	一七四・二
慶尙南道	一三五・四	三二・五	一六七・九

第二章　文化と犯罪の關係

慶尚北道	八六・〇	一八・二	二〇四・二	一六・六	九・〇
慶尚南道	八三・七	六〇・三	一四四・〇	一八・一	七・三
黄海道	九六・四	四九・七	一四二・一	一三・一	一〇・〇
平安南道	一一二・二	二三・〇	一三五・二	一四・〇	一〇・八
平安北道	一〇三・九	一	一〇三・九	五・六	七・五
江原道	四七・五	三七・〇	八四・五	五・〇	六・一
咸鏡南道	二〇〇・三	三五・三	二三五・六	一〇・〇	一七・五
咸鏡北道	一五五・五	三六・一	一九一・六	一一・八	三一・三
合計	一三四二・三	四八七・三	一、八二九・六	一三・八	九・六

通信事業地方別狀況（大正十四年）

區分／道名	郵便電信電話局所數	通常郵便物		小包郵便物		郵便爲替		郵便貯金		振替貯金		電報		電話	
		引受	配達	引受	配達	振出	拂渡	人員	金額	拂込	振出	發信	着信	加入者數	通話度數
	個所	千個	千個	千個	千個	千円	円	人	千円	千円	千円	千通	千通	人	千回
京畿道	一〇七	六五、〇三七	四九、九四七	九五一	五五六	一七、〇六五	一七、二〇八	三二八、九五八	四、三〇六	一六、九八九	七一、四七〇	一、三三九	一、二七〇	八、五九六	四一、九六二
忠清北道	三一	三、八四四	四、八四七	二四	七五	二、九四三	二、一六八	五五、九四五	三六二	五、六八九	一、八八八	七二	七六	三三九	一、二五八
忠清南道	五九	八、七四八	一一、四四七	六〇	一四〇	四、五六六	四、〇五四	八三、〇〇三	七四一	一一、一七六	三、四七八	一七四	一七四	一、〇六五	四、〇五一
全羅北道	四六	九、七六二	一三、三〇九	五九	一五〇	五、七二三	三、六六一	九二、四七〇	八五〇	八、一五三	二、八五六	二五〇	二四七	一、七五七	六、七七七
全羅南道	六三	一三、一五三	一六、二七四	一〇四	二三七	九、八三三	八、二六三	一七四、五三九	一、七六九	一三、三五四	六、七七四	三九八	三九一	一、六〇二	五、八三四
慶尚北道	六九	一三、一八四	一七、八四六	一三三	二三三	一一、三六〇	一〇、八九八	一四三、七九五	一、四四二	一一、五九一	二、九二三	三六七	三六五	二、一〇三	一〇、三六五
慶尚南道	八八	二〇、四八八	二三、二四三	二一九	三三一	一五、三八二	一四、六二四	一七八、四九六	二、九三三	一三、七七三	六、七二七	八八六	八六五	三、八八七	一七、六五〇
黄海道	五六	七、二四三	一〇、一六七	四三	一四六	五、三八七	四、一五八	八四、〇六四	八一三	八、五七九	二、一七七	一四〇	一四八	七六四	三、六一七
平安南道	五六	一三、二七七	一三、三四〇	二〇〇	一七三	六、五三三	六、二八八	一一七、七七九	一、四〇一	七、〇六六	二、七四四	三一〇	三〇二	一、七八〇	八、三三一
平安北道	五六	九、三五七	一一、四〇二	七八	二三三	九、七六二	七、一九八	一四〇、二七〇	一、三三一	七、〇八九	四、〇八九	二七二	二六六	一、〇四二	四、五〇九
江原道	四八	五、八八一	七、三六四	四一	一四三	四、八六八	五、〇七七	七八、九五七	六二〇	九、五五九	三、八一三	一七三	一七二	四一二	一、二九四
咸鏡南道	四九	九、九二一	一二、二六八	六七	一九二	九、二五三	七、八六二	一一七、二六五	一、二二八	八、二五七	三、八八七	三九五	三九一	一、三八八	五、三九二
咸鏡北道	四四	八、〇八四	九、六五七	六五	一九七	七、二二三	五、九七九	八六、七二七	一、五二一	四、六六一	四九八	四三〇	四〇五	一、五三〇	六、六六三
總計	七七一	一八六、八七六	一九九、一一六	二、〇五〇	二、七九九	一〇九、八九五	九七、三九二	六八一、二六八	一九、三三三	一二六、九四三	一一三、三三〇	五、一一三	五、〇七七	二六、二六五	一一七、六一〇

警務機關

治安の維持と人民の保護に任ずる警務機關の配置如何は、犯罪の防止、檢擧に直接の關係あるを以て、朝鮮に於ける犯罪の考察を爲すに當りては、その警務機關分布の狀態を一瞥して置くことが必要である。警務機關は人口に比例し、または地方の事情に應じて配置さるゝものであるが、由來朝鮮はその地勢が比較的平野に乏しく、到る所に山岳重疊し、一團の茅屋各地に點在して小部落を形成し、隣邑互に十數里を距るものも珍らしくない。從つて交通不通なる地頗る多く、殊に降雪、出水の爲めにその杜絶を來すこと屢々あり、加ふるに西北鮮地方即ち江原、黄海、平安南北、咸鏡南北の諸道は、

高山峻嶺相聳え、冬期酷寒甚だしく、常に大陸的氣候の影響を受け、且つ地味磽确不毛の地多く、民情また素朴剽悍なるものあり、就中、國境地方にては、不穩分子及び不逞輩の侵入する危險がある。されば この間に處する警察官の勞苦は想像以上にして、試みに現在に於ける朝鮮の巡査一人當の負擔面積〇・八三方里、人口一千百六人を、內地に於ける巡査一人當の負擔標準面積〇・四六方里、人口一千百十四人、臺灣の面積〇・二四方里、人口四百四人、關東州の面積〇・〇九方里、人口三百十五人、東京府の面積〇・〇一方里、人口三百九十二人に對比するときは、面積に於て內地の二倍、臺灣の三倍半、關東州の八倍、東京府の八十三倍、人口に於ては內地と略ぼ等しきも、臺灣の三倍弱、關東州の三倍、東京府の三倍弱に當り、朝鮮警察官の負擔の過重なることを示して居る。尙ほ各道別の警務機關配置表、及び警務機關負擔表を示せば次の通りである。

警務機關配置表（大正十四年末）

區分 道名	警察官署數 警察署	警察官派出所	警察官駐在所	警察官出張所	警察職員數 事務官	警察	視警部	警部補	巡査
京畿道	二五	六二	一六六	三	一	一一	六四	九七	二、〇五八
忠淸北道	一〇	一	九五	三	一	一	一九	三五	五三七
忠淸南道	一四	五	一五八	五	一	一	二四	四三	八三六
全羅北道	一四	九	一五四	八	一	四	二四	四五	九三一
全羅南道	二二	七	二二〇	—	一	三	三三	六三	一、二八六
慶尙北道	二三	一一	二四一	一	一	三	三四	六六	一、三九六
慶尙南道	二三	二一	二三七	一三	一	三	三五	六八	一、三九二
黃海道	一八	四	二二四	一	一	二	二九	五三	一、〇七九
平安南道	一六	二一	一三八	三	一	四	三〇	五三	一、一一四
平安北道	二四	八	一九五	八七	一	四	四一	七九	二、七五八
江原道	二二	二	一六七	二	一	二	三三	六〇	九九六
咸鏡南道	二〇	六	一八二	二	一	五	三二	六四	一、四四七
咸鏡北道	一九	五	一三四	二七	一	五	三〇	五五	一、三五八
合計	二五〇	一六二	二、三〇一	一五五	一三	四八	四一八	七八一	一七、一八八

警務機關負擔表（大正十四年末）

區分 道名	一警察署當りの管轄 面積（方里）	人口	巡査一人當りの管轄 面積（方里）	人口
京畿道	三三・二四〇	七七・七〇一	〇・四〇四	九四四
忠淸北道	四八・一〇〇	八二・九二三	〇・八九六	一・五四四
忠淸南道	三七・五七一	八八・八四四	〇・六二九	一・四八八
全羅北道	三九・五〇〇	九五・七五七	〇・五九四	一・四四〇

全羅南道	四〇・九〇九	〇・七〇〇	一・六四六
慶尙北道	五三・五一三	〇・八八一	一・六二四
慶尙南道	三四・六九六	〇・五七三	一・四〇九
黃海道	六〇・二七八	一・〇〇六	一・三二二
平安南道	六〇・五〇〇	〇・八六九	一・一一九
平安北道	七六・八三三	〇・六六九	五〇二
江原道	七七・四〇九	一・七一〇	一・三一五
咸鏡南道	一〇三・六五〇	一・四三三	九三一
咸鏡北道	六九・四二一	〇・九七一	四五一
合計	五七・二四八	〇・八三三	一・一〇六

第二節　文化に支配さるゝ犯罪

朝鮮に於ける文化の程度に就いては略ぼ説明したが、數多き犯罪中、文化に支配さるゝこと最も多き犯罪としては、文書僞造罪、詐欺罪、殺人罪、傷害罪、猥褻姦淫及重婚罪等を數へることが出來ると思ふ。而して文書僞造罪、詐欺罪などは、文化の進歩し、人智の發達するに伴ひ、他の社會環境の變化、主として生活難と相俟ち、漸次その發生件數を增加して行く傾向がある。その犯罪件數としては大なるものでないが、民心に影響することの著しき思想犯の如きは、文化の進歩、世態の變遷に伴ひて漸次增加するものである。人心の殺伐・風儀の頽廢に基因する殺人罪、傷害罪、猥褻姦淫及重婚罪の如きは、社會文化の普及と、個人理性の發達に伴つて、當然減少すべき性質のものである。然しながら文化の犯罪に及ぼす影響は、時に他の社會現象に妨げられて、その傾向を明白に示し得ないやうなこともあり、多くの場合、文化の進歩の爲めに、五年や十年で、犯罪現象に著しく直接影響するやうなことは稀れである。犯罪は主として經濟的原因その他の社會環境の力によりて支配さるゝことが大であるから、文化と犯罪の關係は、例へば內地と朝鮮、若くは內地人と朝鮮人、或は朝鮮內の市街地と村落、山地帶と沿海、または併合前と今日といふやうな、相當の距離を隔てた比較に於て觀察せねば、恐らくその根本原因を明かにすることは困難であらう。

文書僞造罪は、文化の發達と人智の進歩によりて次第に增加するもので、大正十年には一千八百五十件であつたものが、爾來年と共に增加の一方で、大正十四年には二千九百六十二件を算するに至つた。詐欺罪も、また文書僞造罪と同じ理由の下に近年著しく激增を來し、大正十年には一萬一千百十五件であつたものが、漸次累進して、大正十四年には實に二萬一千十三件となり、窃盜罪に亞いで件數の多いものである。殺人罪は、概して文化の程度低き地方、若くは人心の殺伐なる地方に多きを例とする。殊に朝鮮に於ては女子の本夫殺の犯罪が多いが、その原因は、主として幼年の男子が年長の

女子を娶る早婚の慣習に基く弊害と認められる。最近の殺人犯罪件數を見るに、大正十年には四百九十八件であつたものが、其後稍增加して、大正十四年には五百七十四件となつて居る、これを地方的に見ると、大體に於て不逞團の襲來を受くる平安北道に最も多く、遙かに降つて平安南道、黃海道、咸鏡北道といふ順序になつて居り、その最も少きは忠淸南道及び京畿道である。傷害罪は、一面より見るときは、人心の粗暴なる地方に多い性質のものであるが、また市街地の遊興機關の多い所にその發生件數の多きを認め、大正十年には九千百十四件であつたものが、その後漸增して、大正十四年には一萬三千三百二十四件に及んで居る。猥褻姦淫及重婚罪は、比較的經濟狀態の發達した地方に多い犯罪であるが、文化の進步に伴つて漸次その件數を減少しつゝある。尤も最近に於ける趨勢としては大正十年に一千五百三十九件を示して居たものが、同十一年には一千七百七十件、同十二年には一千九百三十七件に漸增したけれども、同十三年には九百十三件に激減し、更に同十四年には九百五十四件となり、一進一退しつゝあるも大體に於て減少の傾向を辿つて居る。

今試みに最近五箇年間に於ける朝鮮の主要犯罪中その文化に左右さるゝこと多き數種の犯罪に就いて年次別及び地方別發生件數を示せば、その消長は即ち左の如くなつて居る。これを見るときは、社會環境としての文化の進步が、犯罪に及ぼす影響の一斑は略ぼ窺ふことが出來やう。

文書僞造罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	一九四	二三六	三〇九	三三〇	四六五
忠淸北道	六二	四三	七二	七〇	五四
忠淸南道	九一	一一三	一三二	一一七	一三九
全羅北道	一六三	一五二	一九〇	二三二	二七五
全羅南道	三三三	一七九	三三二	三二九	三三三
慶尙北道	二二八	二四一	二八三	三〇五	三七三
慶尙南道	二七一	三四一	三三四	二八三	三二六
黃海道	一二三	一一一	一一二	一二七	一〇二
平安南道	五九	一一三	一一一	二六三	一五〇
平安北道	一〇二	一一三	一三二	一五七	一六九
江原道	一一七	一三七	一六九	一七九	二〇九
咸鏡南道	六六	七四	一三九	一四六	一七二
咸鏡北道	五二	七六	七二	六八	九五
總計	一、八五〇	一、九二九	二、二七六	二、〇六六	二、九六二

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	二三六	一六五八	二三三七	二七九	三〇二
忠清北道	三五四	五三四	四三一	五九八	五四四
忠清南道	七九九	八一七	九七〇	一〇〇九	一〇九八
全羅北道	一〇五七	一一三四	一一三九	一四五五	一七六
全羅南道	一五七二	一五九三	一八九	一八七〇	二〇五七
慶尚北道	一五四三	一七七一	二〇八	二三五三	二六〇九
慶尚南道	一九二二	二〇五八	二一四九	二一二五五	二三七五
黄海道	五二四	六九〇	七四	一〇五九	一〇五〇
平安南道	七二九	六三三	一一五二	一三八四	一三六八
平安北道	三四五	五三〇	七八五	七九九	九五五
江原道	五二八	七七五	九五五	一〇六七	一一〇二
咸鏡南道	六一	四〇三	五八四	九二七	九七
咸鏡北道	一四六	三〇七	三一八	四〇二	五六
總計	一一一五	一三八三	一五五一	一七八七	二一〇三

詐欺

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	一一三六	一六五八	二三三七	二七九	三〇二
忠清北道	三五四	五三四	四三一	五九八	五四四
忠清南道	七九九	八一七	九七〇	一〇〇九	一〇九八
全羅北道	一〇五七	一一三四	一一三九	一四五五	一七六
全羅南道	一五七二	一五九三	一八九	一八七〇	二〇五七
慶尚北道	一五四三	一七七一	二〇八	二三五三	二六〇九
慶尚南道	一九二二	二〇五八	二一四九	二一二五五	二三七五
黄海道	五二四	六九〇	七四	一〇五九	一〇五〇
平安南道	七二九	六三三	一一五二	一三八四	一三六八
平安北道	三四五	五三〇	七八五	七九九	九五五
江原道	五二八	七七五	九五五	一〇六七	一一〇二
咸鏡南道	六一	四〇三	五八四	九二七	九七
咸鏡北道	一四六	三〇七	三一八	四〇二	五六
總計	一一一五	一三八三	一五五一	一七八七	二一〇三

欺罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	一一三六	一六五八	二三三七	二七九	三〇二
忠清北道	三五四	五三四	四三一	五九八	五四四
忠清南道	七九九	八一七	九七〇	一〇〇九	一〇九八
全羅北道	一〇五七	一一三四	一一三九	一四五五	一七六
全羅南道	一五七二	一五九三	一八九	一八七〇	二〇五七
慶尚北道	一五四三	一七七一	二〇八	二三五三	二六〇九
慶尚南道	一九二二	二〇五八	二一四九	二一二五五	二三七五
黄海道	五二四	六九〇	七四	一〇五九	一〇五〇
平安南道	七二九	六三三	一一五二	一三八四	一三六八
平安北道	三四五	五三〇	七八五	七九九	九五五
江原道	五二八	七七五	九五五	一〇六七	一一〇二
咸鏡南道	六一	四〇三	五八四	九二七	九七
咸鏡北道	一四六	三〇七	三一八	四〇二	五六
總計	一一一五	一三八三	一五五一	一七八七	二一〇三

殺人罪

道名＼年次	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	四三一六	三八二一	三一三四	三〇二三	二五
忠清北道	四三	四二	四一	四一	四
忠清南道	一一	一一	一一	一一	一
全羅北道	一一	一一	一一	一一	一
全羅南道	一一	一一	一一	一一	一
慶尚北道	一一	一一	一一	一一	一
慶尚南道	一一	一一	一一	一一	一
黄海道	一一	一一	一一	一一	一
平安南道	一一	一一	一一	一一	一
平安北道	一一	一一	一一	一一	一
江原道	一一	一一	一一	一一	一
咸鏡南道	一一	一一	一一	一一	一
咸鏡北道	一一	一一	一一	一一	一
總計	一一五	一三八三	一五五一	一七八七	二一〇三

傷害罪

道＼年次＼名	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	七八九	八六七	八五五	七九〇	七四九
忠清北道	三三一	三三五	二九七	三一六	二九〇
忠清南道	五五九	六九一	六八九	六〇二	六五三
全羅北道	六二四	六八三	九二八	七六八	九九五
全羅南道	一、一二七	一、一八二	一、四五四	一、三五八	一、六六〇
慶尚北道	一、三二八	一、二四〇	一、四九八	一、五八八	一、六六二
慶尚南道	一、四一四	一、六八〇	一、七七〇	一、九〇九	二、二一八
黄海道	七八八	九六八	九二九	九六四	一、〇九三
平安南道	五二三	六四二	八三四	九一四	一、二一五
平安北道	四六九	六六五	五八八	六九九	八〇九
江原道	五〇八	五二〇	六八五	六四五	八二三
咸鏡南道	四八〇	五〇九	五五〇	六五二	七五三
咸鏡北道	二八四	二九二	二八九	二八〇	三四四
總計	九、一一四	一〇、一五四	一一、三一七	一一、四八五	一三、三一四

猥褻、姦淫及重婚の罪

道＼年次＼名	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年
京畿道	一六四	一六八	一五一	七八	七〇
忠清北道	八七	七〇	八九	二三	二八
忠清南道	一〇八	一六〇	一七四	五九	五四
全羅北道	一五〇	一八一	二四一	八八	九八
全羅南道	一二三	一三六	一六五	三九	一四二
慶尚北道	一八八	二〇五	二五五	一〇五	一二七
慶尚南道	二二五	二四六	二四七	一一九	一五一
黄海道	八八	一一三	九八	五四	六五
平安南道	一〇四	一四三	一五五	六九	六四
平安北道	六一	八一	八八	五八	六〇
江原道	一一二	一二四	一三三	四六	三五
咸鏡南道	七七	九六	一一	五三	三八
咸鏡北道	五一	四七	三〇	二三	二一
總計	一、五二九	一、七二〇	一、九二七	九一三	九五四

第三章　犯罪の年次的消長

犯罪が社會環境に支配さるゝ以上、世相の變化に伴つて犯罪の發生件數に消長あるは當然である。韓國併合以來、朝鮮の社會狀態は、產業、敎育、交通等の發達の影響を蒙りて年と共に甚だしき變化を來して居る。殊に最近數年間に於ては、世界大戰後の經濟的波動を受けて物價は騰貴する、慾望は增進する、しかも收入はこれに伴はず、從つて下層階級の生活難は一層加はり、また一方に於ては貧富の懸隔が漸く著しくなりたる等の爲めに、これ等の社會環境の支配を受けて、年々の犯罪發生件數は各地方共にそれぞれ多少の變化を示して居る。今試みに各道の調査に係る、主要犯罪の最近五箇年間に於ける消長を見る爲め、各警察署管內別比較を示せば左の如くなつて居る。

犯罪發生件數五箇年對照表

—各道調査—

京畿道

犯罪種別 / 署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	橫領
大正十年										
昌德宮										

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
本町	二一	三六	六	二	二	二	一八	二八	一九一三	二二七	六
鍾路	七七	五四	一一	二	一	二	一〇八	五五	一六六五	三四三	一四
東大門	九	五一	一五	一	一	一	三九	八	五〇九	六七	三
西大門	九	四三	六	一	一	一	四一	四	二七四	二九	一八
龍山	一	三四	二	二	二	二	五一	一	五一八	七二	三一
仁川	九	一九	三	二	一	二	七〇	六	七〇二	五八	六五
廣州	二	一三	三	一	一	一	五	六	二九	二	一六
楊州	四	三一	九	三	一	三	一二七	一〇	七〇	二九	二四
蓮川	六	五〇	七	一	一	一	一二	二	三一	三〇	二〇
抱川	二	五	一二	一	一	一	一六	七	二六	一四	三
加平	一	四	三	一	一	一	一〇	三	一七	三	五
楊平	二	四	八	一	一	一	一四	五	二四	六	二
驪州	四	七	五	二	一	二	一八	六	五八	八	三
利川	七	一二	一五	一	一	一	一四	一	三五	二九	二六
龍仁	二	四一	一三	二	二	二	八	六	四九	二〇	三
安城	三	二四	四	二	二	二	二二	六	八三	一六	二
平澤	三	一三	八	一	一	一	一三	四	六〇	三一	一
水原	四	三一	一四	二	二	二	四五	一三	二一九	六九	二

大正十一年

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
昌徳宮	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
本町	九六	三一	一三	四	一	三三	一五	一〇四	二〇	一	一七
鍾路	九六	三六	九五	二	一	一九	六	三六	二〇	一	二〇
東大門	五五	一四	六	三	一	二〇	三	三一	一九	一	九
西大門	四四	八	一二	一	一	一	一	一	一	一	一六
龍山	三四	八	一四	三	一	二	一	五二	一三	一	一一
仁川	三八	一一	四〇	一	一	一	一	一	一	一	一
廣州	三八	六	三	一	一	一	一	一	一	一	一
永登浦	四	五	一	一	一	一	一	一〇四	一〇	一	一七
金浦	五	八	六	一	一	一	一	一	一	一	一
江華	五	三六	四	一	一	一	一	一	一	一	一
坡州	五	一四	三	一	一	一	一	一	一	一	一
長湍	二	四〇	四	二	一	一	一	一	一	一	一
開城	六	三六	一八	二	一	一	一	一	一	一	一
計	一九四	六二一	一六四	三一	一一	一一	一五	一〇四	一〇〇	一一	一七

第三章　犯罪の年次的消長

署別	人口	犯罪人員	人口千人ニ対スル犯罪人員	犯罪人員百人ニ対スル人口	犯罪人員百人ニ対スル戸数	犯罪人員百人ニ対スル男子	犯罪人員百人ニ対スル女子	犯罪人員百人ニ対スル内地人	犯罪人員百人ニ対スル朝鮮人	犯罪人員百人ニ対スル其他
楊州	二一、三四	四	一	二、五〇	一、二五	一〇〇	一	一	一	一
漣川	三一、四五	三	一	三、三三	一、六六	一〇〇	一	一	一	一
抱川	一六、一八	五	一	三、二〇	一、六〇	一〇〇	一	一	一	一
加平	二、一三	三	一	一、五〇	一、五〇	一〇〇	一	一	一	一
楊平	一四、一五	四	一	三、七五	一、八七	一〇〇	一	一	一	一
驪州	一四、一五	二	一	一、三三	一、三三	一〇〇	一	一	一	一
利川	一四、一三	一	一	一、〇〇	一、〇〇	一〇〇	一	一	一	一
龍仁	二四、六	三	一	一、二五	一、二五	一〇〇	一	一	一	一
安城	三一、一八	六	一	一、九四	一、九四	一〇〇	一	一	一	一
平澤	一八、四	六	一	三、三三	一、六六	一〇〇	一	一	一	一
水原	八二、一〇	一三	一	一、五四	一、一五	一〇〇	一	一	一	一
永登浦	五、一八	一一	一	二、二〇	二、二〇	一〇〇	一	一	一	一
金浦	二、一六	一一	一	五、五〇	五、五〇	一〇〇	一	一	一	一
江華	六二、二	一四	一	二五、〇〇	二五、〇〇	一〇〇	一	一	一	一
坡州	二八、四	一一	一	三、五〇	三、五〇	一〇〇	一	一	一	一
長湍	五四、五	二	一	二、五〇	二、五〇	一〇〇	一	一	一	一
開城	四九、二〇	一三	一	三、八四	三、八四	一〇〇	一	一	一	一
計	二三六、九三一	一六八	四七	二、一四	一、四二	一〇〇	一	一	一	一

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
昌徳宮		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
本町		一七	一三七	一七	三	九八	一三	二、一一二	五九〇	一三	四三七
鍾路		一七八	一三七	二三	四	九八	一四	一、五三〇	四三三	一三	二七八
東大門		一五	七五	七	四	五五	一二	四八七	一七七	三	九一
西大門		二五	二六	五	一	三六	九	一七二	八七	三	一四
龍山		一九	三七	七	一	一一九	一一	九三三	一九七	二	一〇二
仁川		一二	四	八	二	五五	一六	八九〇	三三四	六	二七二
龍州		一	一七	一	一	七	八	三〇	一六	二	七
廣州		一	一七	一	一	七	八	三〇	一六	二	七
楊州		七	一六	一二	三	三〇	一〇	一一二	六四	一	四四
漣川		一〇	五二	七	三	一四	五	三六	二八	一	一四
抱川		二	六	一〇	一	三三	五	三〇	二一	一	三
加平		一	三	三	二	九	一	二〇	一四	一	二
楊平		五	三九	三	一	一二	六	四〇	一八	一	一二
驪州		六	一	一七	一	三一	八	一七九	一五	二	一四

第三章　犯罪の年次的消長

東京大門四谷・麹町・神田・日本橋・京橋・芝・麻布・赤坂・四谷・牛込・小石川・本郷・下谷・浅草・本所・深川・品川・目黒・世田谷・荏原・大森・蒲田・神奈川

第三章　犯罪の年次的消長

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九　二十　二十一　二十二　二十三　二十四　二十五　二十六　二十七　二十八　二十九　三十　三十一　三十二　三十三　三十四　三十五　三十六　三十七　三十八　三十九　四十　四十一　四十二　四十三　四十四　四十五　四十六　四十七　四十八　四十九　五十　五十一　五十二　五十三　五十四　五十五　五十六　五十七　五十八　五十九　六十　六十一　六十二　六十三　六十四　六十五　六十六　六十七　六十八　六十九　七十　七十一　七十二　七十三　七十四　七十五　七十六　七十七　七十八　七十九　八十　八十一　八十二　八十三　八十四　八十五　八十六　八十七　八十八　八十九　九十　九十一　九十二　九十三　九十四　九十五　九十六　九十七　九十八　九十九　百　百一　百二　百三　百四　百五　百六　百七　百八　百九　百十　百十一　百十二　百十三　百十四　百十五　百十六　百十七　百十八　百十九　百二十　百二十一　百二十二　百二十三　百二十四　百二十五　百二十六　百二十七　百二十八　百二十九　百三十　百三十一　百三十二　百三十三　百三十四　百三十五　百三十六　百三十七　百三十八　百三十九　百四十　百四十一　百四十二　百四十三　百四十四　百四十五　百四十六　百四十七　百四十八　百四十九　百五十　百五十一　百五十二　百五十三　百五十四　百五十五　百五十六　百五十七　百五十八　百五十九　百六十　百六十一　百六十二　百六十三　百六十四　百六十五　百六十六　百六十七　百六十八　百六十九　百七十　百七十一　百七十二　百七十三　百七十四　百七十五　百七十六　百七十七　百七十八　百七十九　百八十　百八十一　百八十二　百八十三　百八十四　百八十五　百八十六　百八十七　百八十八　百八十九　百九十　百九十一　百九十二　百九十三　百九十四　百九十五　百九十六　百九十七　百九十八　百九十九　二百　二百一　二百二　二百三　二百四　二百五　二百六　二百七　二百八　二百九　二百十　二百十一　二百十二　二百十三　二百十四　二百十五　二百十六　二百十七　二百十八　二百十九　二百二十　二百二十一　二百二十二　二百二十三　二百二十四　二百二十五　二百二十六　二百二十七　二百二十八　二百二十九　二百三十　二百三十一　二百三十二　二百三十三　二百三十四　二百三十五　二百三十六　二百三十七　二百三十八　二百三十九　二百四十　二百四十一　二百四十二　二百四十三　二百四十四　二百四十五　二百四十六　二百四十七　二百四十八　二百四十九　二百五十　二百五十一　二百五十二　二百五十三　二百五十四　二百五十五　二百五十六　二百五十七　二百五十八　二百五十九　二百六十　二百六十一　二百六十二　二百六十三　二百六十四　二百六十五　二百六十六　二百六十七　二百六十八　二百六十九　二百七十　二百七十一　二百七十二　二百七十三　二百七十四　二百七十五　二百七十六　二百七十七　二百七十八　二百七十九　二百八十　二百八十一　二百八十二　二百八十三　二百八十四　二百八十五　二百八十六　二百八十七　二百八十八　二百八十九　二百九十　二百九十一　二百九十二　二百九十三　二百九十四　二百九十五　二百九十六　二百九十七　二百九十八　二百九十九　三百　三百一　三百二　三百三　三百四　三百五　三百六　三百七　三百八　三百九　三百十　三百十一　三百十二　三百十三　三百十四　三百十五　三百十六　三百十七　三百十八　三百十九　三百二十　三百二十一　三百二十二　三百二十三　三百二十四　三百二十五　三百二十六　三百二十七　三百二十八　三百二十九　三百三十　三百三十一　三百三十二　三百三十三　三百三十四　三百三十五　三百三十六　三百三十七　三百三十八　三百三十九　三百四十　三百四十一　三百四十二　三百四十三　三百四十四　三百四十五　三百四十六　三百四十七　三百四十八　三百四十九　三百五十　三百五十一　三百五十二　三百五十三　三百五十四　三百五十五　三百五十六　三百五十七　三百五十八　三百五十九　三百六十　三百六十一　三百六十二　三百六十三　三百六十四　三百六十五　三百六十六　三百六十七　三百六十八　三百六十九　三百七十　三百七十一　三百七十二　三百七十三　三百七十四　三百七十五　三百七十六　三百七十七　三百七十八　三百七十九　三百八十　三百八十一　三百八十二　三百八十三　三百八十四　三百八十五　三百八十六　三百八十七　三百八十八　三百八十九　三百九十　三百九十一　三百九十二　三百九十三　三百九十四　三百九十五　三百九十六　三百九十七　三百九十八　三百九十九　四百　四百一　四百二　四百三　四百四　四百五　四百六　四百七　四百八　四百九　四百十　四百十一　四百十二　四百十三　四百十四　四百十五　四百十六　四百十七　四百十八　四百十九　四百二十　四百二十一　四百二十二　四百二十三　四百二十四　四百二十五　四百二十六　四百二十七　四百二十八　四百二十九　四百三十　四百三十一　四百三十二　四百三十三　四百三十四　四百三十五　四百三十六　四百三十七　四百三十八　四百三十九　四百四十　四百四十一　四百四十二　四百四十三　四百四十四　四百四十五　四百四十六　四百四十七　四百四十八　四百四十九　四百五十　四百五十一　四百五十二　四百五十三　四百五十四　四百五十五　四百五十六　四百五十七　四百五十八　四百五十九　四百六十　四百六十一　四百六十二　四百六十三　四百六十四　四百六十五　四百六十六　四百六十七　四百六十八　四百六十九　四百七十　四百七十一　四百七十二　四百七十三　四百七十四　四百七十五　四百七十六　四百七十七　四百七十八　四百七十九　四百八十　四百八十一　四百八十二　四百八十三　四百八十四　四百八十五　四百八十六　四百八十七　四百八十八　四百八十九　四百九十　四百九十一　四百九十二　四百九十三　四百九十四　四百九十五　四百九十六　四百九十七　四百九十八　四百九十九　五百　五百一　五百二　五百三　五百四　五百五　五百六　五百七　五百八　五百九　五百十　五百十一　五百十二　五百十三　五百十四　五百十五　五百十六　五百十七　五百十八　五百十九　五百二十　五百二十一　五百二十二　五百二十三　五百二十四　五百二十五　五百二十六　五百二十七　五百二十八　五百二十九　五百三十　五百三十一　五百三十二　五百三十三　五百三十四　五百三十五　五百三十六　五百三十七　五百三十八　五百三十九　五百四十　五百四十一　五百四十二　五百四十三　五百四十四　五百四十五　五百四十六　五百四十七　五百四十八　五百四十九　五百五十　五百五十一　五百五十二　五百五十三　五百五十四　五百五十五　五百五十六　五百五十七　五百五十八　五百五十九　五百六十　五百六十一　五百六十二　五百六十三　五百六十四　五百六十五　五百六十六　五百六十七　五百六十八　五百六十九　五百七十　五百七十一　五百七十二　五百七十三　五百七十四　五百七十五　五百七十六　五百七十七　五百七十八　五百七十九　五百八十　五百八十一　五百八十二　五百八十三　五百八十四　五百八十五　五百八十六　五百八十七　五百八十八　五百八十九　五百九十　五百九十一　五百九十二　五百九十三　五百九十四　五百九十五　五百九十六　五百九十七　五百九十八　五百九十九　六百　六百一　六百二　六百三　六百四　六百五　六百六　六百七　六百八　六百九　六百十　六百十一　六百十二　六百十三　六百十四　六百十五　六百十六　六百十七　六百十八　六百十九　六百二十　六百二十一　六百二十二　六百二十三　六百二十四　六百二十五　六百二十六　六百二十七　六百二十八　六百二十九　六百三十　六百三十一　六百三十二　六百三十三　六百三十四　六百三十五　六百三十六　六百三十七　六百三十八　六百三十九　六百四十　六百四十一　六百四十二　六百四十三　六百四十四　六百四十五　六百四十六　六百四十七　六百四十八　六百四十九　六百五十　六百五十一　六百五十二　六百五十三　六百五十四　六百五十五　六百五十六　六百五十七　六百五十八　六百五十九　六百六十　六百六十一　六百六十二　六百六十三　六百六十四　六百六十五　六百六十六　六百六十七　六百六十八　六百六十九　六百七十　六百七十一　六百七十二　六百七十三　六百七十四　六百七十五　六百七十六　六百七十七　六百七十八　六百七十九　六百八十　六百八十一　六百八十二　六百八十三　六百八十四　六百八十五　六百八十六　六百八十七　六百八十八　六百八十九　六百九十　六百九十一　六百九十二　六百九十三　六百九十四　六百九十五　六百九十六　六百九十七　六百九十八　六百九十九　七百　七百一　七百二　七百三　七百四　七百五　七百六　七百七　七百八　七百九　七百十　七百十一　七百十二　七百十三　七百十四　七百十五　七百十六　七百十七　七百十八　七百十九　七百二十　七百二十一　七百二十二　七百二十三　七百二十四　七百二十五　七百二十六　七百二十七　七百二十八　七百二十九　七百三十　七百三十一　七百三十二　七百三十三　七百三十四　七百三十五　七百三十六　七百三十七　七百三十八　七百三十九　七百四十　七百四十一　七百四十二　七百四十三　七百四十四　七百四十五　七百四十六　七百四十七　七百四十八　七百四十九　七百五十　七百五十一　七百五十二　七百五十三　七百五十四　七百五十五　七百五十六　七百五十七　七百五十八　七百五十九　七百六十　七百六十一　七百六十二　七百六十三　七百六十四　七百六十五　七百六十六　七百六十七　七百六十八　七百六十九　七百七十　七百七十一　七百七十二　七百七十三　七百七十四　七百七十五　七百七十六　七百七十七　七百七十八　七百七十九　七百八十　七百八十一　七百八十二　七百八十三　七百八十四　七百八十五　七百八十六　七百八十七　七百八十八　七百八十九　七百九十　七百九十一　七百九十二　七百九十三　七百九十四　七百九十五　七百九十六　七百九十七　七百九十八　七百九十九　八百　八百一　八百二　八百三　八百四　八百五　八百六　八百七　八百八　八百九　八百十　八百十一　八百十二　八百十三　八百十四　八百十五　八百十六　八百十七　八百十八　八百十九　八百二十　八百二十一　八百二十二　八百二十三　八百二十四　八百二十五　八百二十六　八百二十七　八百二十八　八百二十九　八百三十　八百三十一　八百三十二　八百三十三　八百三十四　八百三十五　八百三十六　八百三十七　八百三十八　八百三十九　八百四十　八百四十一　八百四十二　八百四十三　八百四十四　八百四十五　八百四十六　八百四十七　八百四十八　八百四十九　八百五十　八百五十一　八百五十二　八百五十三　八百五十四　八百五十五　八百五十六　八百五十七　八百五十八　八百五十九　八百六十　八百六十一　八百六十二　八百六十三　八百六十四　八百六十五　八百六十六　八百六十七　八百六十八　八百六十九　八百七十　八百七十一　八百七十二　八百七十三　八百七十四　八百七十五　八百七十六　八百七十七　八百七十八　八百七十九　八百八十　八百八十一　八百八十二　八百八十三　八百八十四　八百八十五　八百八十六　八百八十七　八百八十八　八百八十九　八百九十　八百九十一　八百九十二　八百九十三　八百九十四　八百九十五　八百九十六　八百九十七　八百九十八　八百九十九　九百　九百一　九百二　九百三　九百四　九百五　九百六　九百七　九百八　九百九　九百十　九百十一　九百十二　九百十三　九百十四　九百十五　九百十六　九百十七　九百十八　九百十九　九百二十　九百二十一　九百二十二　九百二十三　九百二十四　九百二十五　九百二十六　九百二十七　九百二十八　九百二十九　九百三十　九百三十一　九百三十二　九百三十三　九百三十四　九百三十五　九百三十六　九百三十七　九百三十八　九百三十九　九百四十　九百四十一　九百四十二　九百四十三　九百四十四　九百四十五　九百四十六　九百四十七　九百四十八　九百四十九　九百五十　九百五十一　九百五十二　九百五十三　九百五十四　九百五十五　九百五十六　九百五十七　九百五十八　九百五十九　九百六十　九百六十一　九百六十二　九百六十三　九百六十四　九百六十五　九百六十六　九百六十七　九百六十八　九百六十九　九百七十　九百七十一　九百七十二　九百七十三　九百七十四　九百七十五　九百七十六　九百七十七　九百七十八　九百七十九　九百八十　九百八十一　九百八十二　九百八十三　九百八十四　九百八十五　九百八十六　九百八十七　九百八十八　九百八十九　九百九十　九百九十一　九百九十二　九百九十三　九百九十四　九百九十五　九百九十六　九百九十七　九百九十八　九百九十九　千　千一　千二　千三　千四　千五　千六　千七　千八　千九　千十　千十一　千十二　千十三　千十四　千十五　千十六　千十七　千十八　千十九　千二十　千二十一　千二十二　千二十三　千二十四　千二十五　千二十六　千二十七　千二十八　千二十九　千三十　千三十一　千三十二　千三十三　千三十四　千三十五　千三十六　千三十七　千三十八　千三十九　千四十　千四十一　千四十二　千四十三　千四十四　千四十五　千四十六　千四十七　千四十八　千四十九　千五十　千五十一　千五十二　千五十三　千五十四　千五十五　千五十六　千五十七　千五十八　千五十九　千六十　千六十一　千六十二　千六十三　千六十四　千六十五　千六十六　千六十七　千六十八　千六十九　千七十　千七十一　千七十二　千七十三　千七十四　千七十五　千七十六　千七十七　千七十八　千七十九　千八十　千八十一　千八十二　千八十三　千八十四　千八十五　千八十六　千八十七　千八十八　千八十九　千九十　千九十一　千九十二　千九十三　千九十四　千九十五　千九十六　千九十七　千九十八　千九十九　二千　二千一　二千二　二千三　二千四　二千五　二千六　二千七　二千八　二千九　二千十　二千十一　二千十二　二千十三　二千十四　二千十五　二千十六　二千十七　二千十八　二千十九　二千二十　二千二十一　二千二十二　二千二十三　二千二十四　二千二十五　二千二十六　二千二十七　二千二十八　二千二十九　二千三十　二千三十一　二千三十二　二千三十三　二千三十四　二千三十五　二千三十六　二千三十七　二千三十八　二千三十九　二千四十　二千四十一　二千四十二　二千四十三　二千四十四　二千四十五　二千四十六　二千四十七　二千四十八　二千四十九　二千五十　二千五十一　二千五十二　二千五十三　二千五十四　二千五十五　二千五十六　二千五十七　二千五十八　二千五十九　二千六十　二千六十一　二千六十二　二千六十三　二千六十四　二千六十五　二千六十六　二千六十七　二千六十八　二千六十九　二千七十　二千七十一　二千七十二　二千七十三　二千七十四　二千七十五　二千七十六　二千七十七　二千七十八　二千七十九　二千八十　二千八十一　二千八十二　二千八十三　二千八十四　二千八十五　二千八十六　二千八十七　二千八十八　二千八十九　二千九十　二千九十一　二千九十二　二千九十三　二千九十四　二千九十五　二千九十六　二千九十七　二千九十八　二千九十九　三千　三千一　三千二　三千三　三千四　三千五　三千六　三千七　三千八　三千九　三千十　三千十一　三千十二　三千十三　三千十四　三千十五　三千十六　三千十七　三千十八　三千十九　三千二十　三千二十一　三千二十二　三千二十三　三千二十四　三千二十五　三千二十六　三千二十七　三千二十八　三千二十九　三千三十　三千三十一　三千三十二　三千三十三　三千三十四　三千三十五　三千三十六　三千三十七　三千三十八　三千三十九　三千四十　三千四十一　三千四十二　三千四十三　三千四十四　三千四十五　三千四十六　三千四十七　三千四十八　三千四十九　三千五十　三千五十一　三千五十二　三千五十三　三千五十四　三千五十五　三千五十六　三千五十七　三千五十八　三千五十九　三千六十　三千六十一　三千六十二　三千六十三　三千六十四　三千六十五　三千六十六　三千六十七　三千六十八　三千六十九　三千七十　三千七十一　三千七十二　三千七十三　三千七十四　三千七十五　三千七十六　三千七十七　三千七十八　三千七十九　三千八十　三千八十一　三千八十二　三千八十三　三千八十四　三千八十五　三千八十六　三千八十七　三千八十八　三千八十九　三千九十　三千九十一　三千九十二　三千九十三　三千九十四　三千九十五　三千九十六　三千九十七　三千九十八　三千九十九　四千　四千一　四千二　四千三　四千四　四千五　四千六　四千七　四千八　四千九　四千十　四千十一　四千十二　四千十三　四千十四　四千十五　四千十六　四千十七　四千十八　四千十九　四千二十　四千二十一　四千二十二　四千二十三　四千二十四　四千二十五　四千二十六　四千二十七　四千二十八　四千二十九　四千三十　四千三十一　四千三十二　四千三十三　四千三十四　四千三十五　四千三十六　四千三十七　四千三十八　四千三十九　四千四十　四千四十一　四千四十二　四千四十三　四千四十四　四千四十五　四千四十六　四千四十七　四千四十八　四千四十九　四千五十　四千五十一　四千五十二　四千五十三　四千五十四　四千五十五　四千五十六　四千五十七　四千五十八　四千五十九　四千六十　四千六十一　四千六十二　四千六十三　四千六十四　四千六十五　四千六十六　四千六十七　四千六十八　四千六十九　四千七十　四千七十一　四千七十二　四千七十三　四千七十四　四千七十五　四千七十六　四千七十七　四千七十八　四千七十九　四千八十　四千八十一　四千八十二　四千八十三　四千八十四　四千八十五　四千八十六　四千八十七　四千八十八　四千八十九　四千九十　四千九十一　四千九十二　四千九十三　四千九十四　四千九十五　四千九十六　四千九十七　四千九十八　四千九十九　五千　五千一　五千二　五千三　五千四　五千五　五千六　五千七　五千八　五千九　五千十　五千十一　五千十二　五千十三　五千十四　五千十五　五千十六　五千十七　五千十八　五千十九　五千二十　五千二十一　五千二十二　五千二十三　五千二十四　五千二十五　五千二十六　五千二十七　五千二十八　五千二十九　五千三十　五千三十一　五千三十二　五千三十三　五千三十四　五千三十五　五千三十六　五千三十七　五千三十八　五千三十九　五千四十　五千四十一　五千四十二　五千四十三　五千四十四　五千四十五　五千四十六　五千四十七　五千四十八　五千四十九　五千五十　五千五十一　五千五十二　五千五十三　五千五十四　五千五十五　五千五十六　五千五十七　五千五十八　五千五十九　五千六十　五千六十一　五千六十二　五千六十三　五千六十四　五千六十五　五千六十六　五千六十七　五千六十八　五千六十九　五千七十　五千七十一　五千七十二　五千七十三　五千七十四　五千七十五　五千七十六　五千七十七　五千七十八　五千七十九　五千八十　五千八十一　五千八十二　五千八十三　五千八十四　五千八十五　五千八十六　五千八十七　五千八十八　五千八十九　五千九十　五千九十一　五千九十二　五千九十三　五千九十四　五千九十五　五千九十六　五千九十七　五千九十八　五千九十九　六千　六千一　六千二　六千三　六千四　六千五　六千六　六千七　六千八　六千九　六千十　六千十一　六千十二　六千十三　六千十四　六千十五　六千十六　六千十七　六千十八　六千十九　六千二十　六千二十一　六千二十二　六千二十三　六千二十四　六千二十五　六千二十六　六千二十七　六千二十八　六千二十九　六千三十　六千三十一　六千三十二　六千三十三　六千三十四　六千三十五　六千三十六　六千三十七　六千三十八　六千三十九　六千四十　六千四十一　六千四十二　六千四十三　六千四十四　六千四十五　六千四十六　六千四十七　六千四十八　六千四十九　六千五十　六千五十一　六千五十二　六千五十三　六千五十四　六千五十五　六千五十六　六千五十七　六千五十八　六千五十九　六千六十　六千六十一　六千六十二　六千六十三　六千六十四　六千六十五　六千六十六　六千六十七　六千六十八　六千六十九　六千七十　六千七十一　六千七十二　六千七十三　六千七十四　六千七十五　六千七十六　六千七十七　六千七十八　六千七十九　六千八十　六千八十一　六千八十二　六千八十三　六千八十四　六千八十五　六千八十六　六千八十七　六千八十八　六千八十九　六千九十　六千九十一　六千九十二　六千九十三　六千九十四　六千九十五　六千九十六　六千九十七　六千九十八　六千九十九　七千　七千一　七千二　七千三　七千四　七千五　七千六　七千七　七千八　七千九　七千十　七千十一　七千十二　七千十三　七千十四　七千十五　七千十六　七千十七　七千十八　七千十九　七千二十　七千二十一　七千二十二　七千二十三　七千二十四　七千二十五　七千二十六　七千二十七　七千二十八　七千二十九　七千三十　七千三十一　七千三十二　七千三十三　七千三十四　七千三十五　七千三十六　七千三十七　七千三十八　七千三十九　七千四十　七千四十一　七千四十二　七千四十三　七千四十四　七千四十五　七千四十六　七千四十七　七千四十八　七千四十九　七千五十　七千五十一　七千五十二　七千五十三　七千五十四　七千五十五　七千五十六　七千五十七　七千五十八　七千五十九　七千六十　七千六十一　七千六十二　七千六十三　七千六十四　七千六十五　七千六十六　七千六十七　七千六十八　七千六十九　七千七十　七千七十一　七千七十二　七千七十三　七千七十四　七千七十五　七千七十六　七千七十七　七千七十八　七千七十九　七千八十　七千八十一　七千八十二　七千八十三　七千八十四　七千八十五　七千八十六　七千八十七　七千八十八　七千八十九　七千九十　七千九十一　七千九十二　七千九十三　七千九十四　七千九十五　七千九十六　七千九十七　七千九十八　七千九十九　八千　八千一　八千二　八千三　八千四　八千五　八千六　八千七　八千八　八千九　八千十　八千十一　八千十二　八千十三　八千十四　八千十五　八千十六　八千十七　八千十八　八千十九　八千二十　八千二十一　八千二十二　八千二十三　八千二十四　八千二十五　八千二十六　八千二十七　八千二十八　八千二十九　八千三十　八千三十一　八千三十二　八千三十三　八千三十四　八千三十五　八千三十六　八千三十七　八千三十八　八千三十九　八千四十　八千四十一　八千四十二　八千四十三　八千四十四　八千四十五　八千四十六　八千四十七　八千四十八　八千四十九　八千五十　八千五十一　八千五十二　八千五十三　八千五十四　八千五十五　八千五十六　八千五十七　八千五十八　八千五十九　八千六十　八千六十一　八千六十二　八千六十三　八千六十四　八千六十五　八千六十六　八千六十七　八千六十八　八千六十九　八千七十　八千七十一　八千七十二　八千七十三　八千七十四　八千七十五　八千七十六　八千七十七　八千七十八　八千七十九　八千八十　八千八十一　八千八十二　八千八十三　八千八十四　八千八十五　八千八十六　八千八十七　八千八十八　八千八十九　八千九十　八千九十一　八千九十二　八千九十三　八千九十四　八千九十五　八千九十六　八千九十七　八千九十八　八千九十九　九千　九千一　九千二　九千三　九千四　九千五　九千六　九千七　九千八　九千九　九千十　九千十一　九千十二　九千十三　九千十四　九千十五　九千十六　九千十七　九千十八　九千十九　九千二十　九千二十一　九千二十二　九千二十三　九千二十四　九千二十五　九千二十六　九千二十七　九千二十八　九千二十九　九千三十　九千三十一　九千三十二　九千三十三　九千三十四　九千三十五　九千三十六　九千三十七　九千三十八　九千三十九　九千四十　九千四十一　九千四十二　九千四十三　九千四十四　九千四十五　九千四十六　九千四十七　九千四十八　九千四十九　九千五十　九千五十一　九千五十二　九千五十三　九千五十四　九千五十五　九千五十六　九千五十七　九千五十八　九千五十九　九千六十　九千六十一　九千六十二　九千六十三　九千六十四　九千六十五　九千六十六　九千六十七　九千六十八　九千六十九　九千七十　九千七十一　九千七十二　九千七十三　九千七十四　九千七十五　九千七十六　九千七十七　九千七十八　九千七十九　九千八十　九千八十一　九千八十二　九千八十三　九千八十四　九千八十五　九千八十六　九千八十七　九千八十八　九千八十九　九千九十　九千九十一　九千九十二　九千九十三　九千九十四　九千九十五　九千九十六　九千九十七　九千九十八　九千九十九　一万　一万一　一万二　一万三　一万四　一万五　一万六　一万七　一万八　一万九　一万十　一万十一　一万十二　一万十三　一万十四　一万十五　一万十六　一万十七　一万十八　一万十九　一万二十　一万二十一　一万二十二　一万二十三　一万二十四　一万二十五　一万二十六　一万二十七　一万二十八　一万二十九　一万三十　一万三十一　一万三十二　一万三十三　一万三十四　一万三十五　一万三十六　一万三十七　一万三十八　一万三十九　一万四十　一万四十一　一万四十二　一万四十三　一万四十四　一万四十五　一万四十六　一万四十七　一万四十八　一万四十九　一万五十　一万五十一　一万五十二　一万五十三　一万五十四　一万五十五　一万五十六　一万五十七　一万五十八　一万五十九　一万六十　一万六十一　一万六十二　一万六十三　一万六十四　一万六十五　一万六十六　一万六十七　一万六十八　一万六十九　一万七十　一万七十一　一万七十二　一万七十三　一万七十四　一万七十五　一万七十六　一万七十七　一万七十八　一万七十九　一万八十　一万八十一　一万八十二　一万八十三　一万八十四　一万八十五　一万八十六　一万八十七　一万八十八　一万八十九　一万九十　一万九十一　一万九十二　一万九十三　一万九十四　一万九十五　一万九十六　一万九十七　一万九十八　一万九十九　二万　二万一　二万二　二万三　二万四　二万五　二万六　二万七　二万八　二万九　二万十　二万十一　二万十二　二万十三　二万十四　二万十五　二万十六　二万十七　二万十八　二万十九　二万二十　二万二十一　二万二十二　二万二十三　二万二十四　二万二十五　二万二十六　二万二十七　二万二十八　二万二十九　二万三十　二万三十一　二万三十二　二万三十三　二万三十四　二万三十五　二万三十六　二万三十七　二万三十八　二万三十九　二万四十　二万四十一　二万四十二　二万四十三　二万四十四　二万四十五　二万四十六　二万四十七　二万四十八　二万四十九　二万五十　二万五十一　二万五十二　二万五十三　二万五十四　二万五十五　二万五十六　二万五十七　二万五十八　二万五十九　二万六十　二万六十一　二万六十二　二万六十三　二万六十四　二万六十五　二万六十六　二万六十七　二万六十八　二万六十九　二万七十　二万七十一　二万七十二　二万七十三　二万七十四　二万七十五　二万七十六　二万七十七　二万七十八　二万七十九　二万八十　二万八十一　二万八十二　二万八十三　二万八十四　二万八十五　二万八十六　二万八十七　二万八十八　二万八十九　二万九十　二万九十一　二万九十二　二万九十三　二万九十四　二万九十五　二万九十六　二万九十七　二万九十八　二万九十九　三万　三万一　三万二　三万三　三万四　三万五　三万六　三万七　三万八　三万九　三万十　三万十一　三万十二　三万十三　三万十四　三万十五　三万十六　三万十七　三万十八　三万十九　三万二十　三万二十一　三万二十二　三万二十三　三万二十四　三万二十五　三万二十六　三万二十七　三万二十八　三万二十九　三万三十　三万三十一　三万三十二　三万三十三　三万三十四　三万三十五　三万三十六　三万三十七　三万三十八　三万三十九　三万四十　三万四十一　三万四十二　三万四十三　三万四十四　三万四十五　三万四十六　三万四十七　三万四十八　三万四十九　三万五十　三万五十一　三万五十二　三万五十三　三万五十四　三万五十五　三万五十六　三万五十七　三万五十八　三万五十九　三万六十　三万六十一　三万六十二　三万六十三　三万六十四　三万六十五　三万六十六　三万六十七　三万六十八　三万六十九　三万七十　三万七十一　三万七十二　三万七十三　三万七十四　三万七十五　三万七十六　三万七十七　三万七十八　三万七十九　三万八十　三万八十一　三万八十二　三万八十三　三万八十四　三万八十五　三万八十六　三万八十七　三万八十八　三万八十九　三万九十　三万九十一　三万九十二　三万九十三　三万九十四　三万九十五　三万九十六　三万九十七　三万九十八　三万九十九　四万　四万一　四万二　四万三　四万四　四万五　四万六　四万七　四万八　四万九　四万十　四万十一　四万十二　四万十三　四万十四　四万十五　四万十六　四万十七　四万十八　四万十九　四万二十　四万二十一　四万二十二　四万二十三　四万二十四　四万二十五　四万二十六　四万二十七　四万二十八　四万二十九　四万三十　四万三十一　四万三十二　四万三十三　四万三十四　四万三十五　四万三十六　四万三十七　四万三十八　四万三十九　四万四十　四万四十一　四万四十二　四万四十三　四万四十四　四万四十五　四万四十六　四万四十七　四万四十八　四万四十九　四万五十　四万五十一　四万五十二　四万五十三　四万五十四　四万五十五　四万五十六　四万五十七　四万五十八　四万五十九　四万六十　四万六十一　四万六十二　四万六十三　四万六十四　四万六十五　四万六十六　四万六十七　四万六十八　四万六十九　四万七十　四万七十一　四万七十二　四万七十三　四万七十四　四万七十五　四万七十六　四万七十七　四万七十八　四万七十九　四万八十　四万八十一　四万八十二　四万八十三　四万八十四　四万八十五　四万八十六　四万八十七　四万八十八　四万八十九　四万九十　四万九十一　四万九十二　四万九十三　四万九十四　四万九十五　四万九十六　四万九十七　四万九十八　四万九十九　五万　五万一　五万二　五万三　五万四　五万五　五万六　五万七　五万八　五万九　五万十　五万十一　五万十二　五万十三　五万十四　五万十五　五万十六　五万十七　五万十八　五万十九　五万二十　五万二十一　五万二十二　五万二十三　五万二十四　五万二十五　五万二十六　五万二十七　五万二十八　五万二十九　五万三十　五万三十一　五万三十二　五万三十三　五万三十四　五万三十五　五万三十六　五万三十七　五万三十八　五万三十九　五万四十　五万四十一　五万四十二　五万四十三　五万四十四　五万四十五　五万四十六　五万四十七　五万四十八　五万四十九　五万五十　五万五十一　五万五十二　五万五十三　五万五十四　五万五十五　五万五十六　五万五十七　五万五十八　五万五十九　五万六十　五万六十一　五万六十二　五万六十三　五万六十四　五万六十五　五万六十六　五万六十七　五万六十八　五万六十九　五万七十　五万七十一　五万七十二　五万七十三　五万七十四　五万七十五　五万七十六　五万七十七　五万七十八　五万七十九　五万八十　五万八十一　五万八十二　五万八十三　五万八十四　五万八十五　五万八十六　五万八十七　五万八十八　五万八十九　五万九十　五万九十一　五万九十二　五万九十三　五万九十四　五万九十五　五万九十六　五万九十七　五万九十八　五万九十九　六万　六万一　六万二　六万三　六万四　六万五　六万六　六万七　六万八　六万九　六万十　六万十一　六万十二　六万十三　六万十四　六万十五　六万十六　六万十七　六万十八　六万十九　六万二十　六万二十一　六万二十二　六万二十三　六万二十四　六万二十五　六万二十六　六万二十七　六万二十八　六万二十九　六万三十　六万三十一　六万三十二　六万三十三　六万三十四　六万三十五　六万三十六　六万三十七　六万三十八　六万三十九　六万四十　六万四十一　六万四十二　六万四十三　六万四十四　六万四十五　六万四十六　六万四十七　六万四十八　六万四十九　六万五十　六万五十一　六万五十二　六万五十三　六万五十四　六万五十五　六万五十六　六万五十七　六万五十八　六万五十九　六万六十　六万六十一　六万六十二　六万六十三　六万六十四　六万六十五　六万六十六　六万六十七　六万六十八　六万六十九　六万七十　六万七十一　六万七十二　六万七十三　六万七十四　六万七十五　六万七十六　六万七十七　六万七十八　六万七十九　六万八十　六万八十一　六万八十二　六万八十三　六万八十四　六万八十五　六万八十六　六万八十七　六万八十八　六万八十九　六万九十　六万九十一　六万九十二　六万九十三　六万九十四　六万九十五　六万九十六　六万九十七　六万九十八　六万九十九　七万　七万一　七万二　七万三　七万四　七万五　七万六　七万七　七万八　七万九　七万十　七万十一　七万十二　七万十三　七万十四　七万十五　七万十六　七万十七　七万十八　七万十九　七万二十　七万二十一　七万二十二　七万二十三　七万二十四　七万二十五　七万二十六　七万二十七　七万二十八　七万二十九　七万三十　七万三十一　七万三十二　七万三十三　七万三十四　七万三十五　七万三十六　七万三十七　七万三十八　七万三十九　七万四十　七万四十一　七万四十二　七万四十三　七万四十四　七万四十五　七万四十六　七万四十七　七万四十八　七万四十九　七万五十　七万五十一　七万五十二　七万五十三　七万五十四　七万五十五　七万五十六　七万五十七　七万五十八　七万五十九　七万六十　七万六十一　七万六十二　七万六十三　七万六十四　七万六十五　七万六十六　七万六十七　七万六十八　七万六十九　七万七十　七万七十一　七万七十二　七万七十三　七万七十四　七万七十五　七万七十六　七万七十七　七万七十八　七万七十九　七万八十　七万八十一　七万八十二　七万八十三　七万八十四　七万八十五　七万八十六　七万八十七　七万八十八　七万八十九　七万九十　七万九十一　七万九十二　七万九十三　七万九十四　七万九十五　七万九十六　七万九十七　七万九十八　七万九十九　八万　八万一　八万二　八万三　八万四　八万五　八万六　八万七　八万八　八万九　八万十　八万十一　八万十二　八万十三　八万十四　八万十五　八万十六　八万十七　八万十八　八万十九　八万二十　八万二十一　八万二十二　八万二十三　八万二十四　八万二十五　八万二十六　八万二十七　八万二十八　八万二十九　八万三十　八万三十一　八万三十二　八万三十三　八万三十四　八万三十五　八万三十六　八万三十七　八万三十八　八万三十九　八万四十　八万四十一　八万四十二　八万四十三　八万四十四　八万四十五　八万四十六　八万四十七　八万四十八　八万四十九　八万五十　八万五十一　八万五十二　八万五十三　八万五十四　八万五十五　八万五十六　八万五十七　八万五十八　八万五十九　八万六十　八万六十一　八万六十二　八万六十三　八万六十四　八万六十五　八万六十六　八万六十七　八万六十八　八万六十九　八万七十　八万七十一　八万七十二　八万七十三　八万七十四　八万七十五　八万七十六　八万七十七　八万七十八　八万七十九　八万八十　八万八十一　八万八十二　八万八十三　八万八十四　八万八十五　八万八十六　八万八十七　八万八十八　八万八十九　八万九十　八万九十一　八万九十二　八万九十三　八万九十四　八万九十五　八万九十六　八万九十七　八万九十八　八万九十九　九万　九万一　九万二　九万三　九万四　九万五　九万六　九万七　九万八　九万九　九万十　九万十一　九万十二　九万十三　九万十四　九万十五　九万十六　九万十七　九万十八　九万十九　九万二十　九万二十一　九万二十二　九万二十三　九万二十四　九万二十五　九万二十六　九万二十七　九万二十八　九万二十九　九万三十　九万三十一　九万三十二　九万三十三　九万三十四　九万三十五　九万三十六　九万三十七　九万三十八　九万三十九　九万四十　九万四十一　九万四十二　九万四十三　九万四十四　九万四十五　九万四十六　九万四十七　九万四十八　九万四十九　九万五十　九万五十一　九万五十二　九万五十三　九万五十四　九万五十五　九万五十六　九万五十七　九万五十八　九万五十九　九万六十　九万六十一　九万六十二　九万六十三　九万六十四　九万六十五　九万六十六　九万六十七　九万六十八　九万六十九　九万七十　九万七十一　九万七十二　九万七十三　九万七十四　九万七十五　九万七十六　九万七十七　九万七十八　九万七十九　九万八十　九万八十一　九万八十二　九万八十三　九万八十四　九万八十五　九万八十六　九万八十七　九万八十八　九万八十九　九万九十　九万九十一　九万九十二　九万九十三　九万九十四　九万九十五　九万九十六　九万九十七　九万九十八　九万九十九　十万　十万一　十万二　十万三　十万四　十万五　十万六　十万七　十万八　十万九　十万十　十万十一　十万十二　十万十三　十万十四　十万十五　十万十六　十万十七　十万十八　十万十九　十万二十　十万二十一　十万二十二　十万二十三　十万二十四　十万二十五　十万二十六　十万二十七　十万二十八　十万二十九　十万三十　十万三十一　十万三十二　十万三十三　十万三十四　十万三十五　十万三十六　十万三十七　十万三十八　十万三十九　十万四十　十万四十一　十万四十二　十万四十三　十万四十四　十万四十五　十万四十六　十万四十七　十万四十八　十万四十九　十万五十　十万五十一　十万五十二　十万五十三　十万五十四　十万五十五　十万五十六　十万五十七　十万五十八　十万五十九　十万六十　十万六十一　十万六十二　十万六十三　十万六十四　十万六十五　十万六十六　十万六十七　十万六十八　十万六十九　十万七十　十万七十一　十万七十二　十万七十三　十万七十四　十万七十五　十万七十六　十万七十七　十万七十八　十万七十九　十万八十　十万八十一　十万八十二　十万八十三　十万八十四　十万八十五　十万八十六　十万八十七　十万八十八　十万八十九　十万九十　十万九十一　十万九十二　十万九十三　十万九十四　十万九十五　十万九十六　十万九十七　十万九十八　十万九十九　二十万　二十万一　二十万二　二十万三　二十万四　二十万五　二十万六　

大正十四年

犯罪種別／署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
昌徳宮	一	一	一	一	一四	六	六〇	二三	二	二九
本町	九九	二一三	一九	一	九	二	七七	二八	一	一五
鍾路	一〇九	二八三	一四	一	一七	七	五八	八〇	一	三一
東大門	三九	一九三	三	一	五一	五三	三五	二八	五	一三
西大門	四〇	一二六	二	一	八	一	一五	三	一	一四三六
龍山	一三	二一四	三	二	一五	七	一四	一五	一	二
仁川	二三	二五	二	一	一九	一	一五	一	一	一
廣州	一	四四	一	二	一	一	一	一	一	一
楊州	五〇	六二	一	二	一	一	一	一	一	一
漣川	二九	九六	一	一	一	一	一	一	一	一
抱川	四七	七一	一	一	一	一	一	一	一	一
加平	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
楊平	二	二九	一	四	一	一	一	一	一	一
驪州	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一
利川	七	一九	二	一	一	一	一	一	一	一
龍仁	一	四七	一	一	一	一	一	一	一	一
安城	四	六九	一	一	一	一	一	一	一	一
平澤	四	六六	一	一	一	一	一	一	一	一
水原	一七	一〇	三	一	一	一	一	一	一	一
永登浦	一	六	三	一	一	一	一	一	一	一
金浦	七	一	二	一	一	一	一	一	一	一
江華	一	四一	一	四	一	一	一	一	一	一
坡州	三	一〇	一	一	一	一	一	一	一	一
長湍	一	六三	一	一	一	一	一	一	一	一
開城	一〇	七	一	一	一	一	一	一	一	一
計	四六五	一、五三三	七〇	二五	二五	一四	一四八	一、三〇二二	一〇四	二、一六一

備考 一、本表中には併合罪も算入せり。
二、本表中窃盗罪は森林令による窃盗も算入せり。

第三章　犯罪の年次的消長

大正十年

忠清北道

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
清州	一四	二二	一七	六	七一	七	二四五	六四	五	六一
報恩	二	二一	六	二	二三	二	三四	二〇	二	八
沃川	七	一四	一二	三	五五	三	五九	四一	五	二五
永同	八	二六	九	二	三八	一九	九六	五八	二	三四
鎭川	二	二一	五	二	一三	四	五〇	四一	四	二一
槐山	四	九八	一八	四	四二	九	四九	三〇	一	一七
陰城	五	五四	三	二	二二	—	五九	一〇	—	六二
忠州	一二	一二三	五	五	二九	六	七九	四五	六	三八
堤川	六	五〇	七	四	二一	一二	八八	三〇	一	二八
丹陽	二	一四	五	—	八	一四	一三	一五	二	五
計	六二	四四三	八七	三〇	三二一	七六	七七一	三五四	二八	二九九

大正十一年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
清州	九	三	一八	五	六五	四	二七七	八五	五	五四
報恩	一	三	二	一	二一	—	五九	二四	二	一〇
沃川	五	三	一二	一	三七	五	七〇	三二	九	一八
永同	一	四	八	一	四一	一	八七	三一	一	一九
鎭川	二	一四	四	一	一八	五	三二	二一	一	二一
槐山	一	五	五	二	三九	八	七六	三一	—	二七
陰城	九	二二	四	一	二七	三	五六	一七一	三	一一
忠州	一〇	一一	七	二	四〇	二	一〇〇	五六	三	二六
堤川	五	八	九	四	三三	六	六六	七五	五	一六
丹陽	—	一二	一	二	四	三	二四	八	四	七
計	四三	八五	七〇	二〇	三二五	三七	八四七	五三四	三三	二〇九

大正十二年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
清州	一四	一二	二二	四	七〇	七	三六〇	一一五	二	九七
報恩	八	五	四	一	二六	—	四五	二二	—	七
沃川	五	—	—	一	一六	五	四〇	二〇	三	二二
永同	一〇	一一	一二	五	四六	三	八九	四八	一	一八
鎭川	二	—	五	一	九	三	七〇	二八	—	一五

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
槐山	二	|	一五	二	四四	五	七三	四三	二	四二
陰城	六	一〇	五	三	一六	一	五六	三五	三	一七
忠州	六	三	三	四	四二	四	一〇一	三七	三	五七
堤川	一四	|	一〇	三	二	五	八二	六一	二	四〇
丹陽	五	一	四	一	七	三	二九	二三	九	五
計	七二	五一	八九	二五	二九七	三六	九四五	四三二	二五	三二〇

大正十三年

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
清州	一六	三	一	四	六一	二	三五〇	二〇四	六	六六
報恩	一三	一	|	一	三	|	四〇	三	|	三
沃川	一三	六	一	三	二八	|	五五	四六	五	二〇
永同	八	二	三	一	五七	一〇	一三八	六五	二	一六
鎮川	|	四	|	|	一七	五	七八	四九	一	一八
槐山	七	四	七	二	三五	六	七四	三八	六	五〇
陰城	三	六	二	一	一七	三	六九	二八	二	九
忠州	二	一〇	三	四	四三	四	一五一	四三	三	三七
堤川	六	九	四	三	二八	四	六五	七二	四	一四四
丹陽	二	一三	一	二	九	二	二八	四一	二	一五
計	七〇	八五	二二	二一	三一六	四五	一、〇四八	五九八	三一	三八七

大正十四年

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
清州	一〇	三九	五	六	六〇	九	四三二	一三九	三	八三
報恩	|	六	一	二	一一	一	五五	四〇	四	九
沃川	七	七	|	二	二三	三	七三	三〇	一	一七
永同	六	一八	三	三	四一	七	一一四	六三	三	三一
鎮川	|	三	三	一	一八	三	六四	四三	二	一〇
槐山	四	一一	三	一	四一	三	五六	三三	二	一七
陰城	三	一一	二	二	一七	四	八一	三四	四	二〇
忠州	七	九	四	四	四五	四	一〇九	四四	四	三二
堤川	一二	八	三	三	二六	八	五六	五三	一	二〇
丹陽	五	五	四	二	八	二	六一	六五	二	二七
計	五四	一一七	二八	二六	二九〇	四四	一、一〇一	五四四	四四	二五七

忠清南道

大正十年

署名 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
公州	四	六	三	一	六四	九	七七	六三	四	四〇
鳥致院	六	四	一四	三	四八	六	一〇八	四七	二	三四
大田	一〇	六	一五	二	五六	一一	二八一	一二一	三	四〇
江景	一三	七	二一	一	一一六	二四	二八三	一四三	三	六一
扶餘	七	八	五	六	四〇	一〇	八九	五一	五	三三
舒川	二	四	三	一	三二	八	六八	二三	一	一六
保寧	一	一	四	四	一五	八	五三	一八	五	六
青陽	四	一五	四	一	一八	四	一九	二六	三	一六
洪城	六	六	八	一	二九	九	七七	三〇	四	一七
禮山	一三	一三	二	一	三〇	九	七二	六〇	三	一〇
瑞山	一三	二一	一八	一	五四	二	八〇	六八	一二	九〇
唐津	四	一	一	一	一三	四	四〇	一七	二	八
温陽	一	三	一	一	二三	一三	六〇	一二	六	九
天安	一四	一	九	一	三三	一	二〇	六一	三	三三
計	九一	一〇〇	一〇八	一四	五六九	一一〇	一、四一七	七一九	五六	四一三

大正十一年

署名 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
公州	一五	一	一四	一	四四	一四	一六四	四九	四	三七
鳥致院	四	三	一三	三	五〇	七	一一四	八三	七	三五
大田	一八	一四	一二	一	一一三	一	一九三	一〇八	一	六三
江景	一〇	一〇	一三	一	七七	五	三八三	一六六	二	七七
扶餘	五	一三	一五	一	四四	三	九八	七四	六	四〇
舒川	二	七	八	一	四四	一	四九	二一	二	二六
保寧	一〇	一	八	二	一八	一	三〇	三一	二	一七
青陽	八	五	七	一	四一	二〇	一〇三	五八	一	一九
洪城	一三	六	九	一	四四	五	六七	三八	四	二九
禮山	一	八	七	二	五七	一〇	九七	五一	一	四五
瑞山	一四	一六	六	二	四八	三	五四	二七	五	二七
唐津	二	六	五	二	三六	七	四四	二三	七	二五
温陽	八	三	二	二	二八	四	五九	二〇	四	二〇
天安	二二	二	一四	二	四六	二	八一	三七	二	一二
計	一二三	一〇一	一六〇	一九	六九一	八三	一、五三六	八一七	五〇	四八一

第三章　犯罪の年次的消長

大正十二年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
公州	九	一	二三	四	五三	一五八	七〇	九	六四	
鳥致院	二三	四	二三	二	四四	二七	八九	七	四八	
大田	二五	一〇	九	二	七六	二四一	一九五	七	一〇五	
江景	五	二	一五	一	九八	一四七	一〇八	三	六五	
扶餘	三	一〇	二〇	二	四五	一三〇	一〇八	九	三九	
舒川	一一	八	一〇	二	四〇	七一	四一	一	一七	
保寧	三	一	七	一	三六	五七	四一	一一	二八	
青陽	七	三	八	二	五一	九一	四八	三	三九	
洪城	六	四	一〇	一	五一	一〇四	三〇	六	二五	
禮山	八	一〇	九	一	三六	八九	四六	三	四〇	
瑞山	一一	一九	一二	一六	三六	四四	二九	五	二二	
唐津	四	一	五	二	二三	四四	二九	五	二二	
温陽	一二	一九	一四	一	三四	六九	三七	四	三六	
天安	一六	二	一四	一	五一	一五七	八五	三	四九	
計	二三一	八七	一七四	二四	六八九	一、七七一	九七〇	七七	六四四	

大正十三年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
公州	一三	一八	一一	一	四一	一一五	二一八	六	九〇	
鳥致院	三	一	一四	四	三八	一五〇	七〇	二	三〇	
大田	一三	一七	四	一	六九	四四三	一四七	五	六七	
江景	一九	一	一六	一	八二	三四五	三一	七	六七	
扶餘	一三	一四	一六	一	五八	一一五	九五	一三	四五	
舒川	二	五	一	三	三六	九九	四一	三	二二	
保寧	一〇	三	二	一	三五	三七	四九	六	二四	
青陽	一二	四	四	三	二七	一〇一	四〇	四	三〇	
洪城	七	一	六	一	三九	九三	四五	五	二二	
禮山	一一	三	一三	一	五三	一〇五	五一	三	三六	
瑞山	一〇	三	一三	一	二六	七二	六九	四	二九	
唐津	二	一	四	一	二六	二八	二五	一	一四	
温陽	三	二	七	一	二六	八七	四七	四	二八	
天安	一六	二	三	一	四三	一八八	八一	一	五五	
計	一一七	七七	五九	一六	六〇二	一、〇〇九	六三	五六八		

第三章　犯罪の年次的消長

大正十四年

署名 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
公州	二〇	二一	六	二	一	一	三八二	一三一	一〇	八三
鳥致院	一	二	八	一	五一	一三	二〇四	七九	四	三八
大田	二三	七	三	二	二	三	五一九	一四八	六	六三
江景	一五	一六	一〇	二	七四	一三	三七一	一五六	一〇	七六
扶餘	八	一〇	二	一	六四	九	一四四	一〇五	四	五〇
舒川	一二	四	二	一	六六	四	九一	五三	四	二九
保寧	七	一〇	六	一	二五	三	七二	四五	三	三三
青陽	五	三	五	四	二九	二	二三四	五二	四	三一
洪城	一	一	一	一	三一	二	九二	五九	八	二七
禮山	二	四	二	一	五一	三	二一五	九四	三	四五
瑞山	七	六	一	四	三六	五	三一	五四	四	三八
唐津	二	二	三	一	二七	二	四七	三二	一	二一
溫陽	三	四	三	一	四四	四	一五九	五六	一	一六
天安	七	六	三	二	三一	八	一〇四	三四	一	二五
計	一三九	八五	五四	二〇	六五三	八二	二、五五五	一、〇九八	六三	五六六

大正十年

署名 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
群山	八	一	一三	二	四五	一三	三五八	七七	九	三二
全州	二二	九	二八	二	一二元	四六	六九七	二二〇	四四	一二二
鎭安	五	五	四	一	一八	一六	五二	二三	五	一三
錦山	七	一三	八	一	四八	七	一〇六	五五	二三	五一
茂朱	五	四	五	二	二四	四	二三三	二六	二	一〇
長水	八	六	六	二	一九	八	九一	三九	七	三七
任實	九	七	八	一	九	一六	五一	三一	二	五六
南原	一〇	一	一一	四	五三	二八	七二	四九	二	三九
淳昌	三	一	七	一	一六	二	五二	三一	一	三一
高敞	一〇	二	四	一	二八	一六	六六	八五	五	三二
井邑	一九	三	一四	一	七一	五六	二三六	一四	八	六六
茁浦	二	二	六	一	三四	二〇	九九	八〇	一	四一
金堤	三	四	三	一	二三	三〇	二三八	六二	一〇	五四
裡里	三	三	一四	二	九七	三六七	九五	八	九四	
計	一六三	六〇	一五〇	一八	六一四	三三八	二、五一七	一、〇五七	一二五	六七七

大正十一年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
群山	一四	七	一〇	三	七五	一	四一六	九五	三	九〇
全州	三〇	四二	三〇	三	一一五	二〇	六九九	二一〇	一三	一一六
鎭安	三	七	二	一	二七	五	七〇	三五	七	二一
錦山	九	九	一三	一	五一	一	六七	四七	一	三〇
茂朱	五	一	九	二	二五	二	四八	二五	三	一二
長水	九	五	八	一	二二	一六	六六	二二	五	一五
任實	三	三	八	一	一五	一六	七八	一六	一	一三
南原	九	一三	一三	三	四五	一五	一〇九	六八	二	四六
淳昌	三	三	一〇	二	二一	六	八九	三八	七	六六
井邑	二九	一	一七	五	六五	一七	二六五	一七八	一三	九一
高敞	一五	一五	七	二	三五	七	七五	八六	四	四二
茁浦	一一	一	九	四	三八	七	七六	六八	五	四三
金堤	五	六	一〇	一	一一	六	一九七	一二四	七	六九
裡里	七	二	一七	一	一一三	二〇	三七七	二一三	一〇	六九
計	一五二	一二三	一八一	二七	六八三	二三九	二、六四二	一、二三四	八一	七二三

大正十二年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
群山	二六	四	二二	三	一五一	七	四九八	一二五	四	八二
全州	四三	七四	三五	六	一三一	一四	七三〇	二五二	一三	一四四
鎭安	五	一	一四	三	三六	八	五七	四七	一	一九
錦山	一〇	六	一六	三	四九	三	六九	五三	三	三一
茂朱	一	六	一五	一	三一	一	四四	三九	二	一七
長水	二	一	一三	一	二四	四	八一	一七	一	一二
任實	八	一	一〇	一	一七	七	八〇	二六	一	一七
南原	七	七	一二	三	三九	三	一〇六	四二	八	四三
淳昌	五	一	一八	二	四八	三	一五〇	四三	三	四二
井邑	一四	四	一六	一	七九	八	三六一	二二四	四四	九四
高敞	一七	九	九	三	五八	六	一〇六	六四	六	四二
茁浦	一〇	六	一〇	一	四七	七	一〇三	九二	二	四六
金堤	一八	一	二四	一	六〇	五	二六一	八〇	九	七九
裡里	一五	九	一八	一	一五七	一〇	四一四	一二五	六	五五
計	一九〇	一二九	二四一	二八	九一八	八六	三、〇六〇	一、一二九	一三	七一三

第三章　犯罪の年次的消長

大正十三年

署名／犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
群山	一九	七	一六	七	一五六	七	九五九	一九三	九	一三〇
全州	三〇	三四	一五	五五	一二六	二六	八一四	三〇一	六	一五〇
鎭安	一二	二	六	五	三一	四	九一	四八	一四	二四
錦山	四	七	二	—	四〇	三	一〇六	五一	六	四二
茂朱	一	四	一	五	二五	五	四一	四三	二	一五
長水	八	三	二	—	一九	五	一一八	三六	五	一六
任實	一三	四	四	—	一四	一八	九八	四七	一	二八
南原	五	三	二	—	三三	一八	一五九	六四	三	二〇
淳昌	八	二	五	—	三四	一	一四七	五九	一	三九
井邑	三〇	九	三	四	六六	二四	四〇七	一八一	二〇	九二
高敞	一七	五	三	—	三三	八	一三三	一〇七	四	五一
茁浦	二六	七	八	二	四八	七	一七三	一〇〇	五	五〇
金堤	一七	一	七	一	六一	一五	三三四	九八	四	六五
裡里	二四	一	七	一	九二	一〇	四〇一	一二六	二	六六
計	二三二	九一	八八	三二	七六八	一五一	三、九八一	一、四五五	八〇	七八八

大正十四年

署名／犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
群山	四二	八五	一五	三	二〇九	九	一、一四〇	三三六	四	一九六
全州	五二	二四	一五	二	一一〇	四一	九三八	一三二	一八	一四三
鎭安	一九	一四	六	一	三一	二	一五五	六六	七	三四
錦山	五	一〇	五	一	六一	六	一三一	五四	三	二八
茂朱	一	三	二	一	一三	五	六一	二三	二	一三
長水	九	八	三	二	一七	六	一〇七	一〇二	八	八六
任實	一二	五	三	—	三六	一八	一四三	五六	一三	三三
南原	一五	三	九	一一	五六	二八	二三七	七三	一四	五五
淳昌	一五	一	一	—	一八	七	一一八	五二	二	三一
井邑	二〇	三	二一	三	九八	一六	五六六	一八七	七	一一七
高敞	一八	三	三	四	三四	二	二〇二	九〇	六	四八
茁浦	二五	五	八	—	七八	八	二二二	九四	二	四三
金堤	二〇	一	一二	三	九二	七	四一九	九〇	四	七〇
裡里	二三	四	六	五	一二〇	二八	四〇九	一七三	六	六八
計	二七五	一六九	九八	二七	九九五	一八三	四、八二九	一、七一八	九六	九六六

大正十年

署名 ＼ 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
木浦	四九	三五	一三	二	一四一	二八	四五一	一八〇	八	一三九
光州	八	五四	一五	二	一〇一	三三	三四六	一五五	一二	五一
潭陽	四三	三〇	三	一	三九	五	一〇八	八五	七	四六
谷城	四	一五	五	四	一八	五	四二	三九	五	二五
求禮	三	一一	四	一	一三	五	五五	三六	五	二〇
光陽	一	一五	四	一	三一	七	五七	八一	四	二八
麗水	二三	二二	五	三	四八	三	八七	七七	一	三六
順天	七	四一	六	一	三七	二八	二一四	九〇	三	五六
高興	一	一二	七	一	一九	二	七一	一七	二	一四
寶城	一五	四	五五	一	四九	一一	七〇	五八	一	四二
和順	二五	五七	三	二	六一	一〇	一三七	一一六	一	四二
長興	一四	七	四四	一	四五	一四	一〇三	四九	二	四二
康津	一九	二八	四	一	六五	三	六五	七四	二	四八
海南	一五	三七	五	四	四四	二	七八	一七	二	二三
靈岩	一	一九	二	一	二五	三	六四	一七	一	九

署名 ＼ 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
羅州	二八	一七	八	三	八八	七六	一六六	一四	八	五七
咸平	一三	五五	四	三	四一	六	七九	五三	二	三七
靈光	一四	一九	五	三	三九	三	一〇一	七一	五	五五
長城	三九	三九	七	二	三六	六	一二七	八六	七	四七
莞島	三	一七	二	一	一二	一	一二九	一七	一	二五
珍島	一四	三〇	一	一	一二	一	五九	三三	一	一九
濟州島	一三	九八	一一	一	一三二	一	一七七	七六	九	三六
計	三三一	六六一	一三三	三八	一、一二七	二五一	二、六八六	一、五七一	八八	八九六

大正十一年

署名 ＼ 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
木浦	八	一〇八	一六	八	一七六	七	五三四	二一〇	二	一三一
光州	二	四一	一三	二	一〇九	二三	四九二	二五七	三	一〇七
潭陽	二	四五	六	二	三八	一	九六	七〇	八	三八
谷城	一七	二	二	一	三三	五	七八	四八	二	四一
求禮	一七	一三	三	一	一五	一	六五	三六	一	二八
光陽	二	四〇	四	二	三六	一	六二	四九	一	二〇
麗水	三二	一〇	一	五	五一	二	三六	七九	二	四〇

順天	三	六〇	九	三	四七	三	一六四	七五	六	四七	
高興	二	二〇	五	二	二五	四	六八	二〇	一	八	
寶城	二	二	五	二	四〇	九	八一	五三	一	一七	
和順	一	八〇	八	一	五七	五	一〇八	八一	六	五五	
長興	六	七三	四	—	三九	一	六五	二八	一	一四	
康津	九	四二	三	—	四二	一	一〇九	七〇	五	三八	
海南	一三	二八	四	—	二四	—	七三	二九	二	三二	
靈岩	九	五七	五	—	二八	六	六九	一七	三	五	
羅州	二三	五五	一二	四	八四	一七	二二四	一四〇	二	六〇	
咸平	二一	八二	四	二	五五	二	九九	九三	七	四一	
靈光	一五	四一	三	三	三九	四	一〇六	五一	—	三九	
長城	一九	四六	三	一	四八	八	一二五	八一	五	五六	
莞島	五	一六	五	三	一五	—	四七	一七	—	一二	
珍島	一六	三八	三	一	二七	二	六三	三四	七	一八	
濟州島	五	九〇	九	一	一五四	一	一九四	五五	七	二八	
計	一七九	一、〇四〇	一三六	四二	一、一八二	一〇二	三、〇四九	一、五九三	七二	八七五	

一五四

大正十二年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
木浦	二八	一八六	一五	五	二一〇	四	五六二	二二二	九	一四三
光州	四七	六五	一八	四	一七七	一七	五三八	三五六	八	一四八
潭陽	二〇	八〇	五	一	三四	四	一二七	六九	三	四五
谷城	五	五八	五	一	二九	四	五八	六〇	七	四二
求禮	二	五〇	三	—	一七	—	六九	二〇	一	一二
光陽	一四	五〇	六	一	三二	四	六五	四六	二	二二
麗水	二〇	五〇	四	—	七三	二	一三六	八九	四	三五
順天	二	三六	一一	三	四八	三	九八	六一	一三	四三
高興	八	三四	六	—	三三	—	六二	五七	三	一八
寶城	二六	三八	八	二	三九	一	七四	七六	二	三三
和順	一八	九九	四	二	四八	三	一三五	七九	五	三八
長興	五	四五	五	—	四六	一	九三	五〇	五	四八
康津	九	四二	七	—	七四	一	一五六	七二	四	一七
海南	一七	五三	八	—	三四	一	五四	六〇	一	二九
靈岩	一六	七九	九	一	三二	一	四五	三八	二	三五

羅州	二五	六六	一五	五	九九	三	一九〇	一七一	八	四八
咸平	一〇	七七	九	三	三九	二	一〇九	六六	二	二二
靈光	一八	六九	三	二	四〇	四	一三五	七五	一二	四八
長城	一五	四一	二	一	四九	一	一三二	八七	三	六〇
莞島	三	一一	五	一	二七	三	三九	二二	一	三三
珍島	一一	六八	四	—	二六	—	七二	三八	二	一五
濟州島	一二	九八	一三	一	二四八	—	一〇九	八五	一一	五三
計	三三二	一、三九二	一六五	三四	一、四五四	五九	三、〇五八	一、八九九	一〇八	九八七

大正十三年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
木浦	二七	六一	一七	一	一八九	六	八〇三	二五二	四	一四五
光州	四五	七四	一九	二	一四九	九	六九三	三〇三	八	一四〇
潭陽	三〇	五七	五	—	三六	五	一八一	八九	五	五三
谷城	六	四九	五	一	三一	二	一四三	五四	一	二五
求禮	二	五四	六	—	二二	三	五二	二三	三	二〇
光陽	三	二八	四	二	二七	一	三六	一六	三	一三
麗水	二〇	四六	四	四	一〇一	一	一一五	七七	一	二八
順天	七	四四	三	一	六八	二	一一一	六九	—	四八
高興	八	四三	四	一	六九	二	七三	七二	—	二二
寶城	二一	五六	五	—	四六	五	七二	七九	六	三六
和順	一一	七二	八	四	四〇	三	一三三	七八	三	四六
長興	六	三一	四	一	三四	一	一〇六	四九	九	一九
康津	二	四三	三	一	五七	一	一四一	六九	三	三一
海南	一	八九	三	—	三八	二	九七	四二	—	三八
靈岩	二〇	一二三	三	一	四四	二	六一	五八	三	三一
羅州	三二	五八	一八	二	九五	八	二一八	一四八	四	六二
咸平	一六	三一	五	二	一三	二	七五	三九	四	一四
靈光	八	五六	五	一	六五	—	一六八	八八	三	五一
長城	二八	五九	五	二	四〇	八	一六五	一〇四	六	四三
莞島	七	七	二	二	二五	二	五三	三六	—	三七
珍島	八	二〇	一	—	二八	—	三一	二六	三	一五
濟州島	二一	七〇	一〇	—	一四一	一	九八	九九	五	四八
計	三二九	一、一七一	一三九	二八	一、三五八	六六	三、六二五	一、八七〇	七四	九六五

大正十四年

署名＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
木浦	一七	一二五	二一	二	二七三	五	八六四	三〇七	七	一五六
光州	四一	一三七	一九	—	一三五	八	七二七	二八〇	一〇	一五九
潭陽	二八	一八	五	一	四四	四	一七五	八七	四	四二
谷城	一九	八三	三	二	三一	二	七八	五〇	一	二一
求禮	八	二六	三	一	一九	—	五八	一九	二	一四
光陽	五	五六	二	—	三三	二	五二	三七	二	一六
麗水	一一	七九	六	二	一一九	—	一二四	七九	三	五八
順天	七	七六	五	一	五三	三	一一三	八二	九	三七
高興	一	一〇七	五	一	六四	一	八四	五三	二	三六
寶城	三一	一一二	三	二	五五	七	九六	七七	八	四一
和順	二〇	一四四	七	四	五六	四	八五	八〇	六	二八
長興	六	三三	四	二	五八	二	八三	六八	一	三二
康津	五	一一二	八	—	六三	四	一二七	七六	四	二八
海南	四	八四	二	—	六九	三	五九	五二	二	二八
靈岩	一四	一三八	四	一	八七	一	八〇	六二	二〇	二八
羅州	三五	一二二	一一	—	一一八	一二	二二五	一七〇	六	四八
咸平	一一	一二四	四	—	四一	三	七八	七八	一	三五
靈光	一三	一〇一	五	—	七七	三	二一九	一二九	三	五一
長城	二三	七六	一〇	二	四四	二	一三一	一一三	七	三六
莞島	六	二一	四	一	三〇	—	七一	三二	—	三九
珍島	五	二三	四	—	二八	—	二〇	三五	二	二六
濟州島	二三	六五	七	三	一六三	—	一四六	九一	二	七〇
計	三三三	一、八六二	一四二	二五	一、六六〇	六六	三、六八五	二、〇五七	一〇二	一、〇二九

大正十年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
大邱	五六	一五六	三三	九	二一四	一七	一、二五六	三八四	一一	二三二
慶山	—	一八	四	—	三〇	一	八九	三九	四	一三
永川	六	五三	九	二	四二	五	九二	三四	四	三二
慶州	二六	七一	一二	二	一四五	三	一八一	一三二	一八	三五
浦項	八	一三五	八	二	一三一	二	一七二	一〇八	七	七九
盈德	五	二九	一	—	一四	一	一九	一八	一	一四

慶尚北道

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
英陽		六	一七	一	一	一	一	一	一	一	二四
青松		一一	七四	三	一	二	二	二	三	三	二七
安東		三	七五	一七	二	二	九	一九	七〇	一四	四七
義城		二	三九	八	二	一五	一	五〇	四二	一四	三〇
軍威		一	二五	三	一	一	一	一	一	一	九
倭館		五	三七	七	二	一	一	一	一	一	三五
金泉		一〇	八四	六	一	一	一	一	一	一	八九
尚州		六	二一〇	二二	一	一	一	一	一	一	九一
醴泉		八	五二	三	一	一	一	一	一	一	二九
榮州		二六	四三	一三	一	一	一	一	一	一	二九
奉化		七	六四	一〇	一	一	一	一	一	一	二六
開慶		二四	五八	八	一	一	一	一	一	一	二二
星州		七	二四	九	一	一	一	一	一	一	一八
高靈		八	二七	七	一	一	一	一	一	一	七
清道		一	三六	四	一	一	一	一	一	一	四
善山		四	三三	一	一	一	一	一	一	一	一
鬱陵島		一	八	一	一	一	一	一	一	一	一
計		三八	一三六六	一八八	四一	一二八	一四一	二九六七	一五四三	一一四	九二七

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
大邱		四八	一七七	三〇	三	二三九	一〇	一、五六一	三九〇	二	二一七
慶山		一	五八	五	二	四七	二	一〇三	三六	一	二〇
永川		三	八五	八	一	三一	五	一〇〇	三八	五	二六
慶州		七	八九	一〇	一	九七	二	二〇九	一四七	一〇	四五
浦項		九	一五二	一四	一	一一二	四	一七九	一二〇	四	四八
盈德		三	三四	七	一	一五	四	三四	四〇	二	二三
英陽		一	一三	一	一	七	二	三四	一八	二	一二
青松		九	九三	四	一	一九	五	四六	三九	三	一八
安東		一三	九八	九	四	五一	一〇	一四七	八九	八	四一
義城		四	四七	九	一	三六	三	七五	六四	九	二二
軍威		四	四〇	六	一	一九	一	一九	二三	一	一六
倭館		九	六六	四	一	二一	一	一九	四四	一	三九
金泉		二一	六九	二〇	二	二五	二	二四二	二七	一	七八

第三章　犯罪の年次的消長

署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
尙州	五	一九五	一七	—	一七	一〇	一六三	一四〇	一〇	一〇九
醴泉	一三	四九	八	三	二三	七	三一	二四	二	一六
榮州	二七	四五	一一	二	一八	三	七四	四五	一六	三
奉化	二	八〇	六	一	二九	七	五三	五七	六	二〇
聞慶	二四	七五	四	二	二七	一〇	四三	一九四	三	三二
星州	九	七五	二	—	三三	—	二六	二七	三	一八
高靈	七	二七	一三	二	三〇	—	一七	二六	三	二三
清道	五	八六	九	六	五一	—	六六	六五	四	二八
善山	一五	五九	九	二	四四	五	三三	三三	九	三六
鬱陵島	四	一一	—	一	—	—	一三	六	—	四
計	二四一	一、七三三	二〇五	四一	一、一四〇	一一六	三、三八〇	一、七七一	一〇四	九二一

大正十二年

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
大邱	四八	二五五	三六	八	三一七	三四	一、九七九	四七四	一六	二五一
慶山	二	四七	九	二	六七	二	一三六	四四	三	一八

署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
永川	六	一五〇	一二	—	四九	三	一二三	六三	七	二四
慶州	二五	一四六	一八	三	一二六	一〇	二三六	一八九	一八	九四
浦項	一〇	一七三	一三	五	一三四	六	二〇一	一一八	一	七四
盈德	二	七〇	一	一	三八	三	一〇〇	一五	一	一九
英陽	三	二八	一〇	二	二六	一	四一	三四	三	三二
青松	一五	七七	一一	二	二四	二	三四	八〇	五	二九
安東	一五	一六七	二〇	四	七一	一三	一六〇	一四四	一七	一七
義城	一三	九五	一三	七	五一	一	五七	五八	六	四四
軍威	一三	八三	一三	—	四〇	—	二五	二一	二	一四
倭館	七	六七	一一	四	五七	八	一三五	五二	二	三一
金泉	三四	七六	一〇	一	一二五	一三	三一六	二六三	一三	一三四
尙州	六	一八九	一二	八	一一三	三	八九	一四七	七	一〇七
醴泉	一二	四七	一〇	一	三一	一〇	三一	六〇	一	三五
榮州	一一	八〇	三	一	三五	一	九四	三五	六	三
奉化	七	三五	一八	一	二五	—	五一	四〇	一	一五
聞慶	二一	一〇七	五	三	二八	四〇	一〇四	八九	四	二一
星州	九	五五	六	一	二七	三	二五	三三	二	一五
高靈	五	三五	五	—	二五	一	一三	二七	—	六

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領	軍威
清道	三	五〇	五	六	六〇	三	八七	六四	三	一六	
善山	一八	五七	七	二	四七	二	二八	三二	三	二一	
鬱陵島	一	一〇	一	一	二	一	五	五	一	四	
計	二八三	二〇九九	二五五	一一三	一四五九	一五九	四、〇六一	二、〇八八	一一一	一、一〇六	

大正十三年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領	軍威
大邱	六二	二八三	二一	五	二八三	一四	一九九六	四二六	一四	二四四	
慶山	五	五六	三	三	五一	三	一〇五	四一	一	二二	
永川	九	一七六	六	三	一四一	一九	二、三二一	一七五	五	九六	
慶州	一五	一七八	九	四	一四一	一九	二、三二一	一七五	五	九六	
浦項	二六	二七四	一〇	四	一〇六	一〇	一七一	一二九	八	六三	
盈德	一二	一二二	一	七	六五	一	七四	七二	四	五四	
英陽	四	三五	一	一	一六	一	七三	五一	一	二六	
青松	六	七六	一	四	一二	一	五一	八七	三	四一	
安東	一四	一八四	六	一三	九六	一三	一三九	二〇二	九	八〇	
義城	一七	八三	四	三	六七	一	六一	六三	八	三一	
軍威	一三	七五	二	一	三五	二	三四	二三	二	一三	

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領	倭館
金泉	一九	六八	一	二	四五	一	三九五	二九九	一四	一〇〇	四
尙州	六	一五八	九	一	一一六	五	一七八	九四	八	九四	七二
榮州	一一	八〇	三	一	三五	一	九四	三五	六	三三	三
醴泉	二五	四八	五	五	七一	三	五五	七三	三	二九	一
奉化	五	一一四	二	一	五七	四	四七	一〇三	二	四四	一
聞慶	七	一〇六	一	一	二六	一	一三三	七三	一	二二	一
星州	一六	一六三	四	二	六一	二	七二	一二七	一〇	五三	二
高靈	七	八〇	一	三	二六	一	一七	一三	一	一九	三
清道	三	七〇	一	一	三九	二	八八	四三	三	一八	一
善山	一九	七一	六	一	四五	一	三八	三六	一	二一	一
鬱陵島	一	三	一	一	一	一	一二	一一	一	四	一
計	三〇五	二、五六六	一〇五	一四	一、五八八	一一七	四、二九七	二、二七三	一二三	一、一〇〇	四五

大正十四年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
大邱	六二	二三三	二二	八	三〇六	一九	二、三九七	五一五	一〇	二八五
慶山	一	六四	四	一	五七	五	八二	三五	四	一五

署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
永川	九	一三〇	六	三	五〇	三	一〇七	六三	一	三一
慶州	二七	二五三	八	一	一一	二	二四一	一七六	三	一〇八
浦項	三一	一八四	九	一	二〇八	三	二三七	一五一	六	一四〇
盈德	六	一四六	|	|	三四	|	五〇	四一	一	二四
英陽	一〇	一〇二	一四	二	七四	一〇	二四二	二二四	一二	一六五
青松	八	一一三	三	三	二三	二	三八	八二	一	二〇
安東	二七	一九二	一	一〇	九九	一	一三四	一三六	一〇	五八
義城	八	七九	|	三	五六	一	五二	六九	一	三一
軍威	一〇	八一	二	四	一七	一	四〇	三五	二	一八
倭館	四	九六	二	二	五三	二	一五四	四七	四	四七
金泉	一八	一六八	五	九	一〇四	一七	三八七	二五八	三	九三
尙州	一七	二四五	二	五	七五	一〇	二一八	一〇三	六	五六
醴泉	二六	一六八	二	七	六六	四	一三六	一五三	六	七一
榮州	九	一七四	一二	一	四六	二	一〇四	七三	二	三四
奉化	六	一三六	五	二	八八	三	五三	一五三	一〇	五〇
聞慶	一八	七〇	四	二	二八	三	一〇四	五四	五	三二
星州	二三	一四八	一三	二	七三	九	八四	一二五	九	三九
高靈	九	六八	七	一	三一	四	三一	四一	三	二七
清道	一三	八九	四	二	三六	三	六五	四三	三	二三
善山	二三	六四	三	四	三四	三	五一	三三	四	二七
鬱陵島	|	六	|	一	二	|	九	八	二	四
計	三七三	三、一六八	一二七	七四	一、六六二	一二六	四、九八八	二、六〇九	一二七	一、三八八

大正十年 慶尚南道

署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
釜山	一四	三二	一三	五	一九三	九	一、一三九	二三一	一五	二二五
釜山水上	九	|	|	一	九	|	二五	三	|	三
馬山	一三	一〇	一三	|	一〇七	五	二八〇	一三一	三	四一
晋州	二八	一六	一五	一	一一五	一三	二三八	一五一	八	六八
宜寧	九	一	六	一	四〇	|	一三一	七八	二	三六
咸安	六	六	六	二	三三	六	三一	四三	二	一五
昌寧	三一	一三	一〇	二	三七	八	八〇	八九	八	四三
密陽	一三	二六	一二	二	一〇六	二三	一六〇	八四	八	四四
梁山	二	一三	九	三	二七	二	七四	二七	|	一五
蔚山	一三	六	一五	五	七一	一二	一九〇	六三	三	一七三
東萊	二	一六	一二	二	八五	八	一五六	一六〇	三	六一

署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
金海	五	三	一五	—	六四	三	一三	五四	一	四八
鎮海	一	八	六	一	四一	二	六八	二三	二	二三
固城	一七	五	九	一	四七	四	八六	五九	四	三七
統營	一五	五	一四	二	九四	二	一二三	九一	二〇	六四
巨濟	一〇	一一	一二	二	四六	七	七二	六五	一〇	二〇
泗川	一四	一二	七	一	四六	一三	七八	六三	六	三一
南海	六	九	七	一	三七	—	四六	二七	七	一八
河東	一八	三六	一六	三	六四	一三	一一〇	一二一	五	五三
山清	七	九	七	一	四〇	四二	五一	六一	二	二八
咸陽	一六	五	七	四	五二	一四	五二	七三	五	三二
居昌	三	五	八	二	三一	一七	八五	六二	六	三九
陝川	一〇	一三	八	一	二九	四	三九	五〇	三	二九
計	二七一	二五八	二三五	四三	一、四一四	二〇四	三、四二六	一、九一二	一二三	一、一二六

大正十一年

犯罪種別／署別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
釜山	四六	一二	三七	一〇	三八〇	一一	一、五三六	五七三	三	三六三
釜山水上	二七	—	—	—	五	—	五一	一三	—	九
馬山	四	四	一五	—	一一三	三	二三〇	一一一	五	五二
晋州	三二	二五	一二	五	九五	一三	二〇七	一三五	一〇	八〇
宜寧	三	一	一三	—	四九	—	一一三	六九	三	六〇
咸安	二	四	三	—	三三	五	一三五	三九	二	三二
昌寧	二七	一〇	七	一	三八	一	七一	五一	五	五四
密陽	三二	三〇	九	四	一二一	五	一二九	一一〇	五	六五
梁山	三	九	一	一	二五	四	五一	五六	一	一七
蔚山	二五	一三	一五	四	七一	三	一八一	九一	四	四九
東萊	一四	一七	九	一	六三	五	九五	一一七	二	三七
金海	一〇	一一	七	三	八四	四	一一三	六〇	一	三三
鎮海	六	五	七	一	七四	—	七〇	三七	—	二五
固城	一九	八	五	一	五六	一	九四	七五	四	四〇
統營	一三	二〇	九	二	七三	六	一〇七	五七	—	三五
巨濟	三	四	八	一	五九	—	六五	五五	四	一六
泗川	一一	二	一二	—	五八	一	七〇	五九	七	二〇
南海	四	三	二〇	—	六一	—	五一	二六	三	三二
河東	一五	二四	一六	二	七五	一三	九六	八七	八	三八
山清	九	二〇	八	四	四五	三	六六	五八	二	四〇

咸陽	一三	五	六	五	三四	二	一二三	五二	六	八五
居昌	二〇	一五	二一	一	三四	三	一一六	六九	五	四二
陝川	一三	九	六	二	三四	三	三〇	四八	四	二八
計	三四一	三六一	二四六	四八	一、六八〇	九五	三、六八九	二、〇五八	八四	一、二三二

大正十二年

犯罪種別／署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫及重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
釜山	三三	一一八	四四	七	三二八	五	一、七八二	六〇三	一四	二九二
釜山水上	一	—	—	—	一三	—	六二	一五	二	一二
馬山	二二	三	一三	一	一四一	五	二六八	一〇三	三	七三
晋州	二六	八	一八	五	一三五	六	二五〇	一五一	三	六九
宜寧	一六	一七	八	一	四五	五	六五	六六	三	三三
咸安	六	一	五	二	三五	三	三〇	三三	二	一九
昌寧	二四	一	四	三	四〇	一	六三	九二	四	三一
密陽	二五	三四	一四	—	九九	六	一四〇	一三四	五	五六
梁山	五	一六	六	—	三〇	三	八〇	五四	二	一〇
蔚山	二	二四	六	二	七三	三	一二六	一一八	七	四八
東萊	一〇	一四	四	—	六八	三	八一	八一	一	三二
金海	一四	一〇	一八	二	九五	七	一三八	八一	一	三〇
鎭海	四	三	七	一	七二	一	七七	三五	一	二二
固城	二二	一	六	—	三九	—	七四	八六	三	五一
統營	二二	九	五	二	九八	三	一二四	九七	一	三六
巨濟	一一	八	九	—	五五	二	七二	三七	一	二六
泗川	一四	五	一五	六	八一	一	九一	五四	六	三〇
南海	七	一三	五	一	四五	二	三一	一四	一	一三
河東	一一	三二	一〇	一	八七	五	一〇五	六二	一七	五六
山清	二〇	一二	一〇	—	五五	三	八七	六六	六	二三
咸陽	一〇	二	一六	一	二七	—	九五	四六	三	二四
居昌	四	一三	一四	三	四五	四	八五	七一	九	四一
陝川	一六	一六	一〇	三	六三	六	六三	五〇	四	三九
計	三二四	三六〇	二四七	四一	一、七七〇	七四	三、九八九	二、一四九	九九	一、〇六六

大正十三年

犯罪種別／署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
釜山	三三	五九	一九	八	三八九	一七	一、七八一	六七二	四	三六九
釜山水上	一四	二	一	—	一七	—	一三三	九	三	一七

署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盗	詐欺	恐喝	横領
馬山	二四	八	六	二	一五二	一三	四〇七	九六	—	六一
晉州	一七	一三	八	三	一三七	八	四一二	一一八	二	六六
宜寧	六	六	二	一	五二	四	四三	四〇	三	三三
成安	一	五	二	三	二三	二	四一	四三	一	一三
昌寧	一五	三	一	—	五四	—	六八	五七	三	一三
密陽	一五	一六	八	三	一一〇	三	一八四	一一五	二	二四
梁山	一一	七	二	一	二九	一	六二	三五	—	二九
蔚山	一九	一一	一四	—	一三一	—	一七一	一三九	三	七一
東萊	四	一〇	三	一	八三	四	一〇五	八〇	一	六九
金海	一三	六	五	一	一一三	五	一三六	八六	二	三四
鎭海	二	三	三	—	七二	五	七二	二六	一	二二
固城	一四	二	二	四	四〇	一	六四	六三	三	二五
統營	一三	二	—	一	七八	三	一四二	七八	—	三五
巨濟	一四	四	三	—	五八	一	五四	五五	一	二四
泗川	一〇	一〇	六	一	八一	三	八〇	三九	七	三五
南海	七	一七	六	三	二六	二	三四	三三	二	二二
河東	六	二七	九	三	八一	九	一三一	八七	二	六二
山清	九	一七	四	三	六六	四	一〇二	八八	二	三〇

署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盗	詐欺	恐喝	横領
咸陽	一四	八	二	四	三六	二	八八	七七	一	二六
居昌	一三	五	八	一	四二	四	八八	六〇	四	四三
陜川	一〇	九	五	三	四九	二	四九	五九	五	三六
計	二八三	二五〇	一一九	四六	一、九〇九	九三	四、四四九	二、一五五	五二	一、一七六

大正十四年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盗	詐欺	恐喝	横領
釜山	五六	七六	二九	四	五一五	一〇	一、七五二	九六二	七	四二五
釜山水上	一	四	—	一	一〇	一	八九	三九	—	六
馬山	三〇	一四	五	一	一四九	—	二九一	九八	二	七一
晉州	二一	三四	一〇	二	一六四	三	三六六	一四三	八	七四
宜寧	八	二〇	四	一	五三	一	三四	四四	二	一六
成安	四	二	—	四	三八	三	二八	三七	—	二五
昌寧	六	一三	四	四	五二	一	六〇	四七	二	二六
密陽	二七	二一	一〇	一	一一五	三	一三九	一三六	三	五二
梁山	六	九	二	二	三九	三	八〇	四七	—	一五
蔚山	四	三	六	二	一二〇	一六	一九三	一一五	六	五四
東萊	一四	六	八	—	八五	五	一二〇	一一九	二	四〇

大正十年

黄海道

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
海州		二六	二一八	一〇	三	九九	四三	一九二	八六	一〇	二九
白延		一二	九九	九	一	二四	四八	二四	三〇	三	二四
金川		三	四六	一	四	一九	二八	四六	三四	三	二三
南川		六	五〇	四	一〇	三九	三〇	三九	一五	二	八
長淵		五	四五	三	四	五〇	二一	四〇	一七	三	二一
鉎津		三	七七	二	一	一八	一四	四一	一〇	一	八
新溪		一	一六	一	二	一五	四	一一	一六	一	六
南海		一	三一	四	一	二四	一一	一五	一七	二	一四
松禾		六	一二	三	二	二九	二三	一七	二	三	二
長連		九	五〇	三	四	二七	三	一三	一一	三	一七
安岳		五	九	七	二	三一	四五	三一	三三	三	一三
信川		二	八〇	五	四	五三	三三	九三	三八	五	一七
載寧		二	六二	二	四	九一	二七	一七八	六五	八	三七
黄州		一	三一	三	一	四五	一二	二二	二八	二	六
兼二浦		四	一二	四	九	一八	一〇	一七七	二八	一	二六
沙里院		八	五一	二	七	八五	二三	一五七	五八	三	二六
瑞興		八	七九	五	三	一七	一七	八九	四一	六	一四
遂安		四	二七	四	一	一八	二	二	一	一	一
谷山		一	五四	一	四	三二	一	一四	六	一	一四
計		一二三	九一七	八八	六四	七八八	四〇〇	一、二八五	五一四	五五	二九八

署別	犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
金川		三	四六	一	四	一九	二八	四六	三四	三	二三
南川		六	五〇	四	一〇	三九	三〇	三九	一五	二	八
長淵		五	四五	三	四	五〇	二一	四〇	一七	三	二一
鉎津		三	七七	二	一	一八	一四	四一	一〇	一	八
新溪		一	一六	一	二	一五	四	一一	一六	一	六
南海		一	三一	四	一	二四	一一	一五	一七	二	一四
松禾		六	一二	三	二	二九	二三	一七	二	三	二
長連		九	五〇	三	四	二七	三	一三	一一	三	一七
安岳		五	九	七	二	三一	四五	三一	三三	三	一三
信川		二	八〇	五	四	五三	三三	九三	三八	五	一七
載寧		二	六二	二	四	九一	二七	一七八	六五	八	三七
黄州		一	三一	三	一	四五	一二	二二	二八	二	六
兼二浦		四	一二	四	九	一八	一〇	一七七	二八	一	二六
沙里院		八	五一	二	七	八五	二三	一五七	五八	三	二六
瑞興		八	七九	五	三	一七	一七	八九	四一	六	一四
遂安		四	二七	四	一	一八	二	二	一	一	一
谷山		一	五四	一	四	三二	一	一四	六	一	一四
計		一二三	九一七	八八	六四	七八八	四〇〇	一、二八五	五一四	五五	二九八

大正十一年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
海州	一九	一九〇	八	五	八〇	二六	一六四	八二	二七	三五
延白	四	二四三	四	三	二六	一〇	三八	三一	三	二〇
金川	四	五三	一	一	八	八	四三	三三	一	八
南川	二	七四	四	二	四八	二七	七四	二五	四	二三
新溪	一	一〇〇	三	三	一三	一	二〇	一三	三	七
瓮津	一四	二一七	四	一	三二	一五	三五	二一	一七	二
長淵	三	一三四	九	二	四六	八	三八	一四	五	一四
松禾	一三	一三八	二	一	二七	二	二五	三六	六	二二
長連	三	一七六	六	一	二二	二	一八	二三	二	一二
安岳	三	一一四	二	三	四四	三八	八九	四五	五	二六
信川	一五	一二九	七	二	五〇	三一	一五三	三三	五	二二
載寧	一〇	八一	八	二	九五	二〇	一八〇	一一三	六	七五
黃州	四	五三	八	二	五八	一〇	八四	一八	一	六
兼二浦	六	八八	一〇	一	一二六	六	一九〇	五三	一	三八
沙里院	八	九一	二	三	一二〇	三〇	一八六	七六	五	四四

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
瑞興	七	二三三	八	四	六八	一二	八三	四一	三	三五
遂安	四	八八	九	五	七三	五	五五	二六	四	一九
谷山	二	六四	六	四	四一	四	一九	一五	一	一〇
計	二二	二六六	一三	四四	九六八	二五六	一四九四	六九〇	七五	四五二

大正十二年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
海州	一九	一一三	一〇	四	一一三	三一	二二七	一一九	八	五八
延白	九	一四九	八	一	五八	九	九一	四三	一	四一
金川	二	三〇	一	一	九	四	二九	一四	二	八
南川	三	一一四	一	二	三八	二四	四八	三二	一四	一七
新溪	三	一一〇	一	一	三〇	六	二三	一〇	二	一三
瓮津	九	九二	七	一	三九	九	三一	三一	一	一七
長淵	五	一四二	四	二	四二	五五	五九	三三	四	二六
松禾	四	一〇八	五	三	一五	三九	五二	二九	三	一七
長連	四	五一	二	三	二二	一一	二一	一三	四	九
安岳	七	六六	五	三	三〇	四九	七四	一七	五	四五
信川	九	一〇六	一	二	六六	二二	一四二	六四	二	四〇

第三章　犯罪の年次的消長

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
載寧	五	一四八	一〇	一	八六	一九	一九八	五六	七	五一
黄州	七	五四	五	三	七六	二	九五	三五	三	二四
龍二浦	一	七六	八	二	七七	一	一六四	七八	一	五三
沙里院	三	八五	一六	四	六九	二五	一八四	五七	二	三三
瑞興	一一	二一〇	一一	二	五八	一二	一一二	三八	二	三六
遂安	五	八九	七	三	六二	九	五五	二七	三	三六
谷山	七	五二	一	三	四〇	三	四七	八	一	一三
計	一二	一、七〇四	九八	四〇	九二九	二五五	一、六三九	七〇四	六一	五四四

大正十三年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
海州	三一	一五七	八	四	二八	五二	二八七	一三〇	五	六五
延白	五	一六三	一	四	四四	八	八七	四八	三	二六
金川	四	五七	一	四	一四	九	六一	四一	一	二〇
南川	四	一二七	二	四	四四	二四	八七	二五	一	二三
新溪	四	九二	一	三	二三	五	二三	二四	一	八
瓮津	三	八六	一	三	二九	三	四六	四一	四	二四
長淵	二	一三四	三	二	三八	八	七九	二九	二	二九
松禾	六	一一二	一	三	二六	五	五七	三九	四	二四
長連	二	五三	一	四	一一	一	三五	一九	一四	一一
安岳	五	七三	二	一	四八	一三	一二六	一六六	三	一六
信川	四	一二七	六	五	八五	一九	一七四	七二	五	三二
載寧	九	一八〇	七	一	一〇七	一七	三〇四	八九	五	四七
黄州	七	六三	八	五	九七	一三	一五八	四二	二	四〇
龍二浦	一六	六七	四	四	八四	一	二〇四	一三六	一	五〇
沙里院	三	一五九	三	四	六九	二二	二六一	五〇	四	二七
瑞興	九	一一八	二	二	三五	一二	一〇七	六四	五	三二
遂安	五	八〇	一	一	四二	八	七四	一九	一	一六
谷山	八	五七	二	一	四〇	七	四二	二五	二	一一
計	一二七	一、九〇四	五四	五二	九六四	二四六	一、二二一	一〇五九	五二	五〇〇

大正十四年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
海州	三四	二〇四	三	四	九四	三六	四〇九	九四	八	五〇
延白	一一	二〇一	二	四	四九	七	八七	六一	二	五一
金川	六	八七	一	一	一七	八	九四	六九	五	三〇

署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
南川	四	一四七	四	二	五四	二〇	一一四	五七	三	一九
新溪	四	七九	二	二	二五	一一	四〇	一五	—	九
瓮津	六	一三三	—	—	四〇	九	四三	三五	五	一八
長淵	九	一一二	一	三	四八	七	七三	二六	三	三五
松禾	八	八〇	—	二	三九	九	四四	三八	三	二〇
長連	—	五六	一	—	二五	四	三二	一七	一	一二
安岳	一一	九七	七	二	六八	一七	一六三	一〇一	四	七九
信川	二九	二五三	六	五	九三	二九	二一〇	一二三	一〇	八二
載寧	一九	一七七	五	二	一一二	一六	二八二	七七	四	五七
黃州	五	一一二	一〇	四	一〇八	五	一六〇	五四	八	四三
兼二浦	一一	三八	八	二	九六	一	一七五	一一七	五	八二
沙里院	二一	一一三	六	六	八九	三二	三三九	九〇	三	七〇
瑞興	九	一一七	一	二	六四	一六	一一〇	三〇	三	二一
遂安	七	一三八	三	三	二三	九	四二	一六	四	一〇
谷山	八	八一	五	二	四九	八	六五	三〇	四	一二
計	二〇二	二、二二五	六五	四六	一、〇九三	二四四	二、四八二	一、〇五〇	七五	七〇〇

大正十年

平安南道

署別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
平壤	一四	一〇	四一	八	一六八	六〇	一、五一九	五一八	六	一五九
鎭南浦	八	四	六	三	四七	一八	二二五	三二	三	一九
大同	一	二	六	一	三〇	一二	三二	一一	—	二
順川	三	一	六	四	二四	二七	二六	一三	二	六
孟山	—	五	六	—	九	二	一五	三	二	三
陽德	三	五	四	—	一二	—	二〇	九	一	五
成川	—	一〇	五	二	一三	四〇	一一	五	一	二
江東	一	三	五	二	二五	三四	二四	一五	三	五
中和	一	一九	二	四	二七	二九	三〇	八	五	一二
龍岡	—	二	五	二	一八	三	二二	二〇	三	三
江西	五	一三	七	二	四二	九	四五	三一	三	一一
平原	五	七	二	二	三四	二九	四五	一八	四	一六
安州	九	五	一	—	二八	一一	四二	一九	三	一四
价川	六	八	五	一	一五	三六	五四	一三	二	一〇
德川	—	六	二	三	一六	一八	二〇	—	四	二
寧遠	三	一〇	一	—	一四	五	六	五	一	一

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
計	五九	一一〇	一〇四	三四	五三	三三	二、一二六	七一九	四三	二七〇

大正十一年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
平壌	一八	一九	四六	三	一一八	三〇	一、八七七	三〇九	八	一六五
鎮南浦	二〇	四	五	三	四四	一	二一九	六二	一	四九
大同	三	三	一三	二	五六	一三	二七	一六	五	一九
順川	一〇	一三	一五	五	四一	一	三七	一八	八	一九
孟山	五	一一	一	一	一七	二	一七	七	一	八
陽徳	四	四	三	一	一三	一	一六	五	二	三
成川	一三	一五	七	六	三三	一七	四〇	九	三	一六
江東	一	一三	八	二	一九	一五	二九	六	二	八
中和	二	一三	二	一	四〇	四	二三	九	一	七
龍岡	五	一一	七	三	二一	二	五一	七	二	五
江西	七	一四	九	二	四〇	二一	八六	二七	一	二一
平原	四	一一	五	一	一七	一九	五一	一八	三	三六
安州	六	三	一	一	一六	一九	九一	六一	三	一三
价川	八	四	三	一	一五	四	二八	一九	二	一八

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
徳川	一二	二八	八	二	一四	五	二〇	一〇	一	一三
寧遠	五	五	一〇	一	一三	一一	一六	一五	一	八
計	一一三	一六一	一四二	三五	六四一	一六三	二六二九	六一三	三九	四二六

大正十二年

署別 / 犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盗	窃盗	詐欺	恐喝	横領
平壌	二〇	八	五一	一〇	二〇九	三〇	二、〇〇二	六二九	一二	三八六
鎮南浦	三一	一一	一	三	三〇	七	二〇七	七三	三	二九
大同	二	一四	一四	二	八二	一五	八六	二四	六	一九
順川	一二	一七	一二	二	五三	一〇	九一	三一	七	四九
孟山	七	七	一	二	二〇	三	二三	九	一	一五
陽徳	五	一	一	三	一五	四	二五	一九	三	一一
成川	二	九	三	二	一五	六	三一	一九	五	二四
江東	一	六	一	二	三七	七	三六	二四	二	二六
中和	一	六	一	三	六三	七	五一	二三	一	一六
龍岡	三	八	四	三	三三	四	七五	二八	一	二四
江西	八	一八	一	六	七六	九	一一七	三〇	一	四八
平原	四	一五	五	二	五七	九	七六	二九	三	四三

安州	一一	—	一五	六	八八	一六	九九	一〇一	六	九一
价川	三	三	三	—	一六	一六	六八	二六	—	一九
德川	一	四	二	一	一五	一七	三七	一〇	一	一八
寧遠	二	八	四	一	一五	八	三九	七七	四	二二
計	一一一	九一	一五五	五〇	八三四	一六八	三、〇六三	一、一五二	五四	八四〇

大正十三年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
平壤	三七	二七	一三	六	二三〇	六六	三、六二七	五六六	五	四七二
鎭南浦	一二一	一〇	一	—	四二	一六	二九四	二二六	一	九二
大同	一〇	一	五	七	六〇	一六	一七二	三七	九	八一
順川	一二	一〇	五	一	五三	八	六〇	三八	二	三一
孟山	二	五	一	一	一三	一	三三	二四	—	七
陽德	—	七	—	二	一八	二	五〇	一三	五	一一
成川	一六	三六	五	五	五一	六	六三	三二	五	三〇
江東	四	五	二	二	六二	七	五七	一八	五	一四
中和	六	五	四	三	五七	一三	九五	四五	一	二七
龍岡	六	二	三	六	四七	九	九三	二六	—	二八
江西	一五	九	六	三	六四	一二	一七一	一二〇	二	八九
平原	一一	一五	一六	一一	七三	二〇	一四八	五四	二	三四
安州	一二	九	五	二	七八	二〇	一九九	九二	二	四七
价川	六	六	—	三	三一	一六	六一	六三	一	三〇
德川	二	一二	三	三	二四	八	三五	二五	二	一一
寧遠	三	二	一	三	一一	二	一五	一五	—	五
計	二六三	一六一	六九	五八	九一四	二三二	五、一七三	一、三八四	四二	一、〇〇九

大正十四年

署別＼犯罪種別	文書僞造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	强盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
平壤	三八	二四	一三	一一	三六八	六〇	二、九四五	八三三	三	二五二
鎭南浦	二〇	七	二	三	六〇	四	三六八	一、一六七	一	一七五
大同	一二	一二	四	三	八九	一二	一二八	八一	二	六〇
順川	二〇	一一	三	五	六四	一五	六五	三九	五	三六
孟山	三	七	七	三	二七	八	三四	三二	一	三五
陽德	七	二	一	二	一六	一	七一	八一	—	三三
成川	五	二二	二	二	四六	一〇	五七	六〇	三	二九
江東	—	一一	四	三	六三	四	七七	二六	—	一四

中和	二	一〇	一	五	五	七三	一一	一二九	五四	二	二
龍岡	一〇	四	二	一	一	七五	八	一六五	二五	二	二七
江西	八	一一	一	四	四	八二	一四	二八四	五〇	—	五二四
平原	七	六	七	三	三	九〇	一七	一四三	六七	一	五七
安州	三	七	一〇	五	五	九三	一六	一九〇	八三	—	八一
价川	一	八	三	五	五	一八	五八	六〇	四六	二	五一
德川	六	三	二	—	—	二八	四	四二	一九	—	二二
寧遠	八	一〇	二	二	二	一三	六	二八	一五	—	一二
計	一五〇	一五五	六四	五七	一、二〇五	二四八	四、七八六	二、六七八	二三	一、四二七

大正十年

平安北道

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	竊盜	詐欺	恐喝	横領
義州	八	六九	六	一一	二五	五六	九六	二〇	一〇	五二
新義州	一〇	六	六	六	四八	八七	二三七	五九	六	五二
龍岩浦	四	一五	五	三	四八	六九	一二二	四五	三	二六
鐵山	—	六五	三	四	一八	二五	一二	七	三	七
宣川	一	四〇	五	一	二七	一七	三四	一五	六	九
定州	一〇	四四	八	五	七〇	三九	一一九	四四	一六	二五
龜城	二	五七	一	四	一〇	一二	一〇	六	一	七
博川	五	三二	二	一	二一	一四	三六	一四	三	一〇
泰川	二	八	—	三	八	四	三七	一〇	六	一一
寧邊	七	二二	六	二	二三	六	三八	二二	六	一一
北鎭	二	六	—	一	一二	二〇	三〇	六	一	五
熙川	七	六	二	五	一八	二三	二一	二四	二	九
前川	二五	九	一	一	三	二	五	三	—	一
江界	七	三七	一	三	四五	七	二四	二七	八	一五
厚昌	二	五	一	三	一一	八	五	六	五	八
東興	五	八	一	二	一	五	五	二	—	二
中江鎭	一	二二	一	二	二四	五	二四	六	三	九
慈城	—	一九	三	一	一二	三	三	六	—	五
滿浦	一	九	一	一	四	二	九	一	二	一三
渭原	—	五	—	一	二	七	一五	一	一	六
楚山	一	六	四	八	一四	六〇	二二	一三	二	七
碧潼	—	一五	—	五	六	四六	七	—	一	四
昌城	一	二二	二	五	八	三	五	一	—	三
朔州	一	五一	二	三	七	一〇	一三	七	三	六

計	一〇二	五七八	六一	八一	四六九	五三〇	九一九	三四五	八八	三〇三

大正十一年

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
義州	八	六〇	五	一一	三五	九二	一二四	二七	二七	四三
新義州	七	一六	一〇	九	七〇	二四	三二四	七九	七	九七
龍岩浦	六	四	一三	一	三三	一五	七一	二三	二	五七
鐵山	三	六四	四	一	二八	二	二三	一六	一	一〇
宣川	二	五二	三	一	三七	一二	六一	二七	六	二二
定州	二二	二一	九	五	一〇一	九	一三八	七七	九	六五
龜城	五	六五	三	一	二〇	二四	二〇	九	一	四
博川	一一	三四	一	四	五一	二〇	四五	三六	三	三五
泰川	一	五九	一	六	八	一〇	一一	六	一	七
寧邊	六	五六	三	一	三八	一六	四〇	三四	五	二七
北鎭	三	一	二	一	三〇	二二	二九	一七	八	二
熙川	四	二	二	二	一一	一六	一七	二五	二	一三
前川	三	二一	一	一	一二	一四	六	八	一	三
江界	八	四九	一	五	五九	五	四六	三七	二	一五
厚昌	四	二三	三	一	一五	二	二一	一八	三	一一
東興	一	一七	一	一	二	三	五	二	一	一
中江鎭	一	六二	二	三	四	七	二五	一	七	七
慈城	二	二三	六	六	一五	六	二二	四	一	九
滿浦	三	一二	三	一	一二	一四	一八	四	一	四
渭原	三	八	一	三	六	一七	一七	八	二	六
楚山	二	六	三	一七	二九	一五六	二七	三七	二	一五
碧潼	五	七	四	九	一五	二二	一五	一二	二	四
昌城	一	四八	一	七	六	一七	七	七	二	八
朔州	四	二九	四	三	一八	二〇	一三	一六	二	六
計	一二三	七三九	八一	九八	六五五	五四五	一、一二五	五三〇	九六	四七〇

大正十二年

署別＼犯罪種別	文書偽造	賭博	猥褻姦淫重婚	殺人	傷害	強盜	窃盜	詐欺	恐喝	横領
義州	一〇	五六	五	一四	二四	一一二	一〇二	四一	一一	四三
新義州	一一	一八	八	四	九〇	三二	三八三	八八	一〇	一九〇
龍岩浦	一〇	五	一〇	六	三六	一六	一一八	五九	一七	三四
鐵山	三	七四	五	五	三九	二	三〇	三四	一	一五